第2章 基本操作編

2-1 間取りっどPRO3コマンド

「間取りっどPRO3」の基本ボタンです。ほとんどの操作を基本ボタンで行ないます。各ボタンの説明 は操作説明で行ないます。



画面の左側に表示されています。







リッド吸OFF時ロック」にしておきます。

「グリッド吸着」・・・作業画面のグリッド線(方眼)の交点にマウスをひきよせます。 デフォルトの状態では必ずグリッドに吸着しますが、「設定」の「動作設定」で、グリッドに近寄った時だけ吸着するようにできます。

◆ 1分割 ✓ 「グリッド吸着間隔」・・・グリッド線とグリッド線の間をどの間隔(分割数) で吸着させるか設定します。リストの「設定分割」の値は「ツール」「グリッド間隔の設定」で行い ます。



▶ □ 等 「等比チェック」・・チェックが入っていると、部品の縦横比を崩さずに伸縮します。

2-2 まずはサンプルを開いてみましょう

「間取りっどPRO3」にはあらかじめいくつかのサンプルファイルがあります。

一度開いてみて、どんな出来上がりかなど見てください。

サンプルはメニューの「ファイル」の「サンプルファイルを開く」でサンプルのあるフォルダが開きます。

そこから「sample3」というファイルを選んで下さい。

実際に図面をお作りになる前に開いて、適当に選択移動、削除などいろいろコマンドを試してみると作 業を覚えるのに効果的です(操作を覚えないうちに設定値を変えるのはやめておきましょう)。

実際にサンプルを印刷してみましょう。

きれいな図面が作成できるのが確認できます。

「ファイル」→「印刷」 を押します。プリンタと枚数確認画面が現れますので印刷してみます。 印刷できましたでしょうか?もし印刷できない(用紙の向きが違う)場合はトラブルシューティング(参 基本操作編2)「印刷ができない」をご覧ください。

2-3 間取り作成の流れ

平面図作成の基本となる、間取りを作成する基本的な手順です。「間取りっどPRO3」は間取りをカンタンに作成するのに便利なツールが豊富にあります。順番が違っても間取り図は作成できます。 ここでは実際に操作せずに作成の流れを見てください。



まず「四角形部屋作成」で部屋を作成していきます。



「四角形部屋作成」と「多角形部屋作成」、「壁」ツールで間取りを完成させます。



「建具配置」で建具を配置します。階段がある場合は「階段作成」で階段を作成します。



「部品配置」で家具などを配置します。



文字を追加して、完成です。

2-4 基本操作1

基本的な操作を順に説明していきます。基本操作1を習得すれば、ほとんどの間取り図が書けるよう になります。

マウスの操作

「間取りっどPRO3」のマウス操作です。基本的には左が決定で右がキャンセルですが、特定のキー と組み合わせて使う場合もあります。

左クリック・・・・選択、オブジェクトの作成

右クリック・・・・選択物のプロパティを変えるメニュー、多角形などの作成キャンセル

組み合わせキー

選択状態で左と右を同時に押す

ズームの拡大ボタンを押したのと同じ状態になります。ドラッグすると拡大されます。

作図中に「ctrl」キー

壁や直線を水平・垂直に作図します。

オブジェクトの選択で「ctrl」キー+「左クリック」

オブジェクトを一つずつ、追加選択、選択解除できます。

オブジェクトの選択で「たダブルクリック」

重なっているオブジェクトを上から順に選択が変わります。

図形描画中に「shift」キー+「左クリック」

オプションメニュー「相対位置」が現れる。

ではサンプルファイルの練習1の間取りを作成していきましょう。

メニューのファイルの「新規作成」を選んで下さい。(この時に「ファイルを保存しますか?」というメッセ

ージがでても「いいえ」を選んで下さい)

作成の設定をしなければいけないので、以下のとおりに合わせてください。

面面左上の縮尺を100分の1にしてください。
 縮尺 1/ 100

グリッド吸着をONにしておきます
(赤い矢印がONです。)他の吸着はそのままでいいです。その横のグリッド吸着間隔は「1分割」にしておきます。



画面に方眼紙のようになっている薄青の網目をグリッドといいます。グリッドは部屋などの幅高さ間隔 に使います。グリッドは実寸のmm単位(設定した用紙に印刷される大きさ×縮尺)で表示されます。メ

ニューの「表示」(ツールバーの

間取りを作成する上でグリッドを利用することは必須です。

これからの説明でもグリッドは多くでてきます。

グリッドの間隔はグリッドパターン、補助線グリッド、アイソメグリッドの3種類がありますが、まずは基本のグリッドパターンを使います。グリッドパターンは5パターンまで設定できます。(参 グリッド間隔の設定 基本操作編2)

とりあえずここはグリッド間隔の設定 を押して、 ALL 半間 を押し、下記のように 910mm 間隔こしてください。

910 910 横,縦間隔 ◎ バターン1 mm

OKボタンで「グリッド間隔の設定」を終了します。

マウスのボタンを押さずにマウスを動かして、マウスの先の十字がグリッドの交点にピタピタと止まるのを確認してください。



このグリッドに沿って部屋を作成していきます。グリッドの幅に合わない間取りは、吸着する間隔を小

さくします。グリッド吸着の横の「1分割」を「2分割」 2分割 くにしてマウスを動かしてみてください。

	1.5.1		
		+	

グリッドの間に点線のグリッドが現れました。グリッドの半分のところでもマウスの先の十字が止まる ようになります。

では、「1分割」に戻して「部屋作成」をご覧ください。



四角形部屋作成



m⁽壁芯)で表示

チェックをすると、「帖数を出力する」で、部屋名の下に部屋面積が出ます。

広さ固定

大きさの固定した部屋を作成します。(参 基本操作編2)広さ指定で部屋を描く)

今回は、「部屋名を出力する」のみチェックを入れた状態で作図してみます。

次の図面のようにどこでもいいので、画面上の左上あたりを左クリックし、マウスから指を離してドラッ グせず、マウスを右に3マス、下に3マス動かし、マウスの横が「4.5 帖」になったら二点目をクリックし ます。すると和室 4.5 帖が作成できます。(四角形部屋作成で和室を選ぶと、3、4.5、6、8、10 帖の部屋 は自動的に畳の縁がつきます(部屋の形が長いものなど線がでない場合もあります)。)



1マスの一辺を910mmに設定したので、1×2マスで1帖になります。マウスの横にピンクの枠で出て くる数字は、一点目をクリックしたところからの[横の距離,縦の距離,帖数]です。

同じようにして、和室の下に洋室の6帖も作成してみます。

部屋選択 ×

「部屋選択」で「洋室」を選びます。



①をクリックし、右に3マス、下に4マス動かして②をクリックします。

図形を作図した時に出る赤い点(部屋や部品は赤、線や円は黒、壁は紫)をハンドルと言います。

いろんな操作の基準点になります。このハンドルがでている状態を選択状態といいます。

注意:

部屋名が出ない(又は小さい)時は「部屋情報の編集」(参 基本操作編2))で設定しなおします。 メニューの「ツール」の「設定」を選び、「部屋情報の編集」タブを押します。画面左上の「部屋文字 の変更」を押します。

また、部屋作成時の帖数の「帖」の文字を「畳」にかえることもできます。

部屋文字フォントの設定		×
部屋文字:	ォント種・色の設 定	
部屋文字高さ(印刷mm) 部屋文字間隔(印刷mm)	4.2 mm 0.0 mm	
	OK	キャンセル
「部屋文字高さ」を「	4.2mm」くらい	いこしてのドボ
次から部屋を書く時	射に出力される	る文字が変わ
のまま進めてくださ	t۱.	



一点目のクリックする場所を間違えたら右クリックでキャンセルできます。

(一点目の位置が違っていたら、右クリックでキャンセル)

作図した部屋を削除したいときは、選択状態(ハンドルのついている状態)で削除ボタン か、キーボードの Delete キーを押すと削除されます。(参選択) 部屋を書いた直後は「選択状態」になっていますので、間違えて部屋を書いてしまったら削除ボタンを 押してください。

では和室、洋室と同じように浴室、トイレ、DKを四角形部屋作成で作成し、下図のようにしてください。



多角形部屋作成

を押します。四角形以外の部屋を書くときに使用します。「部屋選択」 「多角形部屋作成」ボタン で「廊下」を選びます。

多角形の角になる部分をクリックしていきます。右クリックで、直前に指定した点がキャンセルになりま す。最後に、一番最初に指定した点をクリックすると多角形の部屋が完成します。



左クリックで6点クリックします。始点から赤い点線で、クリックしたところが結ばれます。直前の点と今の位置までの距離、点線で囲まれた範囲の帖数(m指定の場合m)がマウスの横のピンク枠にでます。



番号の順にクリックするとできあがります。始点①と同じ点の⑦をクリックすると多角形ができます。 描いている途中でクリックするところを間違えたら、右クリックで1つ手前の番号のところに戻ります。 (作成した部屋の真ん中に部屋名が出るので、多角形部屋作成で作成された「廊下」の文字は、ずれ た場所にありますが、後で移動しますのでとりあえずこのままにしておいてください)



「選択」ツール はあらゆる作業の基本です。「間取りっどPRO3」の作業において常に使用 することとなり、「選択」を理解することは操作において最も重要な部分でもあります。

作業中は部屋や図形を書いたりする以外は基本的に常にこの状態にしておきます。

「選択」ツール を選び、部屋や文字の上でクリックすると、それが選択状態(ハンドルのつい

た状態)になります。

部屋や部品などを配置した直後もハンドルのついた選択状態になっています。



ハンドルは、選択中であるというのを示す目印になります。また、「伸縮・回転」ボタン

伸縮回転OFF を押してONにしてドラッグすると伸び縮みします。(部品や文字は緑のハンド ルをドラッグすると回転します)

・ドラッグで囲むと複数が選択状態になります。

・Ctrlキーを押しながらクリックすると個別に選択、解除ができます。

・重なり合ったものの上でダブルクリックすると順番に選択が変わっていきます。

選択とは、選択状態のものを編集(移動したり削除したり色などの内容を変える)するものと覚えてください。

選択したものは

・「削除」ツール - で 削除できます。 (参)

・ドラッグすると移動できます。(ハンドルのついていない部分をドラッグしたとき)

•「伸縮・回転」で伸縮(グループや文字は回転も)できます。(「伸縮・回転」ボタンをONでハンドルの ついている部分をドラッグしたとき)(参))

- プロパティ ・プロパティ(右クリックやプロパティの編集ボタン 編集)で状態を変更できます。 (参)

·図形(線、四角等)や文字を複数選択するとグループ化(部品)できます。(参 基本操作編2))

•色変更できます。(参 基本操作編2)

選択した文字を修正できます。(参)

その他オブジェクトにあわせて右クリックメニュー(参)の中からコマンドが指定できます。

先ほどの間取りの文字や部屋などを選択してみましょう。(注意:部屋は中をクリックしても選択状態になりません。部屋の外枠の壁の部分をクリックしてください。)



次に範囲選択をやってみます。これは選択したいものを囲むように左上(もしくは右下でも左下でもよい)からドラッグして囲んでマウスを離すと、囲んだものの中の物が選択状態になります。



現在、どのモードなのかをしっかり把握して作業するようにしてください。

どのモードになっているかわからなくなったら、とりあえずこの「選択」モードにして、次にどういう作業 をするかを考えるようにしてください。

ズーム機能

作業をしやすいように「ズーム」機能で表示画面を拡大/縮小させます。作図しやすい大きさに拡大してください。

拡大は、拡大したい部分をドラッグ(マウスの左ボタンを押したまま動かす)すると、クリックした部 分を中心に段階的に拡大表示します。

(「ツール」「設定」「動作設定」「ズーム拡大を1クリック動作にする」にチェックがあると、ドラッグせずク リックだけで1段階拡大します。)

範囲拡大 ・ は、ドラッグで囲った部分を拡大します。

縮小 <<p>縮小 <</p>
は、1段階縮小表示します。別の部分を拡大したい時は、縮小してもいいですが、一度全体表示
表示
表示
を押して、拡大した方がやりやすいです。

拡大は、選択モード

両方のボタンを押したままドラッグすると、クリックした部分を中心にその部分が拡大されます。 では先ほど作成した間取りを拡大して見やすくしてみましょう。

画面左上の「選択」 を押して、間取りの中央から左右同時にクリックしながら右下までドラッグして いきます。



(① マウスを両方押し、押したまま右下に動かして、見たい大きさになったら離します。)



うまくいかなかったときは全体表示 空を押して再度チャレンジしてみましょう。

今後、作業していく時は常にこの部分的に拡大した状態で作業していくと、やりやすくなります。ズーム を多用しましょう。

もしズームモード(マウスの形が虫メガネの状態)が戻らない時は、右クリックをすると戻ります。

手のひらツールで画面表示位置を移動

ズームで拡大をして作業し、ズームしたまま別の場所を見たいときにスクロールバー(画面右と下に 出るバー)をドラッグするのは面倒です。「手のひらツール」でを押して画面をドラッグすると、拡大 表示のまま作業場所を移動できます。

ズームというのは画面上で作業をしやすくするために拡大するためのものです。ちょうどカメラのズー ムとか虫メガネで書類をみるのと同じようなことで、図面そのものを伸縮することではありません。図 面そのものを伸縮するのは「縮尺」(参)で行います。

キーボードでもズーム操作

テンキーの+で1段階拡大、-で縮小、*で全体表示します。

移動

マウス移動

「選択」を押してオブジェクト(部屋や文字や線など)をクリックします。そして選択されたオブジェクトには、ハンドルが現れます。そのままドラッグするとオブジェクトが移動します。

マウスの位置固定を使用すると縦、横に固定して移動します。



キーボードの「Ctrl」を押しながら移動しても縦、横に固定して移動します。

キーボード移動

選択したオブジェクトをキーボードの「カーソルキー」(矢印方向キーで)上下左右に移動できます。移 動単位は「設定」の「キーボードカーソル移動量」で設定します。

練習してみましょう。まずマウスがグリッドに吸着している状態ですので、全ての吸着をOFFにしてく



(全て矢印の中が白くなっている)(文字の移動は吸着は全てOFFで す。吸着については後の項の説明を参照してください 吸着の活用参)

区 を押して、先ほど配置した「廊下」の文字部分をクリックして、そのままドラッ 次に選択ツー

グしてください。移動します。

ださい



(「廊下」を選択するときに他のオブジェクトが選択状態になってしまったら、ダブルクリックしていけば 選択しているものが切り替わります。作業しにくい場合はズームで拡大してください)

間違えて部屋を移動してしまったりした場合は「編集」の「元に戻す」で元の状態に戻ります。

図形の消し方

いらない図形や失敗した図形を消したい時、「削除」を使用します。

削除は

- 削除ボタン の を押す
- ・ 右クリックメニューの「削除」
- ・ メニューの編集の「削除」
- Delete +-

のいずれかで消えます。

消したい図形を「選択」で選択し削除します。部屋や線、部品など、描いた直後にもハンドルがでていますので、そこでは「選択」にしなくても「削除」ですぐに消せます。

ー度「部屋」を削除してみましょう。「選択モード」 で、「廊下」の文字の部分をクリックして 選択状態にします。



削除ボタン を押して文字を消します。

削除した後に「編集」の「元に戻す」 **う**をすれば元に戻ります。「元に戻す」で「廊下」の文字を戻して ください。

建具配置 を押すと下記の「建具配置」画面が表示されます。

グリッド吸着はONにしておきます。

(「建具配置」を押すと自動的にONになります)。



①建具選択・・左クリックで建具を選びます。選ぶと赤い枠が出ます。
 ②建具種類・・建具の種類を切り替えます。*のついているものは雨戸などのオプションがつけられます。
 ③ 雨戸等・・・*のついている種類の建具に雨戸であれば戸袋、シャッターは一点鎖線、格子は二重点線、網戸は点線をつけます。網戸は他のオプションと組み合わせられます。
 ④ページボタン・・表示ページを切り替えます。

⑤設置・・建具の配置方法を切り替えます。

⑥幅・・・「マウス」は左クリック 2 点で幅指定します。「数値」は設定した数 値幅で配置します。

⑦線色・・建具の色を設定します。

⑧立面・・立面図作成の時の高さと取付高を設定します。

配置方法

ではトイレの前の壁に配置してみます。

「建具配置」を押し、⑤の設置が「壁芯」であることを確認し、②を「開き戸」にして①を「片開き1」をクリックし、壁の上を左クリックします(次図A)。



マウスを動かす(ドラッグはしない)とグリッドに沿って建具幅(赤い枠の白い四角形幅)が表示されます。 幅はマウスの幅に壁厚分引いた幅で、壁にピッタリ納まるようになっています。幅が決まったら左クリ ックを押します(上図B)。

次に扉方向を決めます。画面に表示される向きで左クリックを押します(上下窓などの向きの関係ない ものはどちらの向きで左クリックしても変わりません)。これで建具配置完了です。



ここで建具の方向や扉の向きを変えたい場合は、選択状態で右クリックするとメニューがでてきます。

180度回転
扉の方向を変える
雨戸の向きを変える
幅、厚み、高さ変更
经制
4岁里/
移動… コピー(数値)…

180度回転・・・設置位置はそのままに建具を180回転します。

扉の方向を変える・・・扉の方向を変えます。

雨戸の向きを変える・・雨戸をつけていた場合、上下方向に入れ替わります。

幅、厚み、高さ変更・・・指定した幅、厚み、立面作成時の高さに変更します。

移動・・・指定した数値分移動します(参移動基本操作編2)。

コピー(数値)・複写して指定した数値分移動します(参コピー(数値))。

削除・・・建具を消去します。

この右クリックメニューは配置直後でなくても、「選択」ツールで建具を選択し、右クリックで表示されます。

以上のように建具の種類を選んで、この操作を繰り返して配置します。

雨戸・シャッター等

建具配置時にこのボタンを押しておくと、建具に雨戸であれば戸袋、シャッターは一点鎖線、格子は二 重点線、網戸は点線をつけます。網戸は他のオプションと組み合わせられます。



設置

「壁芯」は説明のように、マウス指定した幅に片壁厚×2引いた建具幅で配置されるので、壁芯吸着を 利用するとぴったりと壁に納まるようになっています。「角」は下記図のように四角形の角からの建具 幅で設置されます。



幅

「マウス」は設置が「壁芯」であればマウス指定した幅に片壁厚×2引いた建具幅、角であればマウス間の距離です。「数値」にすると、設定した値で固定されます。

建具の線の色の設定

建具の線の色は、デフォルトは黒ですが、任意の色に設定することができます。



開き戸の中を白くする設定

開き戸の中を白くすることができます。「ツール」「設定」「表示設定」の「建具配置の開き戸の中を白く する」にチェックを入れてOKを押します。

次から作成される「建具配置」の「開き戸」と「玄関」の円弧部分の中は白く塗りつぶされます。 (「表示設定」のチェックを切り替えるといつでも従来の中塗りつぶしなしの建具が書けます)



注意:全体表示にすると、円弧部分が、若干ゆがんで表示されることがあります。印刷したり、画像出 カの際にはほぼ問題ありませんが、四角形部分と線が重なったように見えることがあります。

注意:

建具配置した建具はグループ(部品)と同じですが、上下反転は180度回転、左右反転は扉向きを変え るとなります。また、「部品配置」にある「建具」や「サッシ」は180度回転や幅変更などができません。 建具はこの建具配置を利用した方が便利です(一部サッシなど、特殊な図柄は部品配置で行なってく ださい)。

部品の配置

次に部品を配置してみます。

「部品」と「グループ」は呼び方が違いますが同じものです(部品=グループ)。「部品配置」でグループ (部品)を配置します。

部品と呼ぶときはここの「部品配置」で配置したものを指します。

まず、「線吸着」はON、「グリッド吸着」「壁芯吸着」「交点吸着」はOFFにして下さい。



2

自動的にグリッド吸着はOFFになります。





め配置位置がわかっている場合などは、これで変更してから配置すると便利です。

「変更…」を押します。

(リセットは向きと倍率が元に戻ります)

部品の向き、大きさ、配	置位置					×
部品の向き						
標準 左90度	【回転 右90度回転 1	80度回転 上下	反転 左右反転	指定角度	0度	
部品の大きさ						
● 倍率指定	横 1.00	倍 縦 🗌	1.00 倍			
○ 数値指定	横 320.00	mm 縦 厂	380.00 mm			
「部品配置時のマウ	ス位置 ——					
• c c						
000						
000			(OK I	キャンセル	

部品の向き・・・部品の向きを設定します。角度を指定することもできます。

部品の大きさ・・・倍率または数値で指定します。キッチンやオフィスの机などの大きさを指定すること ができますが、数値は部品の最大縦横幅の指定です。絵柄的に最大幅が机の幅になっていないこと などがありますので注意してください。

部品配置時のマウス位置・・・配置する時の部品をつかんでいるマウスの位置です。

部品配置時のマウス位置 — C C C C C C C C C

(電気部品などは、マウス位置を中央にしておけば配置しやすくなります)

(配置後に部品の向き変更や伸縮・回転が簡単に出来ますので、あまり厳密に考えなくても大丈夫で す。一旦配置したい位置の近くに配置しておいて、後で移動して位置合わせすればいいです)

では「住宅設備」から「トイレ」のフォルダ、その中の「トイレ2」を選んでください。「トイレ2」は左向きの 部品ですので、部品の向き・大きさを変えずにそのまま画面上のトイレの場所に配置してみて下さい。 細かい位置や向きは後で合わせる練習をしますので、適当に配置してください。部品画面は閉じてお きましょう。



ţ



(画面上にドラッグせずにマウスを動かして左クリックすると配置されます。「トイレ」の文字を少し左に 移動しておきます。部品配置後は「選択モード」になっているので、「トイレ」の文字をドラッグすると移 動します。)

部品を間違えて選んでしまったら、配置前であれば部品を選びなおせば変わります。



(部品を選びなおせば配置しようとする部品が変わります。)

いったん配置してすぐに削除ボタンで削除してもよいです。

⑤の一覧ボタン 一覧 は部品点数が多い場合などに便利です。お好みに合わせて表示を切り

替えてください。



⑥の連続配置は、現在選択している部品を続けて配置できます。画面をクリックするだけで部品が 次々に配置できます。同じ部品をポンポン貼り付けていく場合に便利です。



ステータスバーへの大きさ表示

ウィンドウの右下、ステータスバー上で、現在選択されているグループ(部品、建具、部屋)、図形、文字、画像の大きさが確認できます。グループは横幅と縦幅が表示されます。部屋は帖数、建具は建具幅が表示されます。

部品 横1800.00 縦1800.00

部屋 横3640 縦2730 6.00帖

(多角形部屋は帖数のみ表示されます。)

建具 幅1720.00

直線 9133.86

文字 高4.0 間隔0.0 行間0.0

画像 幅60.0mm 高さ60.0mm

グループの向きを変える

グループ(部品)の左右反転、上下反転、左回転、右回転、他の角度、伸縮は、グループを選択して右 クリックするとできます。

先ほどの配置した「トイレ2」の向きを変えてみます。

「選択」でトイレ2を選択し、右クリックメニューから下記のように向きを変えてみてください。

左右反転
上下反転
左に90度回転
右に90度回転
他の角度の回転
伸縮



左90度回転 →



左右反転



さらに右90度回転で元に戻ります。



「伸縮」の倍率指定で伸縮率、もしくは数値指定で実際の大きさを指定して伸縮できます。

選択グループの伸縮								×
○ 倍率指定 ○ 数値指定	横横	1.0	倍 mm	縦 縦	Γ	1.0 456.00	倍 mm	
			OK			++V	セル	

倍率指定は均等に大きさを伸縮します。

数値指定はグループの横幅、縦幅を指定します。住宅設備や机などの、外周が四角形などの配置物の大きさを数値指定で変更するのに便利です。

部品配置の時の大きさ変更と同様です。

倍率指定で横を20倍にすると下図のようになります。



「グループの伸縮」と「他の角度の回転」は「伸縮・回転」というマウスを使った方法でもできます(参_伸縮・回転)

トイレ2は削除して元の位置に配置しなおしてください。

グループの向きは「グループ」のメニューからも実行できます。

グループの向きは、画面右上のツールバーからも変えられます。

上から、「左右反転」「上下反転」「左90度回転」「右90度回転」「他の角度回転」「伸縮」です。



いったんここで保存します。図面は完成しておりませんが、不慮の事故(致命的なミスやフリーズ)に

備えて保存します。もし操作を間違えても「編集」の「元に戻す」

の「バックアップファイルを開く」で手前の状態まで復旧しますが、作業のコッとして、ある部分が作成

できたらまめに上書保存

間違えて、最初から書き直しとなると非常に面倒くさいものです。まめに保存しておけばそこからやり 直せるので、保存するクセをつけておきましょう。

メニューバーの「ファイル」をクリックします。

①「名前をつけて保存」をクリックします。

7ァイル(F) 編集(E) グループ(G) ま 新規作成(N) 開く(O)... 上書き保存(S) 名前を付けて保存(A)...

②「保存する場所」を決めます。

よくわからないあるいは決まっていない場合は「ドキュメント」にしておきましょう。保存するときはドキュメントときめておくとファイルがどこにいったかわからなくなるなどのトラブルが防げます。保存する

時は「保存する場所」がドキュメント(あるいはお客様で決められたフォルダ)かどうか確認するように してください。

「ファイル名」・・・お好きな名前をキーボードから入力して下さい。(とりあえずここまで作業したことを 保存してみます。ファイル名は「練習1」とでもしておきましょう)

「ファイルの種類」・・・「間取りっどPRO3」独自の形式で保存されます。ここは必ず変更しないようにしてください。

③ 本製品は、自動的に「間取りっどPRO登録ファイル(*.lac)」の形式で保存されます。

- ④ OK であれば、右にある「保存」をクリックします。
- ある程度作業をするたびにツールバーの上書保存 を押して保存してください。



保存せずに終了した。間違えて図面をいらったもので上書きした。フリーズした。などで保存できなかった場合、自動的に保存されたバックアップを呼び出すことができます。バックアップはファイルを開くたびにリスト化され、最大5つの図面をバックアップします。「ファイル」「バックアップファイルを開く」をします。

間ババックアップデータを選ぶ 2020 10.25 11:42:273 2020 10.25 11:42:273 2020 10.27 13:53:29 2020 10.27 13:53:29 2020 10.27 13:53:29	バックアップを開く	×
2020.10.29 11:42:23 2020.10.29 11:42:23 2020.10.27 13:53:29 2020.10.27 13:53:29	開くバックアップデータを選ぶ	
2020.10.27 13:53:29	2020.10.29 11:42:23 2020.10.28 16:34:04	
2020.10.27 10.00.29	2020.10.27 13:53:29 2020.10.27 13:53:29	
		キャンセル

バックアップが作成された日付がでてきます。一番上が直前の図面です。

ある程度中段した手前まで戻せますが、バックアップが作成されず図面が終了していることもありま すので、あくまでセーフティーと考えて、まめに保存をするようにしてください。

伸縮·回転	

伸縮

選択ツールで選択状態(複数が選択状態ではできません)の、部品、建具、文字、壁、線や円、画像な どオブジェクト全ては伸縮して大きくしたり小さくしたりすることができます。

(このように均等に伸縮します)

吸着をグリッド吸着と壁芯吸着をONIこして線吸着をOFFの状態にします。



まず作成途中の「洋室」を選択状態にして「伸縮・回転」ボタンー作縮・回転ON」をONにします。

洋室の左下のハンドルをドラッグしてみてください。部屋が大きく引き伸ばせます。



(注:「部屋移動ロック」(参)がかかっていると伸縮しません)

マウスから指を離すと、伸縮回転はOFFになります。

伸縮の操作が確認できれば、洋室の大きさを元に戻してみます。

「編集」の「元に戻す」
「伸縮・回転」ボタンの横にある 「連」にチェックを入れると、1回ずつ「伸縮・回転」ボタンを押さなくと も常に伸縮・回転できます。しかし移動しようとしてドラッグすると、ハンドルの上であれば「伸縮・回転」 してしまうミスをしやすくなるので注意してください。

「等比ボタン」 等 にチェックを入れておくと、グループ(部品)を伸縮する時に、縦横比を維持した まま伸縮します。部品の形状を崩さずに大きさを変えたいときに使用します。





伸縮は他に伸縮の割合(パーセント)を入れて伸縮する方法があります。(グループの伸縮 参)

文字付部品は文字の大きさも均等に伸縮します。

吸着を全てOFFにして洋室の文字を引き伸ばしてみてください。(文字の伸縮)



多角形部屋作成で作成した部屋は角ごとに伸縮で形を変えることが出来ます。



縦方向、横方向に固定して伸縮したいときはマウスの位置固定を使用します(参)。



「伸縮・回転」をONにして部品や文字の右上の緑のハンドルをドラッグすると、部品が回転します。部 品配置で「住宅設備」の「トイレ」「トイレ2」を配置し、緑のハンドルを回転してみてください。(吸着は線





部品回転はメニューの「グループ」の「グループの回転」「他の角度の回転」にすると、任意の度数で回転できます。

同じように「伸縮・回転」を押して、文字の緑のハンドルをドラッグして回転してみてください。



吸着の活用

「グリッド吸着」「線吸着」「壁芯吸着」の吸着機能を使ってきましたが、これを明確に理解すると、らくち ん、簡単、スピーディーな操作が出来るようになります。吸着は間取りっどPRO3の操作の要ですの でしっかりご習得ください。



「グリッド吸着」ボタンショートカットキー(shift キー + z)がON(矢印の中が赤い状態)で、グリッドの交点にマウスの先の十字がくっつきます。(「設定」の「動作設定」で「グリッド吸着時必ず吸着する」 がチェックされていなければ、近寄った時だけ吸着するようにできます。デフォルト設定では必ず吸着 するようになっています)



「部屋作成」、「建具配置」の時は必ずONにして、間取りを作成します(「部屋作成)「建具配置」を選ぶ と自動的にONになります)。

1分割 はグリッドとグリッドの間をどの間隔で吸着させる グリッド吸着ボタ

かを設定できます。1分割にするとマスどおりに、2分割だとマスの半分で吸着します。10分割では マスの間を10区切ったところで吸着します。設定分割は「ツール」の「グリッド間隔の設定」で決めてい る値で区切られます。



グリッド吸着をONで2分割にしてマウスを動かしてみてください。グリッドの 交点の間でもピタっと止まるようにまります。次に4分割にしてみてください。グリッドのマスを4分割で 止まるようになります。



す)

また、「グリッド間隔の設定」でグリッド幅を変えれば、より自由で細やかな間取りを作成できます(参 グリッド間隔の設定 基本操作編2))。

グリッド幅を変えるとより細かくできますが、細かすぎて見づらく、作図しにくくなる場合もありますので、 まずはこの**吸着間隔だけ変えて**、作図するようにしてみてください。

「部屋作成」と「建具配置」はグリッド吸着を使用しなければ、間取りがずれて作図しにくくなりますので、 グリッド吸着をONにして、グリッドの間隔にあてはまらないような間取りは吸着間隔を変えて、近い値 での作図を行います(「間取り作成のコツ」で詳しく説明します 参)。

デフォルト設定では「部屋作成」、「建具配置」、「壁」、「柱」、「階段作成」を押すと自動的にグリッド吸着がONになります。

「グリッド吸着」は部屋、壁柱の作成と建具配置、部屋や壁、建具の移動時、伸縮時にONが便利です。 (移動、伸縮を行う「選択モード」の時は意識的にON・OFFを切り替える必要がありますが、その他の モードは自動的にONになります)



線吸着 ショートカットキー(shift キー + x)がONになっていれば、部品の線の端、ハンドル、線 と線の結合部、円の中心と壁の縁、壁の外側、文字の基点にマウスの先の十字が吸着するようになっ

ています。

線吸着がONの時は自動的に壁芯吸着がOFFになります。

用途としては

- ・ 部品などを配置するとき等の位置合わせをする時
- 部品や図形を伸縮するとき
- 線や円などで図形を書くとき
- 文字の基点を線やグリッドにあわせるとき
- ・ 寸法線を書くとき(部屋寸法は壁芯吸着を使用)

等に使用します。

いくつかの例をご紹介致します。

·結合部



左図の丸印にマウス先が引き 寄せられるので、そこをクリッ クしてドラッグ

↓壁の端こピッタリ吸着します。



・ハンドル



伸縮の時のみハンドルに吸着します。

・円の中心





壁芯吸着

「部屋や壁、建具、柱の作成時と移動時」

に使用します。部屋や壁、柱、建具を移動、或いは配置、作成するとき以外はずっとOFFにしておきます。

グリッド吸着をONにしていればグリッド吸着で部屋や壁を作成していくので普段は必要ないのですが、 グリッドに吸着しない部分などの壁を書くときや、グリッドを使わずに作図することがありますので、そ のときに使います。

では練習してみましょう。

①まず「四角形部屋作成」で「45帖和室」と「6帖和室」を作成して適当に配置してください。

次に、この二つの部屋をつなげる必要がありますが、この時に「壁芯吸着」をクリックします。 (アイコンがONになります)このとき、線吸着をOFFにしてください。機能をわかりやすくするた めにグリッド吸着もOFFにしておいてください(通常はグリッド吸着もONにして部屋作成します)。







交点吸着ショートカットキー(shift キー + v)は、他の吸着と特徴が少し異なります。他の吸着は マウスを近付けると吸着するのに対し、交点吸着はONの時に線(直線)と線、線と円、円と円の交点付 近で**クリックした時**に吸着する機能です。これがONになっていると選択しているオブジェクトが移動で きないことがあります。普段はOFFにしておきましょう(デフォルトの設定では一回クリックすると自動 的にOFFになります。連続でONにしておくには「ツール」の「設定」の「動作設定」(参 基本操作編2)) で切り替えます)。壁ツールで作成した壁の交点には反応しません。

2本交差する線を引いてみます。



交点吸着を押してから、2本の線の交差する付近をクリックします。



オレンジの太い十字が出ると、交点吸着したことになり、交差する部分をクリックしたことになります。

グリッド吸着(shift キー + z)・・・部屋、壁、柱、建具階段作成とこれらの移動の時ON **線吸着**(shift キー + x)・・・・・部品や線、文字の基点などの図形を移動して位置合わせする時、部品 や線を伸縮する時にON。使用する時は他の吸着はOFFにしておく **壁芯吸着**(shift キー + c)・・・・部屋や壁、柱、建具の作成、移動する時以外はずっとOFF。使用する 時は、線吸着、交点吸着はOFFにしておく **交点吸着(**shift キー + v)・・・・線と線、線と円、円と円の交点をとりたい時にだけON。普段はOFF

十字がでていないと、交点吸着していなく、クリックした位置がずれています。

吸着のまとめ(カッコ内はショートカットキーです)

吸着、及び**選択**を理解すると間取りっどPRO3の操作の要を理解したことになります。逆にここがわ からないと作図しにくくなりますので、よくわからない場合は再度学習してください。

どうしても「吸着」がわかりづらい時は・・・



とりあえず「**部屋作成」と「建具配置」、「壁」、「柱」、「階段作成」はグリッド吸着ON、それ以外はOFF」** だけ覚えてください。部屋、壁、建具さえずれなければ、間取りは描けます(画面左上の部屋移動ロッ ク(参)でロックをしておけば、部屋はずれる心配はないので安心して作図できます)。

部屋や建具の移動ロック

「選択」 で部品を移動(伸縮)する先に、誤って部屋や建具を移動(伸縮)してしまうと、

グリッド吸着がOFF━━━━━ だと、元の位置に戻しにくくなります。



グリッドからずれてしまう)

すぐに「編集」の「元に戻す」 をすると元の位置に戻りますが、移動で戻そうとするとグリ ッドに合わせにくくなります。

部屋移動ロック-りリット 吸Off時 、 でロックしておくと、部屋、壁、柱、建具が マウスのドラッグによる移動もしくは伸縮(回転)ができなくなります。



「常時解除」にすると、通常通り移動や伸縮ができます。

部屋などは一度書くと移動することも少ないので、ロックしておいた方が間違って選択して移動 してしまうことがなくなるので、まずはロック(「グリッド吸着OFF時ロック」)して作業すると 便利です。

図形や部品と部屋などを複数選択状態にしたものを移動しようとすると、部屋は移動せず、図形や 部品などは移動します。



部屋と文字、キッチンをまとめて移動しようとすると・・・部屋だけ移動せずに、部品、や図形、 文字だけ移動します。

> -部屋移動ロック-クリット吸Off時▼

・「グリッド吸着 OFF 時ロック」



グリッド吸着が OFF の時だけ部屋や建具の移動を制御します。

間取り作成の失敗のほとんどは、グリッドから部屋がずれることにありますが、このモードだとずれる心配がなくなり、なおかつグリッド吸着 ON だと部屋の移動がスムーズにできますので、この状態にしておくことをお勧めします。

部屋を移動させたい場合は、「グリッド吸着 OFF 時ロック」の場合はグリッド吸着をO

N にしてください (注:線吸着 ON の時はグリッド吸着 ON でも移動伸縮が 制御されます)。

	「部屋移動ロック」	
	常時口ック 💌	
・ 常時ロック		

従来の部屋移動ロックで、常に部屋や建具が固定されます。部屋や建具の配置が完 成して動かしたくないときに使用します。

	「部屋移動ロック」	
	常時解除 🔻	
・「常時解除」		

常時部屋や建具の移動、伸縮を制限しません。デフォルトはこのモードです。

グリッドを使用しない作図をされている方と、ななめに配置した建具の移動をする場合はこのモードです。

部 屋 移 動 ロックが か か って い る 状 態 は 画 面 左 上 に 表 示 され ます 部屋移動ロック作動中(プリレ゙・吸着OFF)

「部屋移動ロック」で制限されること・・・

マウスドラッグによる部屋、壁、柱、建具の移動・伸縮・回転

「部屋移動ロック」で制限されないこと・・・

部屋、壁、柱、建具の

・キーボードによる移動

- ・移動ダイアログによる移動
- ・グループの伸縮、回転
- ・「ツール」「囲った内容を移動」

グループ化された壁・柱の移動・伸縮

曲線化した壁(二重線多角形)の移動

元に戻す・やり直し

何度か作業中にでてきましたが、移動や配置、伸縮・回転など、間違った操作をしてしまったら、メニュ ーの「編集」の「元に戻す」 クをしてください。 連続 20 回まで元に戻すことが可能です(「ツール」「設 定」「動作設定」で 5~30 回まで回数設定できます)。

「編集」「やり直し」 で、「元に戻す」操作を取り消せます。

コピー

全てのオブジェクトは「コピー」コマンドでコピーできます。コピーしたいオブジェクトを選択して、

- ・ 「編集」の「コピー」
- ・ 右クリックメニューから「コピー」
- ・ Ctrl + C キー

でコピーできます。

まず「選択」ツール でコピーしたいものを選択します(複数でもOKです)。メニューの「編集」の 「コピー」を選ぶと、選択したものの少し左上にコピーされます。連続でコピーすることもできます。(参 「囲った内容を複写」基本操作編②)

ではトイレをコピーしてみましょう。



コピーを行うと少しずれてコピーされます。目的によっては位置合わせが面倒になる場合もあるので、 次の「コピー(数値)」か、「囲った内容を複写」もご覧ください。



「コピー」は元図形の少し左上にコピーされますが、「コピー(数値)」は、元図形の位置から指定した数 値分移動して複写できます。

「選択」で選択し、「編集」→「コピー(数値)」(または右クリックメニューの「コピー(数値)」)をすると以下 の画面がでてきます。

コピー (数値)	×	
← → の方向へ0 mm		
↑↓ の方向へ 0 mm		
0 v 度 0 mm		
選択物の幅高さは無視 ~		
コピー数 1 🗸		
コピーする キャンセル		

数値分移動したところにコピー(複写)されます。矢印で移動方向を決めます。 角度と数値を指定してその角度から入力した数値の分のところにコピーすることもできます。 建具や机など、連続して配置する時にあらかじめ元の図形からどれだけ離れたところにコピーすれば いいか位置がわかっている場合に便利です(参 移動 基本操作編2))。

コピー数を入力し、複数個同方向にコピーできます。



選択物の幅(高さ)を考慮してコピーするか、リストから選びます。

・選択物の幅高さは無視・・・選択物の幅と高さは関係なくコピーします。

・選択物の幅分シフトする・・・選択した全ての幅分、左右矢印の方向にシフトします。

・選択物の高さ分シフトする・・・選択した全ての高さ分、上下矢印の方向にシフトします。

下記のように設定してみてください。



右の方向に2つ幅分シフトしてコピーされました。

元に戻して、1つだけ選択して、下記のようにしてください。



矢印下の方向に、100mmの間隔をあけて、3つコピーされました。

*間取りをコピーするときは注意

間取りを選択して、右にコピーしようとすると・・・



グリッドからずれて壁厚分右によってしまいます。これは、建具の幅も含めているため、

全体の幅が大きくなり、グリッドにあわなくなってしまいます。

間取りを⊐ピーする場合は、「ツール」「囲った内容を複写」(参基本操作編②)をご利用 ください。

間取り作成練習

ではここまで習得してきた「部品配置」「建具配置」「伸縮・回転」「グループの回転」「吸着」を使って、下 記のように部品を配置してみてください。

作成のコツは

・「ズーム」
・ 「ズーム」
・

・部品配置はあとで位置合わせをする方がラクな場合もあるので、適当な位置に置いてしまっておくこと。

・位置合わせは「吸着」をうまく使うこと

・「部屋移動ロック」で部屋や建具を間違って移動しないようにしておくこと

・間違えた操作をしたら「元に戻す」

です。

最初は作成するのに時間がかかるかもしれませんが、すぐ慣れますので、基本操作の章を読み終わ ったら余裕があればもう一度新規作成からこの図面作成をしてみてください(部品や建具を変えてみ たり、工夫してみてください)。

もしつまずいたら、特にもう一度マニュアルを読み返してみてください。この図面は「練習1」として保存 しておいてください。



建具配置

- 1~6 「引き違い」「引き違い2枚1」
- 7~10 「開き戸」「片開き1」
- 11~12「上下窓」「上下1」

部品配置

- 13 「家具」の「椅子」「3人がけソファー」
- 14 「家具」の「テーブル」「テーブル2」
- 15 「家具」の「電化製品」「テレビ」
- 16 「住宅設備」の「キッチン」「システムキッチン」型」
- 17 「住宅設備」の「洗面台」「洗面小」

- 18 「住宅設備」の「バス」「バスタブ1」
- 19 「住宅設備」の「トイレ」「トイレ2」

作成の順番としては、部屋移動ロックの確認をします。グリッド吸着OFFの時だけ部屋と建具の移動



部品の位置に文字がある場合は移動します。

作業中は、まめに「上書き保存」

ちょっとでも操作をまちがったら、例えば伸縮しようとして移動したりとか、選択したものを間違えて違うものを移動したりした場合、移動や伸縮をしなおすより、元に戻すっをした方が無難です。 出来上がりましたでしょうか?ここまでの作業ができるようになれば間取りっどPRO3の基本操作の 一番大切な部分を習得できたことになります。

図面が完成し、保存したら「ファイル」の「新規作成」

を押して、再度なにもない状態から「四角形部 屋作成」からこの間取りを書いてみてください。

うまく書けるようになりましたら、次の項からも学習を続けてください。



作成した図面をモノクロプリンタで打ち出す場合など、白と黒だけで表示したい場合があります。

画面右下の上から二番目を押すと、白黒のみで表示されます。
一番上のボタンを押すと、カラーに戻ります。 白黒とカラーはいつでも切り替えられま
す。
・色ぬりつぶし部分は白で塗りつぶしたようになります。
・線は黒になります。

・線色が白の場合は黒になります。

・黒塗りつぶしはそのままです。

では例の「練習1」を開いて、「白黒表示」を行なってください。画面が白黒表示になります。このまま印 刷したら白黒で印刷されます。



フローリングやトイレなどの模様を、白黒表示の時のみ消せることができます。「ツール」「設定」「表示 設定」「白黒表示時に部屋の模様を消す」です。畳の線だけは例外で、この設定をしていても表示され ます(部屋名が和室の時のみ)。

また、白黒表示にすると、後の項で出る「壁の部分削除(参)」をすると線がでますが、「ツール」「設定」 「表示設定」「白黒表示時に部屋の線の色を白にする」にすると消えます。



グラデーション表示

画面右下の3番目でグラデーション(方向に向けて変化)、4番目でグラデーション(周りに向けて変化)、 5番目でシックな表現になります。図面の塗りつぶし部分全体がグラデーション表示します。



だけで全体が左から右にかけて白くなるようにグラデーションがかかります。



るだけで中央から外側にかけて白くなるようにグラデーションがかかります。



て黒くなるようにグラデーションがかかります。

グラデーションの個別の色や、向き(方向グラデーションのみ)の変更については、四角形(参)と グラデーションの方向変更(参基本操作編2)、マイルド化(参基本操作編2)をご覧ください。

グラデーションの編集

デフォルトでグラデーション表示(方向グラデーション)にすると左から右へのグラデーションになりま

すが、これを選択したものを「編集」「選択物のグラデーション変更」で方向を変えたり、グラデーション

をはずしたり(方向、周囲)できます。

選択物のグラデーション変更	×
変更なし	•
□ 選択グループの要素をグループの大きさでグラデーション	をつける
(OK)	キャンセル

「選択物のグラデーション変更」で、グループ単体を選択した時に「選択グループの要素をグループの 大きさでグラデーションをつける」にチェックを入れると、そのグループ全体でグラデーションがかかり ます。例えば下記のように四角形が個別にあるグループの場合に全体でかけると以下のような違い がでます。



グラデーション表示の注意点:

1・白黒表示時にはグラデーションはかかりません。

2・白、もしくは黒の塗りつぶしの場合グラデーションはかかりません。黒にかけたい場合は、「選択物の色変更」で黒に近い色に変更してください。

3・色のついた壁にはグラデーションはかかりません。

4・グラデーション表示をしていると動作が遅くなる場合があります。作図が遅い場合はグラデーション 表示をOFFにして作業をし、印刷や画像出力の際にONにしてください。

5・グループの方向を変えてもグラデーションの方向は変わりません。

図形を描く



次に線の引きかたを説明します。

直線の他に二重線、連続線、四角、多角形、二重線多角形、角丸四角形、円、円弧、三点円弧、楕円、 円弧楕円、スプライン曲線、ベジェ曲線、フリー曲線そして吹き出し、寸法線と図形作成ツールはたくさ んありますが、全て同じような要領で作図できます。ここでは直線を書いてみます。

メニューの「作図」→「直線・矢印」または作図ツールバーの

描画希望位置(始点)にカーソルを持ってきてクリックします。

このとき十字の横にでてくる数値は一点目からの距離です。ドラッグせずにマウスを動かします。 終点まできたら再度クリックしますと確定します。これで直線の出来上がりです。



では矢印付の線や線に色をつけたり、太さを変えたりしてみましょう。

「プロパティ」を設定することによって線の種類を変えることができます。線ボタンを押して画面右の 「作図図形の設定」を見ます。

● 作図図形の設定 ×		
-		
線の種類	点線 ~	
線幅タイプ	1 ~	
線の端点	始点← ~	
端点の大 きさ	普通 🗸 🗸	
色選択		
● 線の色;	蟚択	
 中の色; 	選択 □ 中を塗る	
クファージ	第二色選択	
左から右へ	× ~	
不透明度 100 %		
他の色を選択		
模様をつける mm		

この画面で線の特性を決めます。では画面を参考に、点線の矢印にしてみましょう。 線の端点を「始点ー」にし、線種を点線のものにします。矢印の大きさは普通にします。色は赤に色の ところをクリックすると変わります。画面上で先ほど線を書いた要領で書いてみてください。赤い色の 点線矢印が書けました。同じ種類の線を書くときはそのまま続けてください。線種や色、端点、太さな どを変えるときは線を書く前にプロパティ内容を変えてください。

* 線の太さは「線幅タイプ」を番号で設定し、画面上とプリンタ印刷で太さを個別に設定できるように なっています。

「ツール」「設定」「全般」の画面右に「線幅タイプ(印刷時の線の太さ)のピッチ」とあります。この ボタンをクリックします。

線幅タイプ(印刷時の線の太さ)のピッチ

線幅タイプのピ	ッチ設定	X
線幅タイプ	画面上の太さ	プリンタ出力時の太さ
1	1 💌	3 💌
2	2 💌	6 💌
3	2 💌	9 💌
4	2 💌	10 💌
5	2 💌	12 💌
6	3 💌	14 💌
7	3 💌	16 💌
8	3 💌	18 💌
9	3 💌	19 💌
10	3 👻	20 💌
★太さはmmではありません 画面、プリンタの解像度によって太さが決定します。		
	ОК	キャンセル

「線幅タイプ」に対して画面上での太さとプリンタでの太さを設定します。この数値はピクセルです ので、お使いのディスプイやプリンタで太さは異なります。実際に印刷してみて太さを調整してみてく ださい。ディスプレイは解像度が荒いですので、画面上の太さの数値を大きくするとすぐに太くなりま す。プリンタ出力は、少し線をしっかりと太くしたいという場合は全体的に3倍くらいにするといいです。

線幅タイプ	画面上の太さ	プリンタ出力時の太さ
1	1 💌	3 🔻
2	2 🔻	6 🔻

※ 線の端点、矢印のピッチの大きさは「設定」の「線種のピッチ」「端点形状のピッチ」で印刷mmの 大きさで設定できます。

直線の伸縮

作図した「直線」の向きや長さを変えるには、「伸縮・回転」	伸縮・回転ON	を使用します。	
「選択モード」「こし、作図した直線を選択状態にして	て、「伸縮・回転」――	縮·回転ON	を押
し、直線の黒いハンドルをドラッグします。			





さて今度は四角形を書いてみます。四角形や多角形、二重線多角形、円、円弧(扇形)、楕円、円弧楕 円は中に色や模様をつけることができます。グラデーションの設定もできます。

メニューの「作図」→「四角形」 → をクリックします。線種や塗りつぶしの色、模様を選択できます。

線種は実線(ダイアログの線種の一番上)を選択します。

「中の色の選択」をクリックします。

「中を塗る」の口にチェックマークを付けます。

これで、四角形の中の色を選択できますが、「模様を付ける」にチェックすると模様も付けられます。

- ※「線の色の選択」で線の色を中の色と同色にして、縁取りをなくすこともできます。
- ※「他の色を選択」で作った色はその上のマスに表示されます。

🔳 作図図用	ジの設定 ×	
線の種類	実線 >	
線幅タイプ	1 ~	
	~ ~	
色選択		
〇線の色)	業 択	
 ●中の色選択 □中を塗る グラデーション □ 有効 ○ 第二色選択 左から右へ 		
不透明度 100 %		
12 / M2 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		

線の端点は選べません。

では、練習です。薄い赤で塗り潰した四角形を描いてみましょう。



一点目と二点目をクリックすると四角形が作成できます。

ー点目クリックの後、十字の横にでてくるピンクがバックの数値は横の距離、縦の距離です。

RC(マンション)の柱(梁)などは、この四角形ツールで中を黒く塗り、作成すると便利です(参基本操作編2))。



「有効」で全体がグラデーション表示の時にグラデーション表示します。有効をはずすとグラデーション なしです。

「中を塗る」で、「中の色選択」でグラデーションの第一色、「第二色選択」の色が第二色となります。下 のリストで方向を設定します。「左から右へ」で左の第一色から右の第二色へグラデーションします。 第二色のデフォルト色は白色です。

作図した図形を「選択」で選択し、右クリックの「選択物のプロパティ」で内容を変更できます。



(「四角形」で第一色を赤、第二を青、上から下へのグラデーション(方向))

練習:

画面右下上から3番目方向グラデーション しして、下記の設定にし、第1色をピンク、第2色を 青にして、上から下へピンクから青に変わる四角形を作図してください。



不透明度を変えると、透過率を変えることができます。不透明度 100%が透明度無、0%で完全に透過 します。50%で半分の透過です。



半透過した図形を上に置くと、下の図形が透けて見えます。

他の図形の作図方法は(参いろいろな図形 基本操作編2)をご覧下さい。

▼ 模様をつける にチェックを入れると図形に斜線などの模様をつける 模様を付ける

ことができます。



模様をつけると、四角形と直線で構成されるグループ(部品)になります。



さて次は文字です。

文字作成時は、グリッド吸着や線吸着がONになっていても吸着しないようになっています。

ツールから「文字」アイコン
文字
をクリックします。

1. 画面右側にプロパティが現れます。フォント種や色などを設定します。

文字設定		
MSゴシック フォントの設定 B / リ	~ ab	
文字高さ <mark>(印刷mm)</mark>	4.0 mm	
文字間隔(印刷mm)	0.0 mm	
行間隔(ED刷mm)	0.0 mm	
□縦書き 角度	0度	
文字の色	'	
文字バックの色 ◉無 ○有 ▼		
水平 位置 左 ~ 極通		

2. 図面上の文字を書く位置で左クリックすると、文字入力欄が出ます。

Owner the state of the	×
平面図	A
4	
	<u>OK</u> キャンセル

キーボードから空欄に記入したい文字を入力します。改行もできます。「平面図」と打ってみましょう。(引用文のタブでよく使う文字を選ぶこともできます。引用文は設定の「引用文の編集」のタブ でご自由に編集できます(参 基本操作編2))。入力した文字に下線があれば、日本語変換が確 定していませんので、「Enter」キーで確定してください。(文字を打ち込むと文字入力の画面の外 に文字のウィンドウが出る場合は、一旦文字入力画面の枠の中をクリックするとカーソルが点滅 し文字が書けるようになります。)

 入力した文字は図面上に現れます。OKを押すまでは、画面右の「文字設定」で文字の大きさ や色などを設定すると、画面上の文字も変わります。OKで確定します。

フォント種類を選びます。パソコンに登録されているフォントが使用できます。

MS明朝

「フォントの設定」では Windows 標準フォントダイアログが出ますが、フォント種はリストから、高 さや色も設定できるので、「文字設定」画面内で全て設定できます。

「文字高さ(印刷mm)」は実際に印刷される文字の高さです。 「文字間隔(印刷mm)」で文字間の間隔を設定できます。 「行間隔(印刷mm)」で、複数行の文字間の間隔を設定します。 文字高さ5mm、間隔3mm、行間隔2mmだと、次のような文字の大きさになります。



- 4. 縦書き文字にする時は、文字入力ダイアログ画面で、縦書きのチェックをつけます。
- 5. 「文字の色」は文字自体の色を選びます。
- 6. 「角度」で文字の角度を決めます。普通の横(縦)書きは0のままです。
- 7. 「文字バックの色」で、有り無しと色を選びます。
- 8. 水平位置、垂直位置は文字の基点を決めます。基点とは基準となる位置で、この場合も文字作成の時にクリックしたところを基点とします。例えば水平位置を左、垂直位置を上付きにすると、クリックしたところが文字の左上の基点となるように作成されます。水平位置を中、垂直位置を中付にするとクリックしたところを真ん中となるように文字が作成されます。 ここではデフォルトの水平位置を左、垂直位置を上付きにします。



ハンドルの青は文字の基点、黒は引き伸ばし、緑は回転です。

入力した文字は、「選択」ボタン で文字を選択状態にした後、訂正ができます。

 「選択」 で文字を選択し、右クリックメニューの「選択文字の修正」を選ぶと、書かれている 文字の訂正や、フォントの変更、文字高さ、文字間隔、横書きから縦書き(もしくは縦書きから横 書き)、バックの色の変更、角度の変更、基点の変更ができます。(複数文字を選択していてもー 括でフォントサイズや色、文字高さ、文字間隔、行間隔、バックの色、角度を変更できます。)

選択文字の修正	x
1931 	*
4	Ψ
MS 明朝 フォントの変更_	
B / U ab 文字高过(印刷mm) 80 mm 文字間調瓜(印刷mm) 0.0 mm 行間調瓜(印刷mm) 0.0 mm	
□ 縦書き 角度 □ 度	
文字の色 ■ ▼ ○ 無 ○ 有 ▼	
☆半 左	
OK ++>セ	,

2. 「選択」で文字を選択し、「伸縮・回転」ON (中縮・回転ON) で文字の黒いハンドルをドラッグ すると、文字の大きさを変更することができます。(吸着は全てOFFにしておいてください)



3. 「選択」で文字を選択し、「伸縮・回転」ON でに文字の緑のハンドルをドラ ッグすると、文字が回転します。(吸着は全てOFFにしておいてください)



文字の基点は線吸着で吸着します。グリッド吸着を使った位置合わせや、引き出し線に文字をあわせ る場合などに利用します。



(基点を水平垂直位置中にして、グリッド吸着と線吸着をONにするとグリッドに文字列の中間でピッタ リ位置あわせできます)

注:「選択」 で文字を選択しにくい場合があるのは、グリッド吸着がON で、グリッドにマ ウスが吸着して選択しにくいということが多いです。文字を選択する時は線吸着をONにすると基点で 選択できます。または、全ての吸着をOFFにして選択してください。

修飾文字ツール

修飾文字は、縁付の文字を作成します。

基本ボタンのを押してください。画面右側に設定画面が現れます。

一番上がプレビューになります。

次の空欄が「文字入力欄」です。

・「引用文」・・「文字」と同じ、よく使う分を選びます。

・「フォントの設定」・・フォント種や太字などはここの画面で設定します。

「文字高さ」・・文字の大きさを設定します。
ライラック
ライラック不動産
< >
<引用文> ~
フォントの設定
文字高さ(印刷mm) 5.0 mm
□縦書き
文字の色
文字枠の色
不透明度 100
枠の太さ 1.0 mm
□文字枠のみ描画
傾き 5 v (1~9)

「縦書き」・・縦書き文字にします。

・「文字の色」・・内側の文字色を設定します。

・「文字枠の色」・・枠の色を設定します。

・「不透明度」・・0に近づけると透明になります。

・「縁の太さ」・・枠の太さを設定します。

・「文字枠のみ描画」・・中の色を抜きます。

•7 つの中から、縁付文字の形状を選びます。「傾き」で形状の傾きを9段階で調整します。

通常の文字ツールと同じように、画面にマウスを持っていっ てクリックして配置します。

ライラック不動産

形状を変えると、よりインパクトのある文字が作成できます。

*94999*7



不透明度を調整して、透かしを入れることができます。



次に壁の書き方を説明します。壁は部屋作成した時の周りにある太い線分です。基本ボタンから「壁」





グリッド吸着をON、線吸着をOFF、壁芯吸着をONになります。

線を書くように一点目をクリックし、ドラッグせずにマウスを動かして、続いて二点目をクリックします。



(作成直後、端の四角は選択状態を意味するハンドルです)

部屋作成を使用せずとも、壁ツールを使って部屋を区切ることもできます。

デフォルトでは壁は黒くぬりつぶされていますが、「ツール」の「設定」の「壁・柱の色」で



- ・ 壁黒く
- · 壁白く
- ・ 壁詳細
- 壁に色
- ・ 壁色縁黒

とあり、「壁白く」は壁の中を白くします。



壁詳細は壁の端に柱を自動的に書くようになります。

画面右上の「壁の厚さ」で大壁、真壁を設定します。真壁の場合、中央に線が引かれます。

壁の厚さ(壁芯片側)	x
壁厚(壁芯片側) 50.0 mm	
壁タイブ	
● 大壁 ○ 真壁	

※入力値は壁心から片側の値です。100mmと入力すると、壁厚は200mmになります。

壁詳細以外は、壁タイプは常に大壁にしておいてください。

壁厚は片側 50mm が基準です。「部品配置」にある建具や階段などは壁厚が 50mm を標準とした部品 ですので、特に全体の壁厚を太くしたい(細くしたい)場合でなければ、50mm のままでご使用ください。

壁の色を壁詳細、壁タイプを真壁にして壁をひいてみてください。



壁厚やタイプを変更することもできます。

曲線壁の作成は(参 基本操作編2)をご覧ください。

「壁に色」を選ぶと壁に好きな色がつきます。部屋作成や壁ツールで配置した全ての壁の色が変わり

ます。右端の「で色を設定します。

「壁色縁黒」は、壁に色をつけますが、壁の端を黒い線で枠取りします。"「壁を白く」の中の色を任意に

設定したもの"になります。右端の で色を設定します。

壁の色の変更は、配置されている全ての壁の色が変わります。一部分だけ色を変えることは出来ま せん。その場合は部分的に二重線多角形(参 基本操作編2)を壁の代わりにご使用ください。

注意:

「建具配置」 (参)の建具の厚みはここで設定した壁厚にしたがって決まります。ここで設定した 壁厚の壁の上に建具を配置すると厚みがピッタリになります。

もし「建具配置」で配置した建具の厚みが、配置しようとする壁と合わない場合は、配置している壁の 厚みとここの壁厚の数値を確認してください。配置済みの建具の厚みを壁に合わせるには、選択して 右クリックメニューから「幅、厚み、高さ変更」で厚みを壁の片側厚みの2倍にして合わせてください。

壁の部分削除

部屋作成や、壁作成で書いた壁の一部分を消したいときに使います。「ツール」の「壁部分削除」 を選びます。

グリッド吸着をON、線吸着をOFF、壁芯吸着をONにします。

1点目から2点目の間の壁を削除します。





斜めの壁も削除できます。

柱の描き方

ロ柱 「柱」
をクリックすると、柱配置のモードになります。木造の図面作成時に使用します。

壁の設定で「壁詳細」の時に自動で表示されていない部分の不足した箇所に継ぎ足したり、「ツール」 の「設定」で「壁を白く」して、柱を自分で配置したり、柱種類を変えたりするときに使用します。 画面右上「柱の厚さ」で厚さと柱種類の変更が出来ます。



柱はクリックした点が柱の中心になるように配置されます。グリッド吸着や壁芯吸着を利用して配置してください。

では実際に書いてみましょう。1/100 図面で充分にズームアップし、グリッド吸着、壁芯吸着をONにして、上の図のような十字の壁を引いてみて、「ツール」「設定」の「壁の色」を「壁詳細」に変えてください。

そして「柱」で「プロパティ」を「通し柱」にして壁の交差部分をクリックしてみてください。



Ť

間柱の時は、クリックしながらドラッグすると、ドラッグした方向に長くなるように配置されます。



「設定」(参基本操作編2))で柱の中を白くする、黒くする、×印にするが切り替えられます。 「壁を黒く」にし、柱も黒くし、柱の厚みを壁より厚くするとマンションの柱(梁)の表現に使えます。



(マンションの柱(梁)については四角形で中を黒で塗りつぶして作図する方法もあります(参基本操作編2))



ブロバティ 編集

これまで線や四角形の図形や文字、壁を配置してきましたが、後から色や種類を変えたい時は選択

で選択状態(四隅にハンドルがついている状態)にして「プロパティ」の編集ボタンを押して、 プロパティを変更することにより、変えることができます。 編集ボタンが消えてる場合は、選択されているのものがない、あるは複数のオブジェクトが選択され

ている、部品などの編集できないものが選択されているなどです。

線は色や線種太さ、図形はさらにグラデーション、不透明度を変更することが出来ます。

■ 選択図形の	プロパティ 💌
-	
線の種類	€線 _
線幅タイプ 2	•
線の端点	告点← ▼
端点の大 きさ	通 ▼
 線の色選 	R
▲ 市内毎週	

文字は文面や角度、バックの色、基点位置を変更します。

選択文字の修正
*
MS明朝 <u> - フォントの変更</u>
<u>B / U eb</u>
文字高さ(ED最)mm) 8.0 mm
文字間碼(印刷mm) 0.0 mm
行指計贏(EOD)mm) 0.0 mm
縦書き 角度 0 度
文字の色 ■ ▼
OK 44720

部屋を選択してプロパティの編集を押すと選択画面がでてきます。部屋の中の色や模様を変えることができます。ただし部屋名は変更されません(部屋の中に色のないものは部屋の内容を変えることは

できません)。

部屋内容の変更	×
	 ○中を塗る 他の色を選択… (機構をつける(和室は畳の縁の色読定) 右斜め上編 (他の色を選択… (他の色を選択… (根線摺隔 4.550 mm(印刷上のmm) ○K キャンセル

部品、建具はプロパティとは関係ありません。部品の色を変えたい場合、もしくは選択したオブジェクトの色を一括で変更する場合は選択物の色変更(参 色変更基本操作編2))を参照してください。線など 図形の一括変換は下記「右クリックメニュー」の「線の一括変換」をごらんください。

では練習してみましょう。直線ソール	 → を選んで画面左の線の種類を点線こしてみましょう。
■ 作図図形の設定	
線の種類	
線幅タイブ 1 💌	
線の端点 なし 💌	
端点の大 普通 ▼ きさ	

これで次から書かれる線は全て点線の線になります。ためしに2本、線をひいてみてください。 次に「選択」で、2本の線の内1本だけ選択してみましょう。



ここでプロパティの編集ボタンを押します(または右クリックメニュー「選択物のプロパティ」)。この画面 で線の種類を直線に変えてOKを押すと選択した線の種類が変わります。

■ 選択図形	のプロパティ	×
		_
線の種類	実線	•
線幅タイプ	1 -	
線の端点	なし	•
端点の大 きさ	普通	•
_		

右クリックメニュー

選択後に右クリックメニューにてプロパティを一括に変えることもできます。

複数の文字のサイズや線の種類を一度に変えたいときなど、右クリックメニューを使うと便利です。 右クリックメニューでしかできない編集項目も多くあります。

また、右クリックの「選択物のプロパティ」は選択物が単体の場合プロパティ編集ボタンを押したことになります。

選択文字修正・・・複数の文字のフォント種、文字高さ、文字間隔、行間隔、バックの色を一括で変換で きます。複数の文字を選択し、右クリックメニューから「選択文字修正」を選ぶと文字の修正画面がでま す。単体の場合、文字内容が変えられますが、複数の場合は変えられません。

線の一括変換…複数の図形(直線や四角形など)の線種や色を一括で変換できます(塗りつぶし色以 外)。複数の線を選択し、右クリックメニューから「選択線種変更」を選ぶとプロパティ画面が出ます。塗 りつぶし色を変える時は「色変更」(参 基本操作編2)をご覧ください。

壁厚一括変更・・・部屋や壁の厚さを複数一括で変更できます。複数の部屋や壁を選択し、右クリックメ ニューから「選択壁厚変更」を選ぶと壁厚と壁タイプの変更画面が出ます。壁厚を変更した壁の上の建 具の幅は変わりませんので、建具を選択し、右クリックメニューからの厚みを変更してください。 **柱厚ー括変更・・・**柱ツールで配置した柱の厚さを複数一括で変更できます。複数の柱を選択し、右クリ ックメニューから「選択柱厚変更」を選ぶと柱厚の変更画面が出ます。柱のタイプは違っていても厚さ のみ一括で変更します。間柱は変更した厚さに応じて短いほうを半分の厚さで変更されます。単体の 柱の選択だと、柱タイプも変更できます。「壁詳細」で自動的に表示されている柱の厚みは変更されま せん。

建具は右クリックメニューで幅や向きを変えられます(参建具配置)。

右クリックメニューはこのほかにも「移動」、「コピー」、「削除」など、選択物の特性を変えたり削除した りする便利な機能がでてきますので、**選択したものを何か変更したいと思った時は右クリックしてみま** しょう。

タテヨコ移動(描画)の固定

線、壁を作成するとき、選択で何かを移動するとき、一点目を押してから基本ボタンの

キーボードの「Ctrl」キーを押しながらでもこのタテヨコ固定と同じように垂直、水平で固定します。 試しにグリッド吸着をOFFにし、「縦横固定」を押し、「選択」で文字などを移動してみてください。

階段作成

「階段」ツールボタン「「電路」ツールボタン」を押します。すると以下のダイアログが画面を記現れます。

階段作成
直進 曲がり角 終点 進行方向
直進段数 5 ▼
□ 段幅指定 150.0 mm
曲がり角数 2 💌
□ 曲がり角を四角形にする
▶ 階段に色をつける ▶
設置 「壁芯角

- 直進・・直進の階段を作成します。
 曲がり角・・曲がり角や踊り場を作成します。
 終点・・斜めのジグザグ線で階段の省略を書きます。
 進行方向・・矢印の連続線で進行方向を書きます。
- 直進段数・・直進作成時の段数を設定します。
 段幅指定・・一段ごとのサイズをmmで指定します。
- 曲がり角数・・曲がり角作成時の段数を設定します。1なら踊り場になります。
- ・ 曲がり角を四角形にする・・曲がり角の時に四角形の曲がり角を作成します。(U字やL字階段は チェックなしの方が壁に沿った階段ができるので、きれいになります)
- ・ 階段に色をつける・・階段の色を設定できます。設定した色で階段が塗りつぶされます。チェック をはずすと段の線だけが作成されます。
- 設置・・建具の設置と同じく、壁芯だとクリックしたところより片壁厚分引いた幅で作成されるので
 ピッタリと壁に収まるようになります。角はクリックした位置に階段が作成されます。

この階段作成ですが、グリッド吸着 を利用した部屋(壁)にピッタリ合うように作図できます。「設 置」を「壁芯」にしておくと、幅を決める2点間の壁の厚みの片側分だけ少なく階段が作成できます。 では、「直進階段」の作成手順を説明します。



グリッド吸着しているので、グリッド上にマウスが吸着します。①をクリックし、ドラッグせず②をクリックしたら壁の厚み分内側に階段が作成されます。階段の長さを決めて③でクリックすると直階段ができます。

階段はグループ化されています。

壁があると上記の図は以下のようになります。



次に「曲がり角」の作成です。

これもグリッド吸着を利用して作図すると壁の厚み分少なく作図されます。「曲がり角」をクリックします。



直進と同じように、①をクリックし、ドラッグせず②をクリックします。マウスを動かして、曲がりたい方 向に向きをと高さを決めて③をクリックすると曲がり角ができます。曲がり角だけのグループができま す。

壁があると以下のように、うまく壁の中にはまります。



階段作図中、間違えたら右クリックで1つ前の状態に戻ります。あるいはもう一度「階段作成」を押すと 初めからやり直せます。

では、U字階段を例に作成をしてみます。



ţ



「階段」 リールを押して、直進、直進段数を5にして左記のよう に3点クリックします。1点目と2点目で幅を決めて、3点目で長さを決 めます。直階段ができます。直階段だけならこれで完成ですので「選 択」等他のツールを選べば階段作成は終了します。

ţ



続けて左側の曲がり角を作成してみます。「曲がり角」を押 して、曲がり角段数を 2 にして左記のようにクリックしてく ださい。1点目と2点目で幅、3点目で長さと向きが決まり ます(曲がり角を四角形にするはチェックをはずしておくと 壁に沿って曲がり階段が作成されるので、左右の曲がり 角がきれいにつながります)。



続けて左のように、1、2、3点をクリックして曲がり角 を作図します。



最後に方向を示す矢印を「進行方向」で作図します。グリッドの吸着感覚を「2分割」にします。



以下のような直進階段の曲がり角は「曲がり角を四角形にする」にチェックをいれて作成します。壁に ピッタリとおさまります。



終点の書き方

階段作成で「終点」を選んで、左クリック1,2点で幅を決めて、3点目に高さを決めます。通常の直進の階段と同じように作成します。下の例で、まず「直進」で作図します。





部品を使用した階段作成・・・

部品配置 の「階段」には階段の部品が数点あります。茶色の階段は壁がついているもので、 グリッド吸着を使用して配置します。白い階段は線吸着を利用して壁の内側に配置するようにします。



部品の階段は尺モジュール(グリッドの間隔が 455mm,910mm)基準で作成されています。尺モジュー ルでの間取りですと階段作成 を使わずとも部品を配置することによって階段の作成はできます。 モジュールの違う図面には伸縮・回転を使用したりして大きさを変えますが、L字型階段などは大きさ をあわせにくい(あわせられない)場合もありますので、その場合は階段作成で作成してください。

直線を使用した階段作成・・・

階段の線だけ作成する場合、「作図」「直線」で作図するという方法もあります。壁が黒い場合はグリッド吸着を使用して壁の上から線をひいてもよいです。



(グリッドの吸着間隔は2~4分割などにすると、段の間が細かくできます)

ファイルを開く

いよいよ基本操作1も大詰めです。では線や文字の練習もしましたので、ここで間取り作成練習(参) で作成した「練習1」のファイルを開いてみましょう。メニューの「ファイル」「開く」を押してください。



するとファイル選択の画面がでてきます。この画面は Windows 共通の画面です、ここに先ほど保存した「練習1」があると思いますので、それを選んで「開く」ボタンを押してください(「ファイルの場所」がドキュメントになっているか確認してください)。

ここで「無題への変更を保存しますか?」というメッセージが出ます。作成中の図面が必要な場合は 「はい」、必要でなければ「いいえ」を選びます。

ここで「練習1」が開きます。



図面を保存した履歴をリストに表示できますので、最近作成した図面であれば簡単に開きます。 「ファイル」「最近使用したファイルー覧」を選びます。



一覧から選んで「開く」で開きます。

ドキュメントなどにファイルを保存してあれば、そこから直接ファイルをクリックして開くこともできます (ファイルを直接クリックしても開かない場合は、パソコンの拡張子 lac に対する設定が違っています。 トラブルシューティング(参 基本操作編2) をご覧ください)。



さて、作成した図面が紙のイメージ(画面上の白い部分)の真ん中より、ずれてませんか? 全てのオブジェクトを範囲選択して、移動させてもいいのですが、もっと簡単にできる方法があります。 「ツール」の「図面中心位置変更」を選んで図面の中心にしたい点をクリックします。クリックした点が図 面の中心(座標軸の真中)になるように図面が動きます。

間取りの位置を修正したい時に使用します。



(「ツール」「図面中心点変更」で「廊下」の文字の左横くらいをクリックします。赤い枠が中心点変更後の用紙のイメージになります)



(メッセージがでます)



注意:

グリッドを使用して書いた図面は必ず新しい中心点はグリッド吸着でグリッド上の点をとってください。 そうしなければ後で壁や部屋を移動したり書き足したりするのにグリッドを利用できなくなります。 図面位置変更は同レイヤーグループ内で行なわれます。レイヤーの説明は(参 基本操作編2))



縮尺は印刷した時の紙に対する実寸の縮尺です。例えば 910mmの長さは印刷紙に 9.1mmの長さと して描かれます。しかし不動産物件案内などのキッチリ縮尺を合わせる必要でない図面の場合、図の 大きさをただ大きくしたい、または小さくしたいという場合にも使います。 図面を全体的に小さくするには縮尺を大きく、逆に図面を大きくしたい場合は縮尺を小さくします。



縮尺の変更	×
編集中のレイヤーグループ 0	レイヤー 0 1/100.00 レイヤー 8 1/100.00
現大の依日 100	レイヤー 1 1/100.00 レイヤー 9 1/100.00
現在の循尺 100	レイヤー 2 1/100.00 レイヤー10 1/100.00
↓ 	レイヤー 3 1/100.00 レイヤー11 1/100.00
変更後の縮尺 100	レイヤー 4 1/100.00 レイヤー12 1/100.00
□ 全てのレイヤーの縮尺を変える	レイヤー 5 1/100.00 レイヤー13 1/100.00
	レイヤー 6 1/100.00 レイヤー14 1/100.00
▼ 大士も均等に加入を変んる	レイヤー 7 1/100.00 レイヤー15 1/100.00
	OK キャンセル

「間取りっどPRO3」では16種の縮尺を設定することができます。詳しくは異縮尺図面(参 基本操作 編2))で説明しております。ただしこれはレイヤーを学習してからでないと説明できませんのでレイヤ ー(参 基本操作編2)の後に説明いたします。

ここでは「変更後の縮尺」の数値を変更すれば縮尺が変わるということだけ確認してください。ためし に1/50にしたり1/200にしたりして図面の大きさがかわることを確かめてください。

「全てのレイヤーの縮尺を変える」のチェックをするとすべてのレイヤーの縮尺が変わります。

「文字も均等に縮尺を変える」にチェックをしておけば、配置されている文字も均等に大きさが変わります。(ただし寸法線の文字は「設定」で決められた高さです)

縮尺は 1/1 以下(1/0.5 つまり2/1)も可能です。

「間取りっどPRO3」は 1/001 から約 1/2000 まで可能です。 1/2000 以上の縮尺にすると速度が遅くなったりすることがあります。

通常は 1/100 か、1/50 で作図します。

ズーム との違いは、ズームは見やすくするためだけのものに対し、縮尺は図面そのものの大き さを変えます。作成した間取り図が小さすぎて(大きすぎ)用紙に納まらない等の場合に、縮尺を変更 します。



ではこの練習1を印刷してみましょう。

デフォルトではA4横になっています。本来は図面作成の前に用紙サイズと向きを合わせるのですが、後からでもできます。

「ファイル」の「用紙設定」より図面のサイズをお客様の希望されるサイズ、向きにあわせてください

印刷用紙のサイス	(と向きの設定		×
用紙サイズ	A4	•	
	○縦	●横	
		OK	キャンセル

- ② 次に「ファイル」の「印刷プレビュー」を見てみましょう。画面自体もプレビューの形式になっていますが、プリンタドライバの情報を取ってきているので、実際に印刷する結果のイメ ージがでてきます。これでOKであれば、「印刷」を押すか、次の③にいきます。
- ③ 「ファイル」「印刷」またはツールバーから ●を押すと印刷ダイアログ画面がでてきます。枚

ED用J	×
ブリンター	
ブリンター名(N): Canon LBP3000	▼ プロパティ(P)
状態. 準備完了 種類. Canon LBP3000 場所: USB001	
אלאב	□ ファイルへ出力(L)
ED刷範囲 (で すべて(<u>A</u>)	印刷語序数 音序数(C): 1
C ページ指定(G) 1 ページから(E)	
1 ページまで(D) C 選択した部分(S)	123 123
	OK キャンセル

数を設定してOKボタンで印刷開始です。

印刷してみたが線が細い(太い)時は…

プリンタでの印刷は非常に線がシャープに印刷されます。しっかりした太い線にするには、「ツール」

「設定」 して全般」の「線幅タイプのピッチ」	線幅タイプ(印刷時の線の太さ)のピッチ	の線
幅タイプ1の「プリンタ出力時の太さ」を5~7	にしてみてください。	



1	1 🔻	3 💌
2	2 🔻	6 💌

部品や部屋の模様線は全て線幅タイプ1で作成されているので、線幅タイプ1の「プリンタ出力時の太 さ」を太くすると、しっかりした線で印刷されます。逆に細くしたい場合は1~3にしてください。 「線幅タイプのピッチ」については(参)を参照してください。

印刷位置が微妙にずれている・・

全体表示の用紙イメージと実際に印刷したものの位置がずれている場合、「ファイル」「印刷位置調整」 にて、mm単位で上下左右にずらせます。

印刷位置調	整		×
$\leftarrow \rightarrow$	の方向へ	0	mm(整数)
↑↓	の方向へ	0	mm(整数)
		OK	キャンセル

用紙に印刷してずれている場合は、先に用紙の向きとサイズを確かめてください。さらにプリンタのプロパティで位置がずれる設定になっていないか調べてから、「印刷位置調整」を行ってください。 あくまでも印刷位置の微調整の最終方法です。

図面が用紙の中心点からずれている場合は、「ツール」「図面中心点変更」(参)でずらしてください。

間取り作成のコツ

要点その1「ズーム」の使用

「間取りっどPRO3」での間取り作成のコツとして、まず「ズーム」 C でよく図面を拡大して作業する

ことです。拡大して作図し、「手のひらツール」で作業場所移動、ズーム率を変える時に「全体表

示」をしてまた拡大して作業するという繰り返しです。

この「拡大」は、アイコンのとおり虫メガネで紙をみているのと同様、実際の図面を大きく引き伸ばしたわけではありません。作業中の図面を見易くするために拡大して作業を行います。

ズームを戻したいときは、全体表示ボタン (空) を押して全体を見ます。そしてまた別の作業箇所を拡 大して作業を行います。

縮小ボタン・で拡大した図面を少しずつ小さくしてもよいのですが、手ごろな大きさに調整しにくい ので、拡大ボタンドラッグ→作業→全体表示→拡大ボタンドラッグ→作業・・という流れで作業を行うと スムーズに作業できます。縮小ボタンは拡大しすぎた時の微調整くらいに使用します。



(全体表示のまま作業すると、細かい部分の「選択」などがうまくいかなくなり、作図しづらいです。)



(「ズーム」で拡大して作業すると、位置調整などがしやすくなります。)

慣れてきたら・・・

「選択」 モードで、ズーム拡大ボタン を押す代わりに、マウスのボタンを両方同時に押す ことによってズーム拡大ボタン を押したのとと同じ効果があります。 慣れてくるとズーム拡大ボタンをいちいち押すのがわずらわしくなります。「選択」で拡大したい部分を マウスのボタンを両方押しながらドラッグしてください。 全体表示にするときは を押します。

手のひらツールで作業場所をかえる。

ズームをして別の場所に見るときに、「手のひらツール」 を押して画面をドラッグするとズームした まま作業場所を変えられます。スクロールバーをドラッグしたり、一度全体表示にしたりするよりラクに 作業場所を変えられます。

要点その2「グリット吸着」で部屋を作成

次に重要なコツとして、部屋の作成はグリッド吸着のみで作成するということです。

部屋の作成と移動、建具の配置と移動、壁、柱の配置と移動、階段作成の時は必ず「グリッド吸着」をO

N (赤い矢印)にし、グリッドの間隔にあてはまらない間取りは、吸着間隔 1分割 を2分割や4分割などにして作図します。

グリッドにあてはまらない数値、たとえばグリッド間隔(1マスの間隔)を 455mmにしていて、600mm の幅を取りたいとき、方法としては次の章の「相対位置」(参基本操作編2))を使用すればできますが、 作図が非常に難しくなります。

図面の精度がある程度アバウトでいい場合、たとえば不動産の間取りなどは厳密に正確な図面を作 成する必要がない場合の方が多いと思われます。

ですので、600mmの場合、吸着間隔を3分割にして作図すると1マスと 1/3 で 606.6mmになるので、 実際に近い図面ができます。



(左がグリッド吸着を利用して書いた 606.6mmの間隔、右が相対位置(ある点からある点までの距離 を入力して作図する方法)を利用した 600mm間隔、見た目ではほとんどわかりません)

部屋や建具の配置では、グリッド吸着は常にON にして、あてはまらない場合は吸着間隔を変えて作図するとしておけば、くずれずにきれいな間取りを作成することができます。

どうしても変則的な数値が多い、店舗などの作図などで、グリッド間隔を 100mmにされている場合も あります。その場合でも 100mmにすると画面がグリッドで非常に細かくなり見難くます。 その場合も、グリッドの間隔は 200mmにして吸着間隔を2分割あるいは 500mmで5分割など)にす

れば大分スッキリした画面になり作図しやすくなります。



(左が100mm間隔、右が500mm間隔)

図面の精度によりますが、作図はグリッド吸着を使用して近似値で行い、寸法線などの書き込む数値 (文字)をキッチリ合わせておけば、難しい図面もラクに作図できます。寸法線の手動入力方法は寸法 線 (参 基本操作編2)をご覧ください。

最初は、グリッド間隔が基本操作1で作成したように 910mm間隔で、吸着間隔を1分割から4分割、最 大でも6分割くらいまで使用して作図するようにしてみてください。

要点その3 常に「選択」モードにする

次に、作業中、部屋や図形を作図している時以外は「選択」 の状態にしておくことです。「選択」 はあらゆる作業の基本で、選択したものを移動、伸縮・回転、削除、プロパティの変更をします。作図し ていて、次に何をしようかと考えるときに、「選択」にして考えるクセをつけると、作業がスムーズにな ります。

なぜ常に「選択」モードにしておくかですが、今作業している状態が何の状態かわからなくなるときな どがあります。例えば部屋を作図したとき、位置や大きさを間違えて作図したとき、そのまま画面をク リックするとまた別の部屋を作図してしまって図面がおかしくなってしまいます。

慣れないうちは1つの作業が終わったら「選択」 を押す。そして次に何をしたいか考えて作業 に入ります。

要点その4 間違えたら「元に戻す」

作図していると、間違えた位置に配置したり、移動しようと思うものと違うものを移動してしまったりする ことがあります。そんなとき、間違えて移動や伸縮したものを再度移動しようとしても、元の位置に戻し にくかったり、かえって図面がくずれてしまい時間のロスになります。

描き間違えたと思ったら、「元に戻す」ボタン クを押します。

元に戻してから「やっぱり元に戻さない」と思ったら、「やり直し」ボタン を押して元に戻す前の状態に戻します。

要点その5 部屋移動のロック

部屋や壁、建具は上記のようにグリッド吸着を使用すると、グリッドに沿ってきれいに配置されますが、

「部品配置」時にグリッド吸着がOFF になります。この状態で配置した部品や文字などを移動しようとする際に、間違って部屋を移動してしまうこともあります。



その際に「元に戻す」で事なきを得ますが、移動で戻すのは、ずれてしまっているので難しいです。 このようなトラブルを未然に防ぐために、画面左の部屋移動ロック(参)を「グリッド吸着OFF時ロック」

にしておきます。 ケリット吸Off時 〜 これはグリッド吸着がOFFの時とグリッド吸着がONでも線吸 着がONだと、部屋や建具の移動伸縮にロックがかかります。 間取りの失敗はグリッドからずれることが原因のことが大半ですので、このロックをしておくと、作成ト ラブはかなり軽減されます。

要点その6 まめに保存

最後にこまめに上書き保存 🔜 するということです。「編集」「元に戻す」 🄊 で間違った作業は元に戻 りますが、ある程度できたらまめに上書き保存しましょう。 大きなやり直しをする必要がなくなります。

ここで大切なのは、「どの場所(のフォルダ)に保存するか決めておくこと」です。

「保存する場所」をドキュメントと決めておけば、保存したファイルがどこにいったかわからなくなること はありません。ファイルやフォルダの操作は Windows 共通ですので、よくわからない場合は書店テキ ストなどでフォルダやファイルについて学習しておくことをお勧めいたします。

保存すれば、作業中にこまめに上書き保存します。部屋が完成したら保存、建具配置したら保存・・な ど、そうすれば致命的な間違いを起こして「編集」「元に戻す」でも戻らなくなったときや、万一のパソコ ンフリーズでも安心です。

保存したファイルはHDDの別の場所でもUSBメモリでもバックアップとして別の場所にコピーしておけば、なお安全です。

保存せずに終了した。またはフリーズして保存しそこねたら・・

「間取りっどPRO3」を再起動し、すぐに「ファイル」「バックアップファイルを開く」(参)を行います。 バックアップファイルは作業中にマウスの動きを止めた時など定期的に行いますので、直前の作業ま で復旧できる場合があります。復旧したらすぐに「ファイル」「名前を付けて保存」を行ってください。

保存ファイルがどこにいったかわからなくなってしまった・・

「保存する場所」をしっかり把握しておけばいいのですが、保存する場所を意識せずに保存した場合、 どこにいったかわからなくなる場合があります。その場合は Windows の検索で、「.lac」と入れてハード ディスク内を検索します。 「.lac」とは間取りっどPRO3の保存ファイルを示す拡張子です。ファイルの一覧に間取りっどPRO3の 登録ファイルが出ます。この中で行方不明になっているファイルをドラッグでドキュメントなどにコピー や移動してください(一旦デスクトップにコピーしてからドキュメントに移動してもいいです)。

ここまでで基本操作1は終わりです。これで基本的な間取りは書けるようにはなりましたが、まだ基本 的に必要な操作がありますので、「基本操作編②」をご覧ください。

2-5 基本操作2

バルコニーの作成や、模様のつけ方、ワードやホームページへの出力など、まだ「間取りっどPRO3」 の基本機能はたくさんあります。

基本操作2も基本図面作成の操作に必要な説明になります。

グリッド間隔の設定

グリッドの間隔が任意の位置から自由に設定できます。

グリッドにはグリッドパターンと、補助線グリッド、アイソメグリッドがあります。前章ではグリッドパター ンで吸着間隔を分割するところまで学習しました(参グリッド基本操作編①)。

・ 「ツール」の「グリッド間隔の設定」または 説 ボタンを押すと次の画面が現れます。

グリッド間隔の設定	×				
○ グリッドバターン(グリッドバターンの間割にしたがって吸着)					
○ 補助線グリッド(補助線の交点にグリッド吸着する)					
○ アイソメグリッド(アイソメグリッドパターンで吸着する)					
> グリッドパターン					
© バターン1 横、縦間隔 910, 910 mm	開始位置 0.0 mm				
C バターン2 横、縦間隔 910, 910 mm	開始位置 0.0 mm				
C パターン3 横、縦間隔 910 . 910 mm	開始位置 0.0mm				
C パターン4 横、縦間隔 910, 910 mm	開始位置 0.0 mm				
C パターン5 横、縦間隔 910 . 910 mm	開始位置 0 . 0 mm				
吸着間隔設定値(「設」の部分の値) 1					
「ALL 宇間」 ALL 1/2半間					
モジュール ⓒ 尺モジュール(910mm)					
○ メーターモジュール(1000mm)					
C その他 900 mm					
- アイソメグリッド					
角度 30.0 度(0度以上90度未満)					
幅 G 縦 C 横 1000.0 mm OK キャンセル					



グリッドパターンでは1~5まで5つのパターンが設定できます。

有効のチェックがついているものが表示されます。横間隔、縦間隔はグリッドの幅です。小数点 1 位ま で設定できます。

開始位置はその座標値からのグリッド番号が有効になっていればそのグリッドの間隔で表示されます。 小数点1位まで設定できます。グリッドパターン1はデフォルトで有効になっています。

グリッド吸着がONになっていれば表示されているグリッドの交点で吸着します。

⊢グリッドバターン								
◎ バターン1	横,縦間隔 📗	455 .	455	mm	開始位置	0.	0	mm
○ バターン2	横,縦間隔 📗	910	91Ç	mm	開始位置	1000	0	mm
C バターン3	横,縦間隔 🏾	910 .	2000	mm	開始位置	40000	0	mm
○ バターン4	横,縦間隔 🗌	910	910	mm	開始位置	0.	0	mm
○ バターン5	横,縦間隔 🗌	910 .	910	mm	開始位置	0.	0	mm
吸着間隔設定値(「設」の部分の値) 1								
ALL 半間 ALL 1/2半間								

上記でパターン1だと、0.0を中心とする縦横455のグリッド



パターン2だと、1000,0を中心に縦横910のグリッド

パターン3だと、4000,0を中心として縦910横2000のグリッドになります。

開始位置を全てOにしておき、横間隔と縦間隔だけ違うように設定しておくと、有効のチェックをかえる だけでパターンが変えられます。

例えばパターン1を縦横間隔455で標準の尺モジュールの間取り、パターン2では縦横200で詳細な メーターモジュール図面用、などです(この組み合わせの場合は、パターン1ではモジュールを尺モ ジュール、パターン2ではメーターモジュールで切り替える必要はあります)。

455 横,縦間隔 455 0 0 mm ○ バターン1 mm 開始位置 ○ バターン2 横、縦間隔 200 mm mm 200 0 Π 開始位置

グリッドの色は「設定」の「グリッド」タブで設定します。

「吸着間隔設定値」の値は、作図画面の吸着間隔の分割で「設定分割」にした時の分割数を設定します。

吸着間隔設定値(「設」の部分の値)



「ALL 半間」、「ALL 1/2 半間」にすると全てが、下記で説明のある「モジュール」の値(ALL 半間)、その半分(ALL 1/2 半間)になります。デフォルトでは尺モジュール(910 が半間)ですので、「ALL 半間」にすると全て 910 になります。

ALL 半間 ALL 1/2半間

グリッドのモジュール・・間取りっどPRO3では半間 910mm の尺モジュールを基本としています。グリ ッド間隔の設定でいくつでも設定できますが、メーターモジュールに切り替えると半間 1000mm になり ます。モジュールに従った帖の表示(四角形部屋作成時)がされます。尺モジュールですと、半間 910mm、2730×2730 で4.5 帖、メーターモジュールの場合は 3000×3000 で 4.5 帖です。その他のモジ ュールにすると任意の値が設定できます。半間 900mm等にすることもできます。

モジュール	● 尺モジュール(910mm)
	○ メーターモジュール(1000mm)
	C その他 900 mm

モジュールをどれにしても「グリッド間隔の設定」でグリッド間隔はいくつにでも設定できます。間取りっ どPRO3の部品(住宅設備やサッシ、階段など)は尺モジュールに合わせて作成されていますので、 特にこだわらない場合はデフォルトの尺モジュールのままにしておいてください。

間取りっどPRO3ではグリッドを多用することにより作図をラクにします。図面作成は出来るだけこの グリッドパターンで作図するほうがラクにできます。もし図面作図がある程度アバウトでいい場合(完 全に正確な縮尺図を作る必要がない場合など)は、グリッドパターンで作図し、グリッドにない値は吸 着間隔の分割数を変更して作図することをお勧めします(参 間取り作成のコツ 基本操作編①)。



グリッドパターンではなかなか正確な値がとりにくい場合、補助線を通り芯がわりに利用し、一般的な 2次元CADのように作図していきたい場合は、この補助線グリッドを利用すると便利です。これは図形 の線を補助線にして、その交点をグリッド吸着で吸着するものです。

「ツール」「グリッド間隔の設定」
整
で、補助線グリッドにチェックをいれてOKを押してください。

④ 補助線グリッド(補助線の交点にグリッド吸着する)

まだ補助線がひかれていないのでどこにも吸着しません。数本補助線を書いてテストしてみます。一 旦グリッド吸着をOFFにして、直線

II 作図図形	の設定	×
線の種類	補助線(印刷	-

にします。

 ます。その線が選択状態になっているので、右クリックメニューより「コピー(数値)」を選び、右方向に 1500mmでコピーします。

同じように 3000、4200 とコピーし、今度は横に一本線を引いて縦方向に 2000、3600、3600 とコピー(数値)で線を描きます。 グリッド吸着をONにすると作成した補助線の交点で吸着するのが確かめられます。

補助線グリッドでは吸着間隔の分割は無視されます。全て1分割です。



アイソメグリッドにチェックを入れてください。

アイソメグリッド(アイソメグリッドバターンで吸着する)
ロアイソメク	ブリッド
角度	30.0 度(0度以上90度未満)
幅	●縦 C 横 1000.0 mm

アイソメグリッドが有効になります。普通のグリッドと違い、斜めの格子になります。吸着間隔は1分割 のみです。

「角度」に格子の角度をいれます。幅は角度に従い、縦または横の数値を入れることにより、縦の場合 は横、横の場合は縦の幅が計算されます。

上記の場合の設定で下記グリッドの表示になります。



(格子の交点、もしくは中間点でグリッド吸着します)

広さ指定で部屋を描く

四角形部屋作成 せき で、 帖教、 もしくは幅、 高さの 数値入力で部屋を作成できます。

部屋選択ダイアログの下部をご覧ください。

広さ固定一		
● 固定無		
○帖固定	6	\sim
○ 数値固定	Ξ	
2730 .	273	30

固定無・・・1、2点の左クリックで、部屋の大きさを決めます。

粘固定・・・リストから帖数を選ぶと、1点目から、マウスの位置に合わせて、現在のモジュール(参 グ リッド間隔の設定)での帖数の部屋が作成されます。

数値固定・・・横、縦方向の距離を mm で指定すると、そのサイズの部屋が作成できます。



では、「四角形部屋作成」で、「和室」を選び、帖固定にチェックを入れ、リストは6のまま、

マウスの位置に合わせて6帖の部屋が作成できます。左クリックで確定です。

注意:数値固定をすると、グリッドからずれて、グリッドに吸着しないことがあります。 ずれた場合は、グリッド間隔を変えるか、壁芯吸着(参基本操作編①)か、相対位置(参)で作図しな ければいけなくなりますので、グリッド吸着で作図をしていた場合は、ご注意ください。



9定 全般 グリッド 表示設定 動作設定 引用メ 土場設定	× 2の編集 部屋情報の編集
部屋文字の変更	 ● 私数で表示 ○ 村(望志)で表示 私の文字 ● 約 ○ 豊 ☑ グラデ-ション東化在マイルドにする
新型の体型 第2000年間 第2	 新臣名 洋工 「中王正名」 「中王正名」 「日本王名」 「日本王名」
	OK キャンセル 適用(A)

共通設定・・各部屋共通の設定です。

部屋文字の変更・・部屋名のフォント種と高さ、間隔を設定します。

部屋文字フォント種・色の設定				
部屋文字高さ(印刷mm) 部屋文字間隔(印刷mm)	6.0 mm 0.0 mm			
	OK	キャンセル		

帖教で表示・・・グリッドタブのモジュールに従い、部屋作成時帖数で出力する設定だと、帖教表示しま す。(部屋選択のダイアログ上でも指定できます)

m⁴(壁芯)で表示・・・「ツール」「グリッド間隔の設定」のモジュールに従い、部屋作成時帖数で出力する 設定だと、壁芯での平米数表示します。(部屋選択のダイアログ上でも指定できます)

帖の文字・・帖数表示の時にどちらの漢字で表示するか設定します。

部屋の情報・・各部屋の設定をします。

左側のリストで選択した部屋の情報が右側の部屋名や、中に色をつけるかどうかとその色、模様をつけるかどうかと、模様の種類、色が表示されます。

ここで色や模様を変えて、「部屋内容変更」を押すと変更されます(「部屋内容変更」を押さないと反映しません)。

「部屋追加」を押すとリストの最後に部屋が追加されます。「部屋挿入」でリストの選択している場所の

上に部屋が追加されます。「部屋削除」で部屋が削除されます。削除すると元に戻りませんので注意してください。

練習として「シャワールーム」を作成追加してみます。まずリストから「浴室」をクリックします。「部屋名」 を「シャワールーム」にして、「模様をつける」にチェックを入れ、模様の種類を「斜め格子」にして色を 下の段の左から5番目にします。



ここで「部屋追加」をするとリストの最後に追加されます。「部屋挿入」すると、リストの選択している部 屋の下に追加されます。もし既存の部屋の情報を変えたいということでしたら、「部屋内容変更」で置き 換えられます。最後にOKボタンを押して完了です。

床目地や畳の部屋を作る

デフォルトの部屋情報では、和室が畳の部屋、フローリングや廊下が床目地になっています。 「模様をつける」にチェックを入れ、「床目地」にすると床目地の部屋が作成できます。 「畳」にすると畳の縁がついた部屋になります。「畳」だけ他の部屋の模様と違い、縁は3、4.5、6、8、 10畳の時に自動ででてきます(45畳や8畳は正方形など、縁の出てくる形が決まっています)。 「茶室」や「客室」などの名前で畳の縁の出る部屋を作成できます。



・畳の形状で4.5 帖を真ん中四角形にするには、「ツール」「設定」「表示設定」「和室の畳の縁で、4.5 帖の真ん中を四角形にする」にチェックを入れます。

・「ツール」「設定」「表示設定」「白黒表示時に部屋の模様を消す」にチェックしていると、和室の畳の縁 は残りますが、「和室」以外の部屋名にしていると、縁も表示されません。



マウス移動は基本説明で説明いたしましたが、メニューからの移動を使えば数値入力で正確に移動できます。基本操作1のコピー(数値)の複写をしないで移動するものです。

まず移動したいオブジェクトを選択します。次に「編集」→「移動」を

クリックします。

すると、「移動距離」メニューが現れます。矢印の方向を合わせて「移動する」ボタンを押せばOKです。 (小数以下も入力可能です)

移動距離		\times
$\leftarrow \rightarrow$	の方向へ 🚺 mm	
↑ ↓	の方向へ 0 mm	
0	✓度 0 mm	
コピー数	✓	
	移動する キャンセル	

キーボードのカーソルでも移動できます。1ボタンの移動量は「ツール」の「設定」の中の「キーボード 移動量」で設定できます。

使えば便利、移動メニューの使用例

ある部品を「壁の隅からちょっと離して配置したい。」と言うとき

「練習1」を開いてみましょう。

右下の部屋DKの入り口の「片開き1」を選択してください。

これを右に100mm移動します。「編集」の「移動」より100mm右に移動してみてください。





このように一旦吸着を利用して配置させてから移動させて決まった位置に配置するという方法があり ます(グリッドからずれるのでご注意ください)。 角度指定をして移動させることもできます。

例としまして、まず下記のような三角形があり、選択状態で「編集」「移動」(または右クリック「移動」)を 行います。



移動距離			×	
\leftarrow \rightarrow	の方向へ	0	mm	
↑ ↓	の方向へ	0	mm	
60	~ 度	1000	mm	
			\sim	
コピー数	\sim			
	移動す	3 4	キンセル	

ダイアログの下部に角度と数値が指定できます。角度はリストから選んでも入力してもよいです。マイ ナスの入力もできます。上記設定で「移動する」をクリックします。



60 度に 1000mm移動しました。

「編集」→「コピー(数値)」では、元の図形を残したままコピーして移動します(参 コピー(数値) 基本 操作編①)。

いろいろな図形

基本操作で「直線・矢印」と「四角形」の作成を練習しました。次に、二重線、二重線多角形、連続線、 角丸四角形、多角形、円、円弧、三点円弧、スプライン曲線、ベジェ曲線、フリー曲線、楕円、円弧楕 円、吹き出しと練習していきます。

ー度に全ての描画方法を覚える必要はありませんので、二重線、二重線多角形、連続線、多角形、 円、円弧、楕円、三点円弧あたりまで習得しておき、作図が必要な時に改めて覚えてください。



作図はメニューの「作図」から「二重線」、ツールバーでは を選びます。左クリックで頂点を指 定していき、ダブルクリックで終了します。作成途中に右クリックで一つ前の頂点に戻ります。 「二重線」を押すと画面左下に幅を設定する画面が出ます。(幅は、片側のはできますが、左右両方に0 は指定できません)。





進行方向に対して指定した数値分離れて線が引かれます。

二重線と二重線の間は自動的に包絡されます。作成した線は連続線2つです。 線種や色は「直線」と同じです。





ここで作図終了を押すと

前のポイントで図形を確定します。

バルコニー作成については「二重線多角形(参)」が中に色をつけることができるので、二重線よりも 適しています。円形バルコニーについては(参)をご覧ください。



連続線はクリックしていった点を結ぶ連続した線です。

作図はメニューの「作図」から「連続線」、ツールバーではなどを選びます。左クリックで頂点を指定し

ていき、ダブルクリック(もしくは「作図終了」)で終了します。作成途中に右クリックで一つ前の頂点に戻 ります。

線種や色は「直線」のプロパティと同じです。

ここで練習してみます。始点終点を●にして連続線を書いてください。



「選択」して、「伸縮・回転」 をONにして、連続線の間接部分(折れ曲がってる部分) をドラッグして変形してみてください。



二重線と同じように「アール作成」ができます。



以下のような図が作図できます。



2・中の色を設定します。

 作図図形の設定
線の種類 実線 ▼
線幅タイプ 1 👤
v
○ 線の色選択
 ○ 中の色選択 ▽ 中を塗る ○ グラデーション ○ 有効 ○ 第二色選択

「四角形」と同じです。ここで中の色と枠(線)の色を決めます。

3・画面上に左クリックします。次に対角の点を左クリックします。「四角形」の作図方法と同じです。次 に3点目に角の丸さを決めてクリックします。



4・できあがった「角丸四角形」は多角形をグループ化したもの(部品配置の部品と同じ)です。 「伸縮・回転」で大きさを変えられます。





「作図」→「多角形」、もしくはアイコン 5 をクリックします。

使用方法は四角形と同じです。

ー点、二点、三点とクリックしていきます(作成途中に現在の面積(帖数)がマウス横に表示されます)。 最後に一番最初にクリックした点と同じ場所をクリックすると完成です。



多角形作成中、右ボタンを押すと決定した点が一つ前まで戻ります。

作成方法自体は多角形部屋作成と同じです。

多角形も「アール作成」ができます。アール作成については二重線(参)をご覧ください。



「アール作成」で部分的に弧のように表現することができます。



二重線の端と端を閉じた多角形が作成されます。バルコニー、手摺や塀、色のついた壁や曲線壁など を作成するのに便利です。二重線と同じ作図方法で、中が塗りつぶされた多角形を作図できます。

「作図」→「二重線多角形」、もしくはアイコン をクリックします。

作成方法は「二重線」と同じで、左クリックで頂点を指定していき、ダブルクリックで終了します。作成途 中に右クリックで一つ前の頂点に戻ります。幅は画面左下の入力画面で指定します(片側Oはできます が、左右両方にOは指定できません)。

- アール - アール作成	
24 💌 分割	
作図終了	
☑ 八川コニー作成	Π
進行左側距離	
50.00 mm	
進行右側距離	
50.00 mm	

プロパティは「多角形」と同じです。

「作図」「二重線多角形」
で、右側の「作図図形の設定」で「中を塗る」にチェックを

入れます。

画面左部分の「ノーマル」、「バルコニー」、「壁」で開始位置と終了位置が変わります。そ れぞれの作図に合わせて切り替えてください。



例として、四角形の壁を書いて、それぞれ中を白く塗りつぶした「二重線多角形」を配置 しています。





クリックした位置から二重線が始まります。



バルコニー

クリックした位置から片側壁厚分進んだところから始まります。壁の外側から始まるの

で、バルコニー作図に適しています。



壁

クリックした位置から片側壁厚分戻したところ進んだところから始まります。壁の際から 始まるので、壁の上に色のついた壁などの表現に適しています。



*バルコニー、壁での作図は、必ず「作図終了」ボタンで終了してください。

例題

では実際にバルコニーを作ってみます。部屋を1つ作図します。







二重線、二重線多角形にはアール部分(円弧)を作成する機能もあります。円形バルコニーなどを作 図するのに非常に便利です。詳しくは(円形バルコニーの作成 参)をご覧ください。





「作図」→「円」、もしくはアイコン をクリックし、 つづいて「プロパティ」をクリックします。 使用方法は四角形や多角形と同じです。 では作図します。 一点目、 円の中心をクリックします。 二点目 が半径になります。



画面左下の「半径固定」にチェックを入れると、設定数値で半径が固定されます。





「作図」→「円弧」、もしくはアイコン

円弧の「プロパティ」の設定も、他の図形と操作は同じですが、「中を塗る」のオン/オフによって、図 形の形状が変わります。

「中を塗る」がオンの場合は、円弧の半径ラインに線が付きます。オフの場合は円弧のみの図形となります。



「中を塗る」オンの時

「中を塗る」オフの時

円弧の描き方

- ① 1回目のクリックで円弧の中心を決めます。
- ② 2回目のクリックで、始点の中心からの半径距離と角度が決まります。
- ③ マウスの移動で円弧の角度を広げていきます。
- ④ 3回目のクリックで、弧の角度を決めます。

円弧の作図図形の設定で扇形と弦と曲線壁(R壁)(参)の選択ができます。

塗り形状	扇形 〜
端点の大	扇形
99	R壁

扇形は上記説明の通りです。弦にすると塗りつぶしの時のみ下記のような弦が作成されます。



画面左下の「半径固定」にチェックを入れると、設定数値で半径が固定されます。

「グラデーション」を有効にしていた場合、扇形では表現できますが、弦にはグラデーションはつきません。

三点円弧



プロパティは「円弧」と同じです。書き方が円弧と違うだけでできあがるものは同じです。 線と線をアールでつなぐ場合などに使います(参 図面作成詳細編 面取)。





「作図」→「曲線」→「スプライン曲線」、もしくはアイコン をクリックします。プロパティは直線と同じです。3 点以上の点を指定し、ダブルクリックで終点を決めます。 指定した点を通る滑らかな曲線ができます。曲線は連続 線になっています。





「作図」→「曲線」→「ベジェ曲線」、もしくはアイコン

プロパティは直線と同じです。3点以上の点を指定し、 ダブルクリックで終点を決めます。

スプライン曲線と違う点は、最初と最後の点以外通らな いなめらかな曲線ができます。曲線は連続線になって います。





「作図」→「曲線」→「フリー曲線」、もしくはアイコ

ン そをクリックします。

プロパティは直線と同じです。一点目を左クリックします。マウスを動かした軌跡に曲線がひかれます。2点目を左クリックすると連続線が作成

されます。一点目以外はマウスを動かしている間は吸着しません。マウスの軌跡が200ポイント以上 になると自動的に自由曲線が決定します。細かい図面を作成したい時は図面をズームで拡大して作 業してください。



「作図」→「楕円」、もしくはアイコン をクリックします。線種や色の決め方は円のプロパティの通 りになります。

まず、一点目に円の中心となる部分をクリックします。

次に二点目をクリックし、X軸方向(横)を決めます。三点目に Y軸方向(縦)をクリックします。



楕円は角度をつけることができませんが、

選択して右クリックメニューより「円、円弧の多角形、連続線化」をすると連続線や塗りつぶしたものは 多角形になりますので、「グループ化」して角度をつけることができます。(参図面作成詳細編円、 円弧の多角形、連続線化)



「作図」→「円弧楕円」、もしくはアイコン をクリックします。

文字どおり楕円状の円弧です。線種や色の決め方は円弧のプロパティの通りになります。

まず、一点目に円の中心となる部分をクリックします。

次に二点目をクリックし、X 軸方向(横)を決めます。三点目に Y 軸方向をクリックします。ここまでは楕 円の作成と同じです。次に四点目に開始点、五点目に終了点を決めます。終了点は円弧の作成方法と 同じように反時計周りに決めます。



円弧楕円は角度をつけることができませんが、選択して右クリックメニューより「円、円弧の多角形、連 続線化」をすると連続線や塗りつぶしたものは多角形になりますので、「グループ化」して角度をつけ ることができます。(参 図面作成詳細編 円、円弧の多角形、連続線化)



以下のような吹き出し図が作図できます。角丸四角形、四角形、楕円形状が選べます。



「作図」「吹き出し」 を選びます。 画面右側のプロパティで色、 塗りつぶしを設定します。 プロパティ は四角形と同じです。



角丸の四隅の円径は自動で決まります。3点目に吹き出し口の位置を決めます。



「方向」は上下左右、「位置」は方向から吹き出しの辺を見て左、中央、右の位置をしめします。 3点目をクリックすると吹き出しが完成します。吹き出しは多角形をグループ化したものです。





図形の四角形、もしくは多角形の内側に水平もしくは垂直な線、斜線や目地(レンガ)、格子などの線を 作図します。

四角形もしくは多角形、円の模様と同じですが、「作図図形の設定」で模様を付けると、四角形などと模様で1つのグループになりますが、これは四角形などの図形の上に別の模様のグループを作成します。

では作成方法を説明します。まずは作図してある四角形、もしくは多角形を選択 で選択状態にします。



次に右クリックメニューより「模様(ハッチ)作成」を選ぶと設定画面がでてきます。

模様 (ハッチ)	設定						×
設定値							
種類	2本						
ピッチ	15 mm						
間隔	2.00 mm						
角度	90 度						
基点	→ 5 ↓ 0.0						
配置単位	● 印刷mm ○ 実寸mm						
出力レイヤ	0 - 0 -	1					
			OK		キャンセ	n.	1
				_			1

・種類・・・模様(ハッチ)の種類を選びます。線の本数、又は格子、目地です

・ピッチ・・・線の間隔です(下図参照)。

・間隔・・・2,3本線の時の線の間隔です(下図参照)。

・角度・・・線の角度を指定します。(0度で水平、90度で垂直線になります)

・基点・・・ハッチ線の書く基点を指定します。(0,0)で選択物の左上になります。そこからの距離を指定 します。

•配置単位・・・印刷mm(用紙印刷した時のmm単位です。)実寸mm(印刷mmを図面の縮尺倍した単位です。)

右側こプレビューが出ます。

上記設定で出力すると以下のようになります。



→斜め斜線模様ができます。



模様 (ハッチ)	設定	X	
設定値]	
種類	目地(レンガ)		
ピッチ	5 mm		
間隔	1 mm		
角度	45 度		
人基	→ 0 ↓ 0.0		
配置単位	④ 印刷mm ○ 実寸mm		
出力レイヤ			
		OK ++>セル	 → ∠

→レンガ模様もできます。



ロフトやテラスなど表現する手段として、四角形や多角形を作図して模様(ハッチ)作成すると便利です。



相対位置は「クリックしたところから指定した数値分離れたところをクリックしたことにする」機能です。 グリッドを利用しない作図時に便利です。「相対位置」を覚えるとキッチリした数値の図面を作成するの に便利になります。

「shift ボタン」 +「マウス左クリック」で、「相対位置」メニューを呼び出します。

相対位置(単位mm)	×
横方向座標→ 455.00 +	0 = 455.00
縦方向座標↑ 1820.00 +	0 = 1820.00
角度 0 更度	0 mm
	OK ++>zh

絶対座標位置とは、

図面の真ん中をOとして、横方向をX 縦方向をYとした、移動距離のこと 表記は(X, Y)単位は(mm)とします。

相対位置とは

指定した絶対座標位置からの移動距離の事です。

表記は(X, Y)単位は(mm)とします。

(線か壁を描く時、一点目からの距離を見るのに使用します)

絶対座標位置と、相対位置はウィンドウの右下に常に表示されています。

(単位は小数点第二位まで表示されます)

使えば便利、相対位置の使用例

グリッド吸着ではなく、決めた長さの壁を描きたいとき

例えば長さ 3000mm(壁芯から壁芯)の壁を描きたいとします。グリッド 455mm間隔では、グリッド吸 着を使用して壁を描こうと思ってもその長さの壁を描くことは出来ません。

補助線グリッドやグリッドパターンを使ってもよいのですが、ここでは相対位置のやり方でやってみます。

まず壁ツールを選び、グリッド上の一点目をクリックします。



次に一点目をクリックした**同じ場所で SHIFT ボタンを押しながら左クリック**をします。次の相対位置入 カ画面が出ます。その位置より左方向に3000mmいったところに二点目をとりたいので上に3000と入 カします(もし左方向なら-3000、上方向なら下の入力ボックスに 3000、下方向なら下のボックスに-3000と入れます)



すると一点目から3000mm離れたところに二点目をクリックしたことになります。



この他にも線の長さ、寸法線の描画(参)円や円弧の半径を決めるときなどに便利です。 「角度」には角度と数値を入れると、その角度に入力した数値分はなれたところをクリックしたことにな ります。横方向、縦方向の入力とあわせて使うことも出来ます。

吸着したところから〇〇mm はなれたところをクリックしたいと思った時は、この相対位置入力を使用してみてください。

微妙な位置合わせ

・オブジェクトの移動の位置合わせ

マウスでオブジェクトをドラッグする時、線吸着を使用すればピタっと壁に位置合わせできるの は説明いたしました。その他、キーボードのカーソルでは「設定」で設定された距離分移動が 出来、また「編集」の「移動」では入力した数値分移動出来ますので、選択したものはこれらの 方法で移動してください。

・線などの作図時の位置合わせ

作図するときの位置合わせは、各吸着を使用するか相対位置を使って位置合わせしますが、キーボ ードからでも位置を動かすことが出来ます。テンキー(キーボードの右端の数字)の 8 が上方向、4が 左方向、2が下方向、6が右方向に、「設定」の「キーボード移動量」分マウス位置が動きます。「Enter」 キーで確定です。



画面に表示する順は、部屋、壁、図形(グループも含める)、文字、画像(画像は最下層にすることも可 能(参表示設定))です。このうち図形は、後に描いたもの(配置したもの)が上に表示されますので、 先に描いたものを上に表示させたい時、あるいは後で描いたものを下にしたい時に使用します。 部品配置で「家具」「椅子」の「三人がけソファ」の上に「L型ソファ」を配置してください。



後から配置した「L型ソファ」が上になっています。

「3人がけソファ」を選択します(クリックしてL型ソファが選択されてしまったら、ダブルクリックするとその場所にあるオブジェクトの選択が順に変わっていきますので3人がけソファに変えてください)。「編集」(または右クリックメニュー)の「レイヤー内最上層へ移動」を選ぶと順番が入れ替わります。



同レイヤー内での順番が入れ替わります。(レイヤー 🏂)

曲約時の	化式
田稼堂の1	「FJL

曲線の壁は円弧を太くしたもので作成できます。

壁芯吸着をONにして「作図」の「三点円弧」 → を選びます。

٢			
線の種類	実線		•
線幅タイプ	1	-	
塗り形状	R壁		•
端点の大 きさ			Ψ.

塗り形状を「R壁」にします。

円弧の始点、終点をクリックして、円弧の大きさを決めると、壁ツールの厚みと同じ太さの円弧がかけます。



壁だけで部屋を作成した場合や、色のない部屋を作成した場合に使用します。

「四角形(多角形)部屋作成」で作成した部屋の一部分を曲線にする場合は、次の項をご覧ください。



部屋の壁の一部を曲線にし、中の色や模様があっても曲線にそって部屋を変形できる方法があります。

曲線になっている部屋を作成するには、まず「四角形(多角形)部屋作成」

成し、部屋だけを選択状態にします。



右クリックメニューから、「部屋の壁を曲線変形」を選びます。



曲線にしたい部分の壁の頂点を1,2点左クリックします。3点目で曲線の弧の大きさを決めます。3点

目が決めにくいときは、グリッド吸着間隔を細かくするか、グリッド吸着をOFF



3点目をクリックすると、頂点間の壁が削除されて、部屋が曲線上に変形します。

曲線の壁は「二重線多角形」で作成されています。



壁の色を白くしている場合、あるいは色を付けて淵を黒にしている場合は、二重線多角形を白(または

任意の色)で塗りつぶしたものの上に二重線を配置して作図されます。





「作図」「二重線多角形」を利用して自由に作図することができます。

二重線多角形や二重線で曲線のようにポイントを自動的にとることにより簡単にアール部分を作成で き、以下のような作図ができます。



作図手順

1・円形バルコニーを例に作図してみます。まず「作図」「二重線多角形」

を「バルコニー」にします。

プロパティで中を白く塗りつぶします。



2・まず4点をドラッグせずに左クリックでポイントをとります(赤い二重線で下図のようになります)。



3・画面左下の入力画面をご覧ください。「アール作成」ボタンがあります。この「アール作成」を押すと 2つ前のクリック位置③を始点とし、1つ前のクリック位置④を終点とするアール部分が作成できます。 通常の円弧と違い、分割数分円弧上にポイントをとったことになります。分割数は多いほどより円弧に 近い作図ができますが、作図が重くなったりしますので、図面の精度にあわせて分割数を選んでくだ さい(24~26 くらいで充分細かくとれます)。



「アール作成」を押し「三点円弧」と同じように円弧の大きさを決めます。円弧の大きさが決めにくい場 合は「グリッド吸着」をOFFにして作図してください。左クリックで確定です(円弧の大きさが決定したら グリッド吸着をONに戻してください)。



4・あとは通常通りに左クリックでポイントをとり、左ダブルクリック、または「作図終了」ボタンを押すと 図形作成完了です。



5・間違えた場合、アール部分を確定する前なら右クリックで元に戻りますが、アール部分を作図した 後は右クリックで1つずつポイントを戻るので面倒です。その場合は再度「二重線多角形」の作図ボタ ンを押して作図をしなおしてください。

6・出来上がった図形は通常の「多角形」と全く同じです。あとから中の色を変えたり、模様(ハッチ)作成したり、グループ化したりできます。

色のついた円形バルコニーの作図・・・

部屋作成手順は、多角形部屋作成 で、円形部分になるところをクリックして、 バルコニーを作図します。(四角形部屋作成で作図後に、右クリックから「部屋の頂点の 追加」で頂点を追加(参)することもできます。)



「選択」ボタン でバルコニーの部屋部分のみ選択状態にし(部屋作成直後は部 屋文字も選択状態なので、一旦何もない所をクリックしてから部屋の壁部分を選択しま す)、右クリックより「部屋の壁を曲線変形」を押して、バルコニー作図部分の2か所の頂 点をクリックします。


アールを決めて左クリックします。 曲線部屋が出来上がります。 あとは「二重線多角形」で、手摺り部分に曲線バルコニーを作図します。



上記の部屋作成を使用した方法では、アール部分に少し壁の形が見えてしまいます。 部屋の代わりに多角形を使用するときれいな作図ができます。

詳しい作図方法は

(http://www.lilacsys.com/madpro/kotu/bal_kotu/nijyuutakaku.htm)をご覧ください。

マンションの柱(梁)の作図

RC(マンション)の柱(梁)などは、「作図」「四角形」ツールで中を黒く塗り、作成すると便利です。



グリッド吸着を作図しやすいように4分割~6分割くらいにします。



「作図」「四角形」(参 基本操作編①)で「中を塗る」にチェックを入れ、中の色を黒にします。

あとは四角形を書くだけです。多角形で作図してもかまいません。

図形はあとから配置したものが上に描画されますので、もし建具や他の部品が下にいってしまったら、 「選択」で柱部分を選択し、右クリックから「レイヤー内最下層へ移動」で下に移動させてください。



まず下図のように壁があったとします。水平、垂直な壁に建具を配置するには「グリッド吸着」をONに して配置しました(下図上部の開き戸)。この下の斜め壁に「開き戸」を配置してみます。線吸着をON にすると斜め壁の端にもピタっとマウスの先の十字がくっつくのが確認できます。



「建具配置」を押して「開き戸」「片開き1」を選びます。次に建具配置画面の「設置」というところ

設置	
壁芯	角

の「角」をクリックします。

「壁芯」がグリッドを使って建具を配置する場合で、「角」にすると壁の端から建具を配置できます。「角」 を押すと自動的に線吸着がONになります。グリッド吸着はそのままでもはずしてもどちらでもかまい ません。

マウスを壁に近づけると壁の端に吸着するので、まずそこで1点目をクリックします。さらに2点目をク リックします。向きを間違えたら右クリックで戻ります。



このとき、建具の幅は水平、垂直のときと違い合わせにくいので、適当でなくキッチリした幅にしたい

場合は、2点目のクリックの前に建具配置画面の「幅」というところを「数値」にすると幅を数値指定でき ます(あとから右クリックメニューで幅を設定することもできますので、マウスで配置してから数値指定 してもいいです)。



3点目で向きを決めて建具配置完了です。グリッド吸着 をOFFにしていた場合は、ON に 戻しておいてください。



斜めに配置された建具を伸縮、移動するときに気を付けないといけない点は、部屋移動ロックが「グリッド吸着OFF時ロック」だとロックされるので、「常時解除」にしなければならない点です。

水平垂直に配置された建具は「グリッド吸着OFF時ロック」であればグリッド吸着ONであれば移動伸縮しますが、斜めの建具はロックされるので、とまどうこともあります。

「グリッド吸着OFF時ロック」はズレを気にせず、あまり吸着を意識しなくても作図できますが、唯一斜 め建具の移動伸縮は注意してください。

部屋の頂点の追加

「四角形部屋作成」「多角形部屋作成」で作成した部屋の頂点(ポイント)を後から追加できます。部屋作 成後に部屋の形を変形したい時に、引き伸ばす頂点が必要であれば追加します。

「選択」で作成した部屋を選択状態にし、右クリックメニューから「部屋の頂点の追加」を選び、頂点追加 したい箇所の壁の上でクリックすると頂点が追加されます。



まず選択で頂点を追加した部屋を選択状態にします。



右クリックメニューより「部屋の頂点の追加」を選びます(部屋の作成直後は部屋と部屋文字の両方が 選択状態になっているのでこのメニューはでません。一旦選択をはずして部屋だけを選択状態にして ください)。

頂点追加したい場所をクリックします。頂点が追加されて「選択モード」になります(斜めの壁や、壁の ないところ、既存のポイントの上でクリックしても頂点が追加されずに選択モードになります)。 「伸縮・回転」ボタンを押して引き伸ばせます。





線や四角形などの色変更はプロパティの編集で行ないました。しかし部品の色や複数の図形の色を 一括で変更したいときはこのコマンドを使います。

色を変更したいオブジェクトを「選択」 で、ドラッグで囲み(あるいはクリックで選択)、「編集」 の「選択物の色・透明度変更」で「**線、文字部分の色変更**」もしくは「**塗りつぶし部分の色変更**」 を選び、色を選ぶと、選択物の全ての色が変わります。部品は塗り潰し部分の色が全て指定した色 に変わります。白で塗りつぶされている部分は変更されません(「ツール」「設定」「表示設定」「選択物 の色変更で白塗りも色変更する」にチェックすると白も変更できます)。 グループ(部品)を解除せずに中の色を一度に変更するのに最適な方法です。 線の色は右クリックメニューの「選択線種の変更…」でも変えられます。 文字の色は右クリックメニューの「選択文字修正…」でも変えられます。

・「塗りつぶしなしに色を付ける」は、選択しているグループや図形の塗りつぶしていない部分に色を つけることができます(ただし、部屋の塗りつぶしなしは色をつけることはできません)。

・「不透明度変更」は、選択している塗りつぶし部分の不透明度を変更します。

・「塗りつぶしなしにする」は、選択しているグループや図形の塗りつぶしている部分を全て塗りつぶしなしにします。



グラデーションの方向変更

図形(四角形、多角形)のグラデーション(方向・周囲グラデーション)は、「選択」 で右クリックメ ニユーの「選択物のプロパティ」で第一、第二色と方向の設定ができますが、選択したものの全体の方 向を変えたい場合や、部屋だけグラデーションをはずしたいといった場合に「選択物のグラデーション 編集」を使います。

デフォルトでグラデーション表示にすると左から右へのグラデーションになりますが、これを選択した ものを「編集」「選択物のグラデーション変更」で方向(方向グラデーション)を変えたり、グラデーション をはずしたりできます。

では試しに「練習1」を開き、「選択」 で全体を選択状態にし、「編集」「選択物のグラデーション変更」で「上から下へ」にします。



⁽全体が上から下へ白くなるグラデーションになりました)

「選択物のグラデーション変更」で、グループ単体を選択した時に「選択グループの要素をグループの 大きさでグラデーションをつける」にチェックを入れると、そのグループ全体でグラデーションがかかり ます。例えば下記のように四角形が個別にあるグループの場合にグラデーション表示をすると、以下 のような違いがでます。



(左は四角形それぞれ左から右へ白く色が変化しているが、右は全

体で左から右へ白く色が変化している)



グラデーションをかけると、第1色から白にかけてグラデーションがかかります(方向・周囲グラデーション)。

色の変化が大きいので、派手に見えたり、見づらくなることがあります。

グラデーションのマイルド化を行うと、第一色と白の中間色を第二色とするので、自然な感じのグラデ ーションがかかります。

作図し終わって最後の仕上げに全体を範囲選択し、マイルド化を行うとよいです。



間取りっど PRO3は部屋作成時は自動的にマイルド化されています(「ツール」「設定」「部屋情報の編 集」「グラデーション変化をマイルドにする」をはずすと、白に変化するコントラストの強い部屋になりま す)。



現在編集中の図面に、以前作成したファイルの中身(全て)を取り込みたい時に使用します。 ファイル→図面合成を選び、以前に作った間取りっどPRO形式のファイル(.lac)を選ぶと、現在作成中 の図面に合成されます。縮尺の設定は現在編集中のもののままです。 レイヤーも元図面の通りに合成されます。

一部分だけを別の図面に移したいという場合は、次の項をご覧ください。

ファイル間のデータのコピーを貼り付け

異なるファイル間で、選択した部分をコピー、貼り付けできます。

「図面合成」は図面すべてを取り込むものですが、一部分だけ取り込みたい場合はこちらを使います。 コピーしたい部分のあるファイルを起動し、選択(範囲選択)で選択状態にして「編集」の「選択物をコピ ー用ファイルに保存」とします。このファイルを閉じ、貼り付けたいファイルの「編集」「コピー用ファイル から貼り付け」をすると、選択状態で貼り付けられます。貼り付けたデータは編集中のレイヤーになり ます。

例として、間取りの一部をコピー&貼り付けしてみます。



(ウインドウの右上の一番左のボ

ţ

貼り付けたいデータのあるファイルを開きます(通常どおり「間取りっどPRO3」を新たに起動して「ファ イル」「開く」で開くか、ファイルを直接クリックして開きます)。

ţ

「選択」 で貼り付けたい部分を選択状態にします。



ţ

「編集」「選択物をコピー用ファイルに保存」をします。

ţ

これでこのファイルは閉じます。(「変更を保存しますか」のメッセージがでましたら、このファイルは何も編集してないので、「いいえ」で終了します。)

ţ

タスクバー(Windowsの画面最下部)にある先ほど最小化した元の図面を画面上に出します。

ţ

「編集」「コピー用ファイルから貼り付け」をすると、選択状態で貼り付けられます。貼り付けたデータは 編集中のレイヤーになります。



貼り付けられた部分は、元のファイルにあった位置と同じところに貼り付けられます。間取りを貼り付けた場合は「グリッド吸着」と「壁芯吸着」をONにして、壁の部分をドラッグして位置合わせしてください。 位置あわせに失敗した、あるいは選択状態がなくなって元のファイルの作図した部分と混ざったという 場合は、「編集」「元に戻す」で「コピー用ファイルから貼り付け」からやり直ししてください。



部分印刷

図面の一部分だけを印刷します。ある一部分だけ印刷したい場合、通常の用紙設定がA3で、全体を 印刷したくなくて、一部分だけA4で印刷したいなどの場合に使用します。

「ファイル」の「部分印刷」を選び、印刷したい部分の左上(もしくは右下)から左クリックでドラッグをして 囲み、右下(左上)でマウスを離すと、印刷画面が出てきます。



印刷プレビューが表示されます。問題なければこのまま印刷します。



この部分印刷は通常の印刷と違って、印刷する用紙や向きはここで設定します。プリンタを選び、プロ パティボタンを押して、用紙と向きを設定してOKボタンで印刷してください。 通常の印刷は(参 印刷 基本操作編①)を参照してください。



レイヤー(層)とは何でしょうか?

より細かい図面を作成していくには、このレイヤーの理解が非常に大切です。

レイヤーとはちょうど昔のアニメーションのように、透明なフィルムに絵を描いて何枚も重ねて図面を つくるようなものです。

ー枚目のフィルムには通り芯、二枚目は躯体、三枚目は建具、など別々に区切った方が、まちがって 選択したりせず、作成しやすいからです。また、あるレイヤーを非表示にしたいとき(下地の通り芯は 見せないようにして印刷するなど)などに便利です。

間取りっどPRO3には16のグループとその一つのグループに16のレイヤー、合計最大で 256 のレ イヤーに分けることができます。

画面の上から見ると次の図のようになっています。



レイヤーグループは全部で16あり、その中でレイヤー番号が16あります。

レイヤーグループ0のレイヤー番号0の上にレイヤー番号1・・レイヤー番号15

の上にはレイヤーグループ1のレイヤー番号0といった具合です。

今までの練習は全てレイヤーグループ0のレイヤー番号0に書いたものです。

レイヤーのメリットとして、あるレイヤーだけを非表示にする。例えば文字だけ見えなくする。寸法線だ

け見えなくするなど、他にはそのレイヤーだけを選択するので、文字だけ編集したいのに間違って部 屋を選択してしまうことがないので作業がラクになります。

レイヤーグループを分けて作るので、間取り自体をレイヤーグループのにしてレイヤーグループ1を 電気シンボルにする等の方法があります。

画面右端にレイヤー関連のボタンがあります。



レイヤーにオブジェクト(部屋や図形や文字など)がある場合、数字の横にドット(.)が入って表示され ます。ドットのないレイヤーは空ということになります。空のレイヤーで編集中のレイヤーはドットが表 示されませんが、レイヤーを切り替えた時にオブジェクトがあればドットが表示されます。

0.	表吸
1.	表吸
2.	表吸
3	滬集

横のボタンは押すと順に「表吸」→「表」→「非表」となります。編集中のレイヤーは切り替わりません。 「表吸」・・・表示してマウス吸着(編集中以外のレイヤーの線吸着、壁芯吸着、交点吸着)もする 「表」・・・表示するが、吸着はしない 「非表」・・・表示も吸着もしない

「ALL」は編集中以外全てのレイヤーの表示、非表示を切り替えます。

「名称」は現在編集中のレイヤの名前を設定します。

「一覧」は現在レイヤーグループに切り替えていたら(「Gp」が選択されている)、レイヤーグループの 一覧を表示します。レイヤー番号に切り替えていたら(「No」が選択されている)、現在のレイヤーグル ープのレイヤー番号の一覧を表示します。

このレイヤーダイアログは画面右に常に表示されています。

レイヤーの練習

まず現在がレイヤーグループ0、レイヤー番号0(以降 0-0 と説明)であることを確かめてください。レ イヤー番号「No」が選択されていることを確認して、「名称」を押して「図形」といれてください。



0-0は図形関係のためのレイヤーとしました。

画面上に赤く塗られた四角形を書きます。この四角形は0-0です。

次に1をクリックします。これでレイヤー番号1が編集中ということになります。0-1 です。レイヤー番号 の名称を「線」とします。

0-1		
Gp No		
線		
0.	表吸	
1.	福集	

- ____ (0-0 にはオブジェクト(四角形)があるので、番号の横にドット(.)があります)

四角形の上に線をひきます。



「選択」
にして四角形をクリックしてみてください。選択状態になりませんね、線は選択できま

す。現在編集中なのが 0-1 で四角形は 0-0 に書かれているので選択できないのです。

次にレイヤーダイアログのレイヤー番号0を非表示にしてください。

0-1		
Gp	No	
線		
0.	非表	
1.	滬集	

画面から四角形が消えました。というより見えなくなっただけです。次にレイヤー番号0を編集にしてく ださい。四角形が現れて選択できます。しかし線は選択できません。 次にレイヤーグループの練習をします。レイヤーグループの編集「Gp」 No を押してください。 レイヤーグループの名前を0を「図」、1を「文字」にします。 レイヤーグループの編集を1にしてください。



□□□====(レイヤーグループの編集は数字の前に"G"がつきます)

線も四角形も選択できません。これは今編集中のレイヤーが 1-0 であるから、レイヤーグループ 0 に ある四角形も線も違うレイヤーです。

今1-0が編集中なのを確認して、図面上に文字を入れてみてください。

レイヤー編集中以外淡色

「表示」の「レイヤー編集中以外淡色表示」にチェックを入れると、編集中のレイヤー以外が淡色になります。平面図の1Fをレイヤーグループ0にして2Fをグループ1にする時などに使います。





次に、メニューの「レイヤー」の「属性取得」 居を選んで下さい。これはクリックした場所にあるオブジェクトの属性(レイヤー番号やオブジェクトのプロパティ)を取得することができます。四角形の上をク

リックするとレイヤーグループとレイヤー番号が0になって0-0、四角形を描く状態になります。



ではこのレイヤー番号0をレイヤー番号1に移動してみましょう。

メニューの「レイヤー」の「レイヤーの移動合成」とを選びます(レイヤーのコピー合成としょ

ぶと、元のレイヤーのオブジェクトも残したままコピーします)。

元のレイヤーを 0-0(グループ番号0、レイヤー番号0の意味) 合成後のレイヤーを 0-1 にしてください。

レイヤーを移動合成				Х
	グループ	番号	レイヤー名称	
元のレイヤー	0 ~	0 ~		
	Ļ			
合成後のレイヤー	0 ~	1 ~	線	
□ レイヤーグルーフ ごとに	変更する			
		OK	キャンセル	

レイヤー0-0のオブジェクトはなくなりました。

編集中を 0-1 にして下さい。

線と四角形が同じレイヤーにあるのがわかります。

このように作図したもののレイヤーを後から変更することもできます。

レイヤーグループをまるごと移動、またはコピーすることもできます。

「レイヤーグループごとに変更する」にチェックを入れるとレイヤーグループまるごと移動またはコピーします。例えば 0-1 は 1-1 に 0-2 は 1-2 に移動(またはコピー)されます。

レイヤーを移動合成				×
	グループ	番号	レイヤー名称	
元のレイヤー	0 ~	0 ~		
	Ļ			
合成後のレイヤー	1 ~	0 ~	文字	
☑ レイヤーケルーフ。ごとに	変更する			
		OK	キャンセル	



メニューの「レイヤー」「選択物のレイヤー変更」をすると、選択したオブジェクトだけレイヤーを変える こともできます。線のみ選択にして「選択物のレイヤー変更」 で線をレイヤー番号のにしてみてくだ さい。線が 0-0 で四角形が 0-1 になったことを確かめて下さい。

選択物のレイヤ−変更				×
	グループ	番号	レイヤー名称	
元のレイヤー	0 ~ ~	$1 \sim$	線	
	Ļ			
変更後のレイヤー	0 ~	0 ~		
□ レイヤーケルーフ°ごとに	こ変更する			
□元のレイヤーにも	残す			
		ОК	キャンセル	

「元のレイヤーにも残す」にチェックで、元のレイヤーに残したまま、指定レイヤーにコピーします。

レイヤー全選択状態

これは指定したレイヤーをすべて選択状態にするものです。あるレイヤーのものを全部削除したい時、 あるいは移動したい時、等に使います。このコマンドを選んで0-0を選択状態にしてみてください。0-0 の線が選択状態になっています。 間取りっどPRO3はレイヤー番号の少ない順から描画されます。もし、あるレイヤーを上の方に描 画したい場合は、「選択物のレイヤー変更」や「レイヤーの移動合成」などでレイヤー番号を変えてくだ さい。

(「ツール」「設定」「全般」の「描画順」を「レイヤー順無視」にすると、描いた順に表示されます。主に 色を付けずに線、円弧だけで作成する図面の場合は、こちらにした方が作業スピードが上がります)

レイヤー一覧

レイヤーの一覧を表示できます。現在レイヤーグループに切り替えていたら(「Gp」がへこんでいた ら)、レイヤーグループの一覧を表示します。レイヤー番号に切り替えていたら(「No」がへこんでいた ら)、現在のレイヤーグループのレイヤー番号の一覧を表示します

では例として「ファイル」「サンプルファイルを開く」で「sample10_layer3」を選んでください。

「Gp」が選択の状態 Gp No で、「一覧」 一覧 をクリックしてください。

レイヤー一覧	1 1 1 1 1 1		×
レイヤーグループの一覧		表示ALL切替	表示倍率 1 💌 倍
G0 表吸	G1 非表示	G2 非表示	G3 表吸
G4 表吸	65 表吸	G6 表吸	67 表吸
G8 表吸	G9 表吸	G10 表吸	G11 表吸
612 表吸	G13 表吸	G14 表吸 OK	G15 表吸 キャンセル

16あるレイヤーグループが一覧で表示されます。G0(レイヤーグループ0)には1Fの平面図が、G1 (レイヤーグループ1)には2F、G2 には3Fが作成されています。上部の「表示倍率」は一覧が見づら い場合にあげてください。

表吸→表示→非表が切り替えられます。非表示のレイヤーは背景がグレーになっています。

また、一覧画面ではレイヤーに名前をつけることができます。名称 名称 で1つずつ名前をつけなく ても一度にレイヤーに名前をつけられます。 では G2 にある図の部分をクリックしてください。 G2 が赤 くなります。

レイヤーグループの一覧		表示ALL切替表
G0 表吸	G1 <mark>非表示</mark>	G2 表吸

そのまま「OK」を押すとG2が編集中になります。



先ほどまで G0 が「編集中」だったので G0 が「表示吸着」になっていて灰色で見えています。G0 を「非 表示」にしてください。

G0.	非表
G1.	非表
G2.	福集

G2 のレイヤーだけ表示されます。

2 素悪・草取り/27401	– 0 ×
2016日 編集日 25-7日 長市公 1月1日 21日 立東田 411日	
■RT V 1111 日 上 単 目 月 日 小 で う 名 名 名 (1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2.0
- 1월 19 10년 - 기 우리 미에지기 國스럽百루 최 소경 ··· 동생 대대대	_
NT	

次に「ファイル」「サンプルファイルを開く」で「木造平面図」を開いてください。

レイヤー番号を選択 Gp No 一覧ボタン 一覧 を押してください。

レイヤー一覧			×
レイヤーグループ 0 のレイヤー番号-	一覧	表示ALL切替	気倍率 1 ~ 倍
		רניות נ ברניות ב ברניות ב	۲
0 非表示 通り芯	1 非表示 壁	2 表吸 躯体	3 表吸 建具
≝≣≣°ı ∞ ===	€⊞ 800 ∯ ⊯3a⊐ 1		
4 表吸 床	5 表吸 部品	6 表吸 柱	7 表吸 文字
8 表吸 寸法線	9 表吸 区面枠	10 表吸	11 表吸
12 表现	13 表吸	14 表吸	15 表吸
		OK	キャンセル

レイヤーグループのにレイヤー番号 0 から9まで作図図面があります。たとえばこの中から「文字」の レイヤーを編集したい場合、7の枠をクリックして、OKを押すとレイヤー番号7が編集中になります。

レイヤー利用例:

電気部品を配置する際に電気部品をすべて赤色にしたいという場合があります。 まず配置する前に間取りと電気部品(配線)をレイヤーでわけて作成します。間取りをレイヤーグルー プ 0、電気部品を 1-0 として作成してから、「レイヤー全選択状態」を 1-0 にします。 「編集」の「選択物の色変更」で「線、文字部分の色変更」「塗りつぶし部分の色変更」 の両方を赤色に変えると、そのレイヤー全部のオブジェクトの線と文字の色が赤色に変わります。

レイヤー実用例:

ではレイヤーの実例を見てみましょう「ファイル」の「サンプルファイルを開く」で「sample1」を開いてみ





このサンプルは2階建て物件です。レイヤーグループ0に1F、1に2F、レイヤーグループ2に立面図 があります。

レイヤーグループの編集を1にしてください。

G0.	非表
G1.	滬集
G2.	非表

レイヤーグループ0と2を非表にすると、2F部分のみ表示されます。

レイヤーグループ0と2が非表示となっています。実際にレイヤーグループ 0、2には図面はあるけれ ど非表示とすることによって見えないようにできるのです。

「表示」の「レイヤー編集中以外淡色表示」をチェックしてください。

レイヤーグループ0を編集にし、レイヤーグループ1と2を非表示にしてください。

G0.	福集
G1.	非表
G2.	非表

次にレイヤー番号をみてみます。レイヤーグループ0のレイヤー番号1を「編集」にしてください。

0	-1
Gp	No
0.	表吸
1.	福集

🎦 無題 - 開取りっと	EPRO3		-	D X
7766 編集(2)	グループ(の) 表示(2) 作回(2) レイヤー	1) 7-1/D 2008		_
和尺 1/ 100	000000		_	0-1
5	-	I SARA SARA MARA MARA MARA MARA MARA MARA		Gp No
E L		10202301005-0002-0002-0000-0002-0002-0002-0002		0. 25
F 4				1. 建亚
▲ 142 ○村	ō 1		4	2 8/3
x x 🖺	5		50	4 845
	L			5 843
プロパティ	° =			6 8-0
	- 107.5			8 845
me⊕ I ↔	7			9 845
部屋(1480-)-2	~ -			10 848
7371 Rolling ~	2 100.0			12 単符
📢 4分割 🗸				13 #45
	6			14 848
	n E			ALL
1000EB120FF	1			名称
EN# 11#	A =			-9
	<u> と </u>			
	7			
	A A			
	-3412.5			
	6226			
	-7162 5			
	上出り 10 10 10	/ 今前「喝屄/ 購厶口買券店 △□□ = 馬頭咀喝酒		
ki i		NUM #10000-4406.253 #0(0.00-0.00)		

レイヤーグループ0のレイヤー番号0の部分(屋外の敷地や車など)が灰色の表示に表示している状態、レイヤー番号1の部分(1F間取り部分)が選択のできる編集レイヤーになりました。

灰色になっているのは編集中以外のレイヤーで、「表」または「表吸」となっているものです。線吸着の みONにして灰色の部分にマウスをもっていくと吸着するけど選択できないのがわかります。



(線の端に吸着(十字部分がマウスの先))

レイヤー番号0を「表」にして灰色の部分にマウスをもっていってください。表示はしていますが吸着し ないのがわかります。



このようにレイヤーグループで階層、レイヤー番号で敷地や間取り、文字などを細かく分けて作図すると、作業がやりやすくなります。

今後の作図ではお客様で 0-0 が部屋、0-1 が建具、0-2 が部品、1-0 が2階の部屋などと決めて作成 していってください。慣れないうちは、レイヤーグループを使わないでレイヤー番号 0 から 15 だけで やるとか、逆にレイヤーグループだけ切り替えて 0-0 を1F, 1-0 を2Fなどにする方法もあります。



前の項でレイヤーについて学習しました。間取りっどPRO3はレイヤーグループごとに縮尺が変えられます。最大16種の縮尺を同一図面上に作成表示することができます。

縮尺を変えられることにより以下のような使い方ができます。

1・部分拡大図などをひとつの図面内に書ける。

2.立面図などの縮尺の違う図面を表示するときにいちいち縮尺をかえなくてよい。

3・図面枠をあるレイヤーに作成しておくと、作業図面の縮尺をかえても図面枠の大きさはかわらない。



(上の例は 1/200 平面図の一部を別のレイヤーグループにコピーし、縮尺を 1/100 にしたものです) 使用方法は今までの縮尺を変更するのとほとんど変わりません。上の例を参考に操作方法を説明い

縮尺の変更		
編集中のレイヤーグループ 0	レイヤー 0 1/100.00	レイヤー 8 1/100.00
	レイヤー 1 1/100.00	レイヤー 9 1/100.00
現住の循穴「100	レイヤー 2 1/100.00	レイヤー10 1/100.00
↓ ↓	レイヤー 3 1/100.00	レイヤー11 1/100.00
変更後の縮尺 200 	レイヤー 4 1/100.00	レイヤー12 1/100.00
□ 全てのレイヤーの縮尺を変える	レイヤー 5 1/100.00	レイヤー13 1/100.00
	レイヤー 6 1/100.00	レイヤー14 1/100.00
▼ 又子も均等に1個人を変える	レイヤー 7 1/100.00	レイヤー15 1/100.00
	ОК	++>\tell

たします。「ファイル」「サンプルファイルを開く」でマンションを開き、縮尺のボタンを押します。

「全てのレイヤーの縮尺を変える」にチェックを入れると全てのレイヤーグループの縮尺が変わります。 チェックを入れなければその編集中のレイヤーグループのみ縮尺が変わります。レイヤーグループ 0を 1/200 にします。

「レイヤー」の「レイヤーをコピー合成」を選んで、「レイヤーグループごとに変更する」にチェックを入れておきます。これでレイヤーグループ0をレイヤーグループ2にコピーします。(レイヤー0-0 は 2-0、0-1 は 2-1 にそれぞれコピーされます。サンプルには立面図がレイヤーグループ1に入っているのでグループ2にコピーします。)レイヤーグループ2の縮尺は 1/100 ですので、レイヤーグループ0の図面より大きく表示されます。

レイヤーをコピー合成				\times
	グループ	番号	レイヤー名称	
元のレイヤー	0 ~	0 ~		
	Ļ			
合成後のレイヤー	1 ~	0 ~		
<u>√</u> 177-571-7°ごとI	変更する			
		OK	キャンセル	

「ツール」の「囲った内容を移動」でレイヤーグループ0の図面を左側に寄せます。 囲った内容を移動については(参)をご覧ください。

次に編集レイヤーグループを2にします。レイヤーグループ0、1は非表示にします。

「ツール」の「囲った内容を移動(参)」で1部屋を右側に移動させます。「囲った内容・・」は編集中のレ イヤーグループが対象になります。残りの部分は「囲った内容を削除」で削除します。



(一部分を空白部分に移動させて残りの部分を削除し、拡大図を作成します。) レイヤーグループのを表示にするとできあがりです。



「伸縮・回転(参 基本操作編①)」で部品(グループ)や線、多角形などが伸縮するのを学習しましたが、 部品の一部分だけ伸ばしたい時にこの部分伸縮を使います。

「ツール」「変形」「部分伸縮」「で部分伸縮モードになります。左クリック2点で囲った内容を指定数値 分だけ引き伸ばします。囲った内容の中で、四角形は水平垂直のいずれか2点、円や円弧は全ての 点を含んでいないと伸縮しません。直線や多角形は範囲内にある点が伸縮します。

例えば「部品配置」で「住宅設備」の「システムキッチンI型」を配置します。



これを横に引き伸ばすとき、「伸縮・回転」、もしくは「グループの伸縮」で行った場合、以下のようになります。



これを「部分伸縮」で行うとシンクの部分だけ伸ばせます。吸着を全てOFFにして「ツール」「変形」「部分伸縮」で以下のように2点を左クリックで囲ってください。



すると以下の画面がでてきます。ここで横方向に1000と入れます。

部分伸縮	伸縮距離	
$\leftarrow \rightarrow$	の方向へ 100C mm	
$\uparrow \downarrow$	の方向へ 🔽 🕺 mm	
0	▼度 0 mm	
コピー数	_	
	伸縮するキャンセル	

すると囲った範囲にある点が右に1000mm移動することによって部品が伸びます。



このように、一部分だけ伸ばしたい場合に利用します。囲った範囲にある同じレイヤーのもの全てが 伸縮します。

角度をつけて伸ばすこともできます。



範囲を選択し、ドラッグで移動、編集や右クリックメニューでコピーする方法については説明いたしました。次に説明する囲った範囲を移動したり複写したり反転するのは、主にマンションやアパートなど、 同じ間取りを連続して並べたり、部品を配列するのに便利です。 囲った内容は同レイヤーグループ内でのみ有効です。

囲った内容を複写

メニューの「ツール」→「囲った内容を複写」を選びます。

ー点目と二点目で囲った範囲を三点目を基準点とし、四点目が基準点になるように範囲を複写します。 四点目以降、複写は連続で行なえます。

では練習してみます。まず基本操作で作成した「練習1」を開きます。下記のようにグリッド吸着で3点 を指定します(左クリックでドラッグせずにクリックしていきます)。



マウスを動かすと囲った範囲と同じ大きさの点線の囲いが動きます。どこにこの範囲と同じ内容を複 写するか決めます。上の④の場所をクリックしてください。



囲った範囲が複写されました。複写は連続で行なえます。他のツールを選ぶか右クリックでモードが 終了します。



メニューの「ツール」→「囲った内容を左右反転」を選びます。

ー点目と二点目で囲った範囲を左右反転します。続けて「囲った内容を複写」で複写した部分を反転してみます。「囲った内容を反転」を選び、複写した図形を囲んで、メッセージがでたらOKボタンを押します。



直後は反転した部分が選択されている状態になります。



メニューの「ツール」→「囲った内容を上下反転」を選びます。 一点目と二点目で囲った範囲を上下に反転します。



直後は反転した部分が選択されている状態になります。

「編集」「元に戻す」で、右側の間取りを左右反転した直後の状態に戻しておきます。



メニューの「ツール」→「囲った内容を移動」を選びます。

ー点目と二点目で囲った範囲を三点目を基準点とし、四点目が基準点になるように範囲を移動します。 先に行なった「囲った内容を複写」に似ていますが、元の図形は残らずに移動するだけです。下記の ように点をとって、移動してみましょう。



すると



このように同じメゾネットができあがります。



メニューの「ツール」→「囲った内容を削除」を選びます。

一点目と二点目で囲った範囲に含まれているオブジェクトを全て削除します。

これは範囲選択した後に削除するのと同じです。



メニューの「ツール」→「囲った内容を回転」→「囲った内容を左90度回転」を選びます。

一点目と二点目で囲った範囲を左回転(反時計周り)に回転します。

下図は「練習1」を左回転したものです。



直後は囲った範囲が選択状態になっています。

「囲った内容を右90度回転」はこの動作と逆に時計回りに90度回転します。

注意:「ツール」「設定」の「動作設定」で「囲った内容を回転時、文字を回転しない」にチェックを入れると、 回転させても文字は向きをかえないようにできます。



メニューの「ツール」→「囲った内容を伸縮」で縦横の伸縮率を入れてOKをすると図面が伸縮します。

図面の一部をグループ化せず(あるいはグループ化したものを含んだ一部分)の大きさを変えられま す。図面全体の大きさは「縮尺」(参 基本操作編①)で変えたほうが、実寸と尺度が保たれます。

(使用例)

「練習1」を開き、右上の浴室からトイレにかけて「ツール」「囲った内容を複写」で右のスペースに複写

します。

140 MBD 71-70	#40 HBD 111-0 1-13 188 -/10	

「ツール」「囲った内容を伸縮」で、右側に複写した部分を囲みます。

囲った内容の伸縮率				-		×
 倍率指定 数値指定 	横横	3	倍 mm	縦 縦	3	倍 mm
			OK		++>	'til

		• •		<u>济室</u> トイレ Cl	
--	--	--------	--	---------------------	--

「伸縮率」を縦横3倍にしてOKを押します。

部分拡大図が出来上がります。


間取りっどPRO3はスマホ、デジカメやスキャナなどの画像ファイル(JPEG,PNG,GIF,BMP)を画面上 に貼り付けることができます。

インターネットの写真はほぼ Jpeg 形式です。これを取り込んでみます。 「ツール」「設定」の「呼び出した画像の大きさ」を設定します。

・ 画像のオリジナルの大きさで読み込む・・・

画像の元のサイズで画面に読み込みます。大きいサイズだと、画面に入りきらない場合が あります。その場合は「下記の大きさで読み込む」をしてください。

下記の大きさで読み込む・・・

実際に印刷する大きさを設定します。読み込む画像を一定サイズにしたいときに使います。 印刷した紙の画像の占める部分の大きさを入力します。画像の大きさを揃えたい時はサイ ズを設定してください。

· 下絵の縮尺どおりに取り込む(dpi 入力必要)····

下絵画像に縮尺がある場合、取り込んだdpiを入力することによって間取りっどPROの縮尺 値と合わせることができます。

特によくわからない場合はまずオリジナルの大きさで取り込んで、大きすぎたら一旦削除し、サイズ は設定値そのままで「下記の大きさで読み込む」にチェックを入れて画像を取り込んで下さい。

では画像ツールを押します。するとファイルを選ぶ画面がでてきます。

特にサンプルは用意していませんので、お客様で何か画像ファイルを開くか、ピクチャから適当に画像を選んで下さい。

目的の画像種類に応じて、ファイルの種類をjpg 等に絞ることもできます。

🎌 画像の墓柱			×
$\leftrightarrow \rightarrow \neg \uparrow \blacksquare \rightarrow PC \rightarrow E$	79 → My Cloud Samples		✓ Ď P My Cloud SamplesD R T
整理・ 新しいフォルダー			× I 9
	arquéeligy arquéeligy	argeology	
マ ファイル名(出)	t sample03.jpg		 、 運動771ル (pg.prg.pithmp) (* ~ 、 、 、

画面中央に呼びだした画像が貼り付けられます。

吸着をすべてOFFにして、伸縮・回転ボタン

ラッグしますと大きさが変わります。



(画像の4隅の黒いハンドルを伸縮して大きさを変えます)

画像はいくつでも取り込めますので、プレゼンテーションボード作成にも最適です。



・基本設定では、取り込んだ画像は部屋や部品より上の層に配置されますが、設定をかえることによって下に配置もできます。

「ツール」の「設定」の「動作設定」で「画像表示を最下層にする」にチェックを入れると画像が下になり ますので、画像の上にオブジェクトを配置することができます。

クリップボードにある画像を画像取り込みすることもできます。

グラフィックやフォト関係のソフトのクリップボードへのコピーや「PtSc(プリントスクリーン)」キーでの 画面キャプチャを、「編集」「クリップボードの画像を貼り付け」で画像として取り込めます。 ・PNG、GIF形式は透過(背景が透明)がとりこめられます。ホームページ素材やロゴなどのイラストを取り込むことにより、よりカラフルでイラストチックな図面に仕上げることができます。

部品の代わりにPNG画像を使用して、よりグラフィカルな図面を作成できます。PNG画像ネットや書籍 などをご利用ください(画像によっては著作権がありますので、ご使用においては各所有者の権利を ご確認ください)





・トリミング(切り抜き)

選択で、画像を選択し、右クリックメニューより「選択画像のトリミング」を選びます。

選択画像のトリミング...

画像の周りの4隅の黒いカギの部分をドラッグして、切り取る範囲を指定します。「トリミングOK」ボタンで画像が切り抜きできます。元に戻すも可能です。





・回転

選択で、画像を選択し、右クリックメニューより「選択画像の回転」を選びます。

 \rightarrow

選択画像の回転...





-90 度~90 度の角度を指定します。小数点第一位まで有効に指定できます。 「更新」を押してズレを補正します。

「OK」ボタンで画像が回転されます。元に戻すも可能です。



1・スキャナからの取り込み

.

下絵画像がすでにある場合、スキャナからの取り込みがわかる場合は、2からお読みく ださい。

スキャナ付属のアプリケーションの使用方法がわからない場合は、原稿をスキャナにセ

ットし、

Windows10 のスタート→すべてのアプリ→Windows アクセサリ→WindowsFAX とスキャ ン

```
を起動します。「新しいスキャン」を行います。
```

新しいスキャン
スキャナー: WIA Canon MP630 ser 変更(<u>N</u>)
אנאב+ז :(]: אנאברין זינערקדער
スキャナーの種類(型): フラットペット
用紙サイズ(E):
色の形式(①): グレースケール ・
ファイルの種類(E): JPG (JPEG イメージ) ▼
解像度 (DPI)(<u>B</u>): 300
明るさ(因):
0]:0:
(1イメージを複数のファイルとしてプレビューまたはスキャンする(I)
プレビュー(<u>P</u>) スキャン(<u>S</u>) キャンセル

上記のような設定にします。

プロファイルを「ドキュメント」に、

色を残したい場合は、「色の形式」を「カラー」に、

解像度は下絵の縮尺(1/100 など)がわかっている場合に覚えておきます。下絵を縮尺 どおりに取り込みたいという場合でなければ覚えなくても大丈夫です。

「プレビュー」を行なって確認後に「スキャン」で取り込みます。

スキャンしたら「名前を付けて保存」を押して JPEG 形式で保存します。この時、ファイル の「保存する場所」は覚えておいてください(ピクチャなどのフォルダに変えた方がわかり やすいです)。

これで下絵から画像取り込みが完了です。

2. 間取りっどPRO3へ下絵を取り込む準備

まず最初に設定を行ないます。この設定は一度行なうと次の取り込み時からは行なう必要がありません。

間取りっどPRO3を起動し、「ツール」「設定」

の「全般」を開きます。

「呼び出した画像の大きさ」で、下絵の縮尺を保持したまま取り込む場合(あらかじめ縮 尺 1/100 などがわかっている場合)は「下絵の縮尺どおりに取り込む」を、大きさを適当 に画面上で合わせる場合は「下記の大きさで読み込む」にチェックしてOKします。



3. 間取りっどPRO3へ下絵を取り込み



1 無題 - 墨取りシジド803	- 🗆 X
2764日 編集日 グループロ 表示い 作用い レイヤーロ ジェ 8 45/00	
	0.0
科学会会の1991年19月1日の1991年1月1日の1991年1月1日日日	
NUM M(9020.09-2765.80) M(0.00-0.00) 画像1	60.0mm 臺260.0mm

「表示」「下絵なぞりモード」 を押します。これで半透過して上から間取りを書いた時に下絵を見ながら作図することができます。画像の上にグリッド線が現れます。



縮尺を保ったまま取り込んでいる場合は、移動して和室6帖など大きさがわかっていると ころをグリッドに大体あわせます。



4. 下絵をなぞる

下絵が取り込めたら編集レイヤーを変えます。下絵をレイヤーOに取り込んでいるので、 編集レイヤーを 0-1にします。



グリッド吸着をON (矢印が赤い)にして、グリッド吸着間隔を4分割くらいにし、部屋 作成で上からなぞります。



下絵をなぞっていく途中、書いた部分の確認は、下絵のあるレイヤー0-0 を「非表示」に します。書き終わって印刷する時も「非表示」にします。

0.	非表		
1.	福集		



(下絵表示、半透過)





(下絵非表示、半透過)

(下絵非表示、透過なし)

注意:取りこんだ下絵の縮尺が間取りっどPRO3の縮尺とあっていない場合、なぞって和室を作成した場合、帖数が正しくないので、縁がでてこなくなります。その場合は、「部品配置」の「畳」より畳部品を配置して伸縮して部屋の中にあわせるか、「直線」で縁を書き加えてください。

ワードやエクセル、ホームページなどへの出力

Jpeg,Gif,Png,Bmp,Emf 形式への出力

作成した図面をマイクロソフト社の「ワード」や「エクセル」、ホームページに利用などに利用したいお 客様が多いかと思われます。

「間取りっどPRO3」単独でも充分作成できますが、他社ソフトに図面を利用することでお互いのソフトの長所が発揮できます。

他アプリケーションに間取りを利用するには、「間取りっどPRO3」の図面を画像ファイルに出力します。 画像ファイルとは(jpeggif,png.emf,bmp)という形式でほとんどのワープロソフトやグラフィックソフトなど で読み込むことができます。

また、間取りっどPRO3をお持ちでない人に図面をメールで渡す場合(PDFをお勧めします 参)や、 インターネットの不動産登録サイトに図面をアップする場合も画像出力(jpeg.gif.png 形式)して利用しま す。

間取りっどPRO3の図面は EMF(拡張メタファイル),BMP(ビットマップ)又はJPEG(ジェイペグまたは JPG)、GIF(ジフ)、PNG(ピング)形式で保存することが出来ます。

画像出力方法

「ファイル」→「画像出力」→「範囲を決めて出力」
 を選択して下さい(「イメージどおり出力」
 にすると、作成画面全体が出力されます)

②左クリックのドラッグで画像ファイルにする範囲を決めます(間取りを囲みます)

	13838.28
 画像出力設定 出力」PEG圧縮率 100 % 画像出力サイズ指定 ✓ サイズ指定する 幅 640 × 高 640 ピクセル 「指定サイズピッタリに出力 	
出力目的へ自動設定 C 手動設定 C ワード・エウセル用(EMF形式) C web用(640×640JPG形式) で その他印刷用(最大サイス)PG形式)	

出力する画像の大きさ、質を設定できます(emf 形式以外)

・出力 JPEG 圧縮率・・・jpeg 出力時に圧縮率を変更することで出力容量を減らすことが出来ます。圧縮 率を減らすと容量も減りますが、画質が劣化します。

・画像出力サイズ指定・・・・画像のサイズをピクセルで指定できます。縦横の比率が維持されますので、 入力した値にサイズ変換したときに、値の範囲で収まるように画像サイズが変換されます。どちらか 片方に数字を入力すると、その値にあわせた大きさになります。(EMF形式以外)

・指定サイズピッタリニ出力・・・「画像出力サイズ指定」していた時に、縦横比は維持されますが、縦長 (横長)の画像になります。チェックを入れると、指定したサイズピッタリニ収まるように余白を白で埋め て出力します。図面枠の大きさが決まっている場合はここにチェックを入れて出力します。

・出力目的へ自動設定・・・

手動設定・画像の出力サイズ、形式を自分で設定します。

ワード・エクセル用(EMF形式)・・ワード、エクセルなどの場合は、これにチェックを入れます。 web用(640×640JPG形式)・・webにアップロードする場合にこれを選びますが、今のブラウザは大き いサイズの画像をきれい表示するので、web用でも下のその他印刷用でOKです。 その他印刷用(最大サイズ JPG 形式)・・web 用にも、アプリケーション用にもjpeg に出力するときはこちらにチェックしておきます。

③「画像の保存」画面がでてきます。ファイルの種類(jpg など)に決めてください。保存場所はピクチャ などがいいです。ファイルネームを付け「保存」すれば完了です。

ファイル名は間取りっどPRO登録ファイル(lac)と一緒でないほうがいいでしょう。例えば「ファイル」の 「名前を付けて保存」で間取りっどPRO形式の保存を「新築 2DK.lac」としたとすると、「新築 2DK_Jjpg」 など1文字加えるなどして保存しましょう(インターネットのホームページに利用する場合は半角英数名 にしておきます。shintiku_2dx_jjpg などにしましょう)。



④ファイルの種類を変えれば bmp.jpeg.emf.gif.pngのファイル形式の切り替えができます

主に「ワード」などのアプリケーションに利用する場合はemf(拡張メタファイル)形式、ホームページに 利用する場合はjpeggif.png 形式、その他、ペイントソフトへの応用は BMP 形式にします。

画像出力のサイズやjpeg 圧縮率などをあらかじめ設定することができます。

「ツール」の「設定」の「全般」の「画像出力の設定」をご覧ください。



・出力 JPEG 圧縮率~指定サイズピッタリに出力までは、画像保存時のダイアログでも設定できます。

・画像出カサイズ指定・・画像出力するサイズを設定します。サイズ制限が決まっている場合に使用します。

・画像出力のサイズを倍にする・・・・ディスプレイの表示の倍の大きさで出力します。ディスプレイは画素がプリンタに比べて荒いので、そのまま画像にすると円弧部分や文字部分がガタガタするので、その倍の大きさで保存することにより、ガタガタを軽減します。大きくした画像を小さく表示するとぼやけます。画素が荒くても鮮明に出力したいという場合は、チェックをはずして出力してみてください。 画像出力サイズを指定した時は無効です。

・GIF出力時、透過GIFにする・・・GIF出力時に背景の色を透過します。出力サイズを変えたときやアンチエイリアス有効時は白の部分を透過します。

・ファイル保存時に自動画像保存・・・「ファイル」「名前を付けて保存」をしたときに、画像ファイルも自動 で保存します。

ホームページ等利用への画像出力(jpeg,bmp,gif,png)について

ホームページ用画像出力は図面作成後に「ファイル」「画像出力」「範囲を指定して出力(イメージ通り に出力)」でjpeg、もしくは png 形式、gif 形式に出力します。jpeg.png.gif はパソコンでの画像(写真や絵) のファイルです。

ホームページへの画像利用は、jpeg 圧縮率を 90~100%、画像出力サイズ指定にチェックを入れて、 jpeg もしくは png、gf で画像出力してください。

ホームページに掲載するために、不動産ポータルサイトの場合、大きいサイズの画像もきれいに表示できますので、サイズの指定ははずしておいていいです。

「画像の出力設定」をします。「ツール」「設定」を開きます。

以下のように「画像出カサイズ指定」にチェックをはずし、「画像出力のサイズを倍にする」にチェック を入れてOKを押します。



「サイズ制限OO×OOピクセル」とある場合は「間取りっどPRO3」ですぐに設定できます。

「容量OOKBまで」の場合は、画像の大きさや画質によって出力した画像の容量が異なります。



上記のように「画像出力サイズ指定」にチェックを入れてサイズを指定します。

「サイズ制限OO×OOピクセル」の場合はそのまま幅、高さにいれておけばそのサイズに収まって 出力されます。幅と高さを同じ数値にしてくと、縦長でも横長でもどちらか長いほうが大きい数字にな るようにサイズが収まります。「指定サイズピッタリに出力」にチェックを入れると、そのサイズピッタリ になるように余白が白で埋まります。ホームページによっては表示サイズ(width height)が決められて いる場合もあるので、チェックを入れたほうがいいです。

「容量OOKBまで」の場合は、その数値によりますが、「出力 JPEG 圧縮率」を 90%くらいにするとよ いかもしれません。容量が小さくなる代りに画質が落ちますので、サイズと画質で妥協できる範囲を 探してください。

OK ボタンで設定画面を終了します。

設定はここまでです。実際に画像を出力してみます。

「間取りっどPRO3」を起動し、出力したい図面を開きます。

次に「ファイル」「画像出力」「範囲を決めて出力」を選びます。

図面の左上(左下でも右上でもどこからでもよい)から左ドラッグで囲み、マウスから指を離します。

出力目的へ自動設定 ○ 手動設定 ○ ワード・エクセル用(EMF形式) ○ web用(640×640JPG形式) ○ その他印刷用(最大サイス)PG形式)

「その他印刷用」にチェックします。

「保存する場所」をピクチャなどわかりやすいものにします。

「ファイル名」は半角英数にします。例えば山田邸だったら、「yamadatei_210221」など、日付と一緒に名前をつけるといいです。

ここで「間取りっどPRO3」の役目は終わりです。画像ファイルに出力しましたが、あとから図面の編集 は画像ファイルではできませんので、必ず「ファイル」「名前をつけて保存」で間取りっどPROの形式 (lac)で保存しておいてください。

さて jpeg ファイルに出力してみましたが、これを見てみるにはどうすればよいかですが、上の例では



保存したファイルがあります。このファイルをクリックするとこの画像を見るためのプログラムが開きます。このプログラムはパソコンによって違います。jpeg ファイルをどのアプリケーションで見るかは パソコンの設定によって変わります。

ファイルの上にマウスを持っていくと大きさと容量、ファイルの種類が表示されます。

どのアプリケーションに設定されているかは、このファイル上で右クリックを押し、プロパティを押します。

■ yamadatei_210221.jpgのブロパティ					>	
全般	セキュリティ	詳細	以前のバージョン			
yamadatei_210221.jpg]	
ファイル	の種類: 」	IPG ファイル	(.jpg)			
プログラ	L:	7 7 ト			変更(C)	

この画像のプロパティ(内容)が開きます。「プログラム」とあるところがこの画像を開くアプリケーションです。ここが他のアプリケーションになっているかもしれません。

プロパティ画面をOKで終了します。右クリックから「プログラムから開く」を選ぶと、パソコンで設定されているアプリケーション以外のもので開けます。アプリケーションによっては画像を加工(編集)できます。

jpeg ファイルを保存する方法は上記説明ですが、インターネットのサイトに掲載するにはアップロード を行います。アップロードの方法はサイトによりますので、サイトの説明をご覧ください。

大きな文字でアピール

ホームページに画像を掲載すると、小さい画像にするとどうしても細かい部分が見えにくくなります が、文字を大きくすることによりどのような間取りかわかりやすくなります。

これは「ちょっと・・」と思うくらい大きくてもホームページに掲載すると丁度良くなる場合があります。



作成した間取りをホームページにアップする用途が多い場合は、「ツール」「設定」 こ 「部屋情報の 編集」で、「部屋文字の変更」で文字高さを大きくして、作図するときに部屋の文字が大きくなるようにし ておきましょう。 不動産ポータルサイトやレインズなどアップロードするサイトによって出力するサイズが異なります。 ホームページの「間取り作図の要点(http://www.ilacsys.com/madpro/kotu/kotu1.htm)」では、出力方 法を含めて更新を行っておりますので、ご参照ください。

ワードやエクセルなどへ画像を貼り付ける場合(emf,bmp)について

Microsoft 社の「Word」や「Excel」、アドビ社の「イラストレーター」に「間取りっどPRO3」で作成した図 面を貼り付けることができます。ワードやエクセル、イラストレーターの場合は画像出力のファイルの 種類を、拡張メタファイル(emf)形式にしてください。EMFは線や文字を情報として出力するのできれい に印刷されます。

まず「間取りっどPRO3」から EMF 形式(線や文字の情報)か BMP 形式(Windows の画像形式)に出力 します。JPEG 形式(一般的な画像形式)でもかまいませんが、圧縮するために若干画質が BMP に比 べて落ちます。

「間取りっどPRO3」を起動し、出力したい図面を開きます。

次に「ファイル」「画像出力」「範囲を決めて出力」を選びます。

図面の左上(左下でも右上でもどこからでもよい)から左ドラッグで囲み、マウスから指を離します。



出力目的を「ワード・エクセル用(EMF 形式)」にチェックを入れます。

「保存する場所」をピクチャかドキュメントなどわかりやすいものにします。

「ファイル名」は一時的なものなので、「1」とか「test」とかにします。「ファイルの種類」は拡張メタファイル(EMF)になっています。

ここで「間取りっどPRO3」の役目は終わりです。画像ファイルに出力しましたが、あとから図面の編集 は画像ファイルではできませんので、必ず「ファイル」「名前をつけて保存」で間取りっどPROの形式 (lac)で保存しておいてください。

取り込んだ画像の取り扱いはワード、エクセル、イラストレーターなど、各ソフトごとに違いますので、 各ソフトのマニュアルをご参照ください。ここからワード、エクセルについては使用ユーザー様も多い ですので、挿入の基本的な方法を説明いたします。

ワード(エクセル)を起動し、図面を挿入したいファイルを開きます。 (罫線の中とかに挿入したい場合は、カーソルを一旦罫線の外にしてから次の操作を行います)

Word、Excelは「挿入」「画像」で、さきほど保存した画像ファイルを選びます。

「ファイルの場所」をピクチャにします。「ファイルの種類」は「すべての図」でもいいですが選びにくい 場合は、EMF であれば「Windows 拡張メタファイル」、BMP であれば「Windows ビットマップ」にします。 挿入ボタンを押すと取り込めます。

取り込んだ画像の移動や大きさの変更などの作業についてはワードのヘルプや MS 社のサポート、 書籍等で習得してください。

印刷用に適している、拡張メタファイル(EMF)とは・・

EMF 形式にしていた場合、BMP や JPEG などの画像とどう違うかですが、EMF(メタファイル)は線や 文字を情報(ベクターデータ)として出力します。

挿入をすると、いわゆる写真ではなく、ワードやエクセルの図(イラストレータも同様に線や文字)とし て取り込まれます。

そのアプリケーションで作図した図になりますので、印刷すると文字や線が非常にきれいになります。 ワードに挿入した際、右クリックで「図の編集」をすると、挿入した図面上の文字などを編集することが できます。 ただ、互換の時に線の太さや文字位置、フォント種などアプリケーションによっては互換しない情報も あります。

お勧めは拡張メタファイルでの互換ですが、好みに応じて種類をお選びください。

*画像出力した間取りは、後で修正できません。大事な図面ですので、図面データは必ず「ファイル」の 「名前を付けて保存」で間取りっどPRO形式(ac)に保存してください(参 基本操作編①保存)。間取り っどPROファイルに保存しておけば、画像ファイルはいつでも出力できます。

*「ワード」「エクセル」「イラストレーター」などは他社ソフトのため、弊社では詳細な操作方法について はサポートできかねます。emf や jpeg に出力した後、各ソフトでの利用の詳しい方法については各ソ フトのヘルプ、サポートをご利用ください。

*エクセルで図を挿入すると、画像の縦横比率が画面上は正しくても印刷するとかなり少しですが、比率が崩れる場合があります。これはエクセルの仕様ですので、気になる場合はワードでの利用をご 検討だださい。

クリップボード経由

クリップボードとは、Windows 共通の文字や画像データを受け渡す保管所みたいなものです。間取りっ どPRO3の図面も、表示されている状態で画像データにしてクリップボードに保管し、他のアプリケー ションに貼り付ける事ができます。

クリップボード経由で他のアプリケーションにコピーすると図面が荒くなりますので、上記のように一旦 画像ファイルにして挿入することをお勧めします。

クリッップボードへのコピー方法は、「編集」「クリップボードに画像としてコピー」を選び、「画像出力」の 「範囲を決めて出力」のようにドラッグでクリップボードに保管する範囲を決めます。画像データはクリ ップボードに保管されます。

例えばワードやエクセルの場合、どのようにこのデータを呼び出すかというと、ワード(エクセル)の 「ホーム」の「クリップボード」でビットマップイメージを選ぶと貼り付けられます。(クリップボードへコピーした 場合、画像サイズは2倍になりません)

自動画像保存の設定

図面を作成し、「ファイル」「名前を付けて保存」もしくは「上書保存」で画像ファイル(jpegbmp.gif.emf.png) も自動的に保存することもできます。

設定の方法は、「ツール」「設定」「全般」「画像出力設定」の「ファイル保存時に画像自動保存」のボタン

ファイル保存時に画像自動保存 自動詳細...

をON(選択している状態)にし、O

Kを押すだけです。

画面上では何の変化もありませんが、ファイルを保存したフォルダに「保存したファイル名」+「j(jpeg は j、bmp は b、emf は e、gf は g)」というファイル名で画像ファイルが保存されます。画像サイズは「画像 出力設定」で指定したサイズになります。

回山田アパート	345 KB	MadPro登録ファイル
	44 KB	JPEG イメージ

図面を編集し、「上書保存」をすると画像ファイルも更新されます。

従来どおりの画像保存方法(「ファイル」「画像出力」「範囲を決めて出力(イメージどおりに出力)」)も変わりなくできます。

*ズームで拡大していると自動で画像保存されませんので、全体表示状態で保存してください。

自動保存の詳細設定

「ファイル」「名前を付けて保存」で自動的に保存するフォルダの場所や余白等を設定できます。 「ツール」「設定」「全般」の「画像出力設定」の「ファイル保存時に画像自動保存」の横の「自動詳細..」を クリックします。

自動画像保存設定詳細	<
保存形式	
◯ jpeg ◯ bmp ◯ gif	
(保存フォルダ ● 間取りっどPROファイルの保存フォルダと同じフォルダ ○ 任意のフォルダを設定 C・難 IsersWinfr¥Dog ments	
ファイル名 シティル名の最後に拡張子頭一字を追加する(pegの場合;)	
余白部分 画像範囲余白 20 ✓ □ 画像保存範囲を用紙イメージどおりにする	
ОК キャンセル	

保存形式・・・出力する画像の形式を決めます。

保存フォルダ・・・「名前を付けて保存」のフォルダと同じか、あるいは「任意のフォルダを設定」にチェックし、「参照」」で画像保存用のフォルダを設定すると、そのフォルダに画像ファイルが保存されます。

ファイル名・・・自動保存される画像ファイル名は、「保存したファイル名」+「j(bmp は b、emf は e、gif は g、png は p)」がファイル名の最後につくようになりますが、チェックをはずすと、「保存したファイル名」 で保存されます。

余白部分・・間取りの上下左右の余白を画面上のピクセル数で設定します。デフォルトでは 20 ピクセ ルで、大体の間取りは丁度収まる程度になっていますが、もう少し余裕を持ちたい場合は大きくします。 逆に小さくすると文字などが微妙に収まらなくなる場合もあります。

「画像保存範囲を用紙イメージどおりにする」にチェックを入れると、「画像出力」の「イメージ通りに出 カ」した時と同様に用紙イメージの範囲で出力されます。

PDFで出力

PDF 形式はプリンタの紙で印刷するかわりにファイル化するので、画像で出力するより精度がよい図 面が相手先につたわりますので、間取りっどPROを持っていない相手への図面を渡すのに適してい ます。

間取りっどPRO3に直接 PDF 化する機能はありませんが、Windows10 には「Microsft Print to PDF」というPDF出カドライバが標準で入っていますので、それを利用するとPDFファイルとして図面を出力できます。

印刷の画面で「プリンター名」を「Microsft Print to PDF」にしてOKを押すとファイル保存画面が出てきます。保存するとPD形式になります。

印刷	×
プリンター	
プリンター名(N): Microsoft Print to PDF	✓ プロパティ(P)
状態: 準備完了 種類: Microsoft Print To PDF	
地所: PORTPROMPT: コメント:	□ファイルへ出力(L)
印刷範囲 ● オバブ(A)	印刷部数
 ページ指定(G) ページから(E) 	
ページまで(D) ○選択した部分(S)	11 22 33
	OK キャンセル

*フォント種類など、場合によっては一部正常に互換しない場合もあります。

寸法線

寸法線は、「直線」コマンドと「文字」コマンドを使って自分で寸法記入をすることも出来ますが、「間取り っどPRO3」にはより簡単に寸法を記入する機能が用意されています。

では、グリッド線を使って、寸法を描いてみましょう。「作図」「寸法線」またはアイコン 増 をクリック して下記の① → ②のようにグリッドをクリックして、③の位置でもう一度クリックします。

		距離を	·決める	5 (3	高さを
1)			2	決める

可法	値					×			
	1	820			m	ım			
				ОК		キャンセル	寸法文字(こ変更があれば変更します	す。
		18	20						

出来上がり。寸法線は線と文字のオブジェクトで出力されます。

同様の方法で今度は縦寸法線を描いてみましょう。



寸法値入力画面は数字に限らず出力されるのは文字ツールと同じですので、どんな文字でも入力できます。



横方向、縦方向の、距離を表記しました。

間取りっどPRO3の寸法は、1点目と2点目の位置の間の距離となっています。ですから、斜めに距 離を取れば①②点間の距離が記されることになります。

ー点目を押し、一点目の上で相対位置入力(参)をして二点目をとり、正確な値の寸法線を書くという こともできます。



で寸法線の設定を行います(自動計

測では設定の変更がすでに書かれているものにも反映します)。

寸法詳細設定		×
寸法値	○自動計測	◉手動入力
寸法文字表示	◉ 表示する	○表示しない
寸法文字フォント名	MS ゴシック	\sim
文字の高さ(印刷上のmm)	3	
表示桁 小数点第	0 ~	
単位	mm 🗸	
桁区切り	なし	\sim
端点の形状	なし	\sim
端点の大きさ	やや大	\sim
補助線開始位置(印刷上の	()mm) 0	mm
	OK	キャンセル

寸法値

自動計測は寸法線の値を1,2点間で計算します。手動入力は値を任意に入力します。手動入力で作 図した寸法線は、線ツールと文字ツールになります。自動入力では寸法線オブジェクトとなります。

寸法文字表示

寸法線の文字を表示するかしないかの設定をします。

寸法文字フォント名

寸法線の文字のフォントを設定します。

文字高さ

寸法線の文字の大きさを設定します。寸法線の文字は印刷用紙に設定した高さになります。

表示単位

長さの桁数が設定できます。小数点第3位まで表示することができます。

桁区切り

1000単位でカンマ、スペースなどの桁区切りを表示します。

端点形状・端点の大きさ

			31	50.	0		22	50.	0		
	\sim										
-											
-		_		_		_	-			_	
-						_					

「端の形状」で寸法線の端を矢印や四角形などに変えられます。すべての寸法線の端の形状が変わります。大きさは矢印や●の大きさです。

寸法線の値を「自動入力」で作図します。寸法値を「自動入力」にチェックを入れOKを押します。通常の

作図方法と同じく寸法線ソール 門 で画面上1点目、2点目を押して、3点目で寸法補助線の長さを決定します。



確定した寸法線は線と文字が一体となったオブジェクトです。1 点目と2 点目の距離が文字となって出るので正確な数値で作成した図面でない場合は「手動入力」で数値を手入力してください。

「自動入力」で作成した寸法線を線と文字に分解するのは、選択状態で「ツール」「線化・線結合」「寸法線を文字線化」します。



上のように寸法線を一つずつ作っていくと非常に面倒です。間取りっどPRO3は壁芯と壁芯の間の距離を自動で測って、4方向に寸法線を自動で作成できます。

まず、間取りを作成し終えます。次に「ツール」の「自動図形作成」「寸法線自動作成」を押すと次の画面 が現れます。

寸法線自動作成設定	×				
寸法線の高さ 8 mm	n(印刷上のmm)				
寸法線の壁からの距離 8 mm	(印刷上のmm)				
レイヤー 寸法線作成対象の壁のあるレイヤ ④全てのレイヤが対象 〇指定したグルーブのみ対象 グル 〇指定したレイヤーのみ対象 ⁰	ーブ 番号 × 1 ×				
寸法線を作成するレイヤ 0	✓ 1 ✓				
寸法線作成キャンセル					

寸法線の高さ・・・寸法線の印刷した時の高さを決めます

寸法線の壁からの距離・・・間取りからの寸法線の足までの距離です。

レイヤー・・・

全てのレイヤーが対象・・全てのレイヤーの壁や部屋を対象とします。

指定したグループのみ対象・・指定したレイヤーグループにある壁や部屋が対象となります。

指定したレイヤーのみ対象・・指定したレイヤーグループ、レイヤー番号にある壁と部屋のみを

対象とします。

寸法線を作成するレイヤー・・・寸法線を出力するレイヤーを指定します。デフォルトでは編集中 のレイヤーになります。

ここでの設定は、自動で書いた寸法線が気に入らない場合は「削除」か「元に戻す」をしてまた書き直 せばいいので自分が気に入る高さを見つけてください。

下記は自動寸法線作成の例です。



できあがった寸法線で思ったようにできていない部分は「選択」で選択してから削除して、「寸法線」ツ ールで書き直してください。線吸着がONになっていますと寸法線の足に吸着するので書きやすくなり ます。また、寸法値を変えたい場合は書き直すか、選択して「ツール」「線化・線結合」「寸法線の文字線 化」で線と文字にして右クリックから「選択文字の修正」をします。

寸法線は「寸法線の設定」に従って表示されます(寸法値は「手動入力」となっていても自動で計算され ます。値を変えたい場合は、選択して「ツール」「線化・線結合」「寸法線の文字線化」で線と文字にして から文字のみ選択し、右クリックから「選択文字の修正」をしてください)。

グループ化・部品登録

線や四角などの図形や文字、壁を一つの集合体にしたものが「グループ」です。部品配置で行なった 部品もグループです(部品 = グループ)。 線や文字を選択状態にしてグループ化できます。

部屋、建具、画像、寸法線、グループを再度グループにすることはできません。(部屋などをまとめて

移動、複写回転などをする場合はグループ化でなく、「囲った内容を移動(複写・反転など<u>参</u>)」をご使用ください)

線や文字を囲んで選択状態にし、メニューの「グループ」より「グループ化」を選びます。単独でもグル ープにできます。

グループが選択したものの中に入っているとグループ化できません。

グループ化されるとハンドルが赤くなります。部品配置で行なったものと同じようにグループ化され たものは左右反転、上下反転、回転、伸縮ができます。そして、「グループの保存」で部品にできます。 「グループの保存」をすれば次からそれを部品として配置できるので、オリジナルの部品を増やせば どんどん使いやすくなります。

メニューの「グループ」の「グループ化解除」を選ぶと、選択されているグループが元のバラバラの図 形や文字に分解されます。

グループ化

ではためしにグループ化を行なってみましょう。

画面上に「直線」と「四角」を書いてみます。これを「選択」 で囲んで選択状態にします。

次にメニューより(または右クリックメニューより)「グループ」の「グループ化」を選びますと、グループ になります。



グループ化を行なうとそれで一つのオブジェクトとなり、上下反転や回転、伸縮が行なえます。お試し ください。

グループ化解除

では次にグループ化解除を行なってみます。部品を作り変えたい場合(余分な線を消したり、付け加え たりや一部の色を変える場合)や作業上一時的にグループ化したものを元のオブジェクトに戻す場合 に使います。例として、部品配置で「家具」「椅子」より「ソファ1」を配置し、これを「グループ化解除」し てみてください。



グループ化解除の後、このオブジェクトを選択してみてください。多角形と線でできていることがわか ります。ではこのソファの真中に直線を引いてみてください。そして再度このソファを選択で囲んで、グ ループ化を行なってください。



ついでに色も変更しておきます。「編集」「選択物の色・透明度変更」「塗りつぶし部分の色変更」を押します。

選択物の色・透明度変更(L)	•	線、文字部分の色変更(C)
選択物のグラデーション変更(K)	•	塗りつぶし部分の色変更(N)

薄い水色などにしてみてください。

新しい部品ができました。今後の図面でもこれを使うために次に登録してみます。

グループの保存

先ほど作成したソファを選択した状態でメニューの「グループ」より「グループの保存」を選びます。 部品配置と似たような画面がでてきます。部品を入れるフォルダをまず選びます。「家具」「椅子」を選 んで下さい。



もしこの時適切なフォルダがなければ「フォルダ追加」で新しいフォルダを 作ります。

今は「家具」「椅子」のフォルダにこの部品を保存してみます。

フォルダ追加の左横にある入力欄に「ソファテスト」と入れて「保存」ボタンを 押します。この画面が消えたら保存完了です。ファイル名として不適当という メッセージがでたら名前を変えてください。

次に保存されたかどうか確かめてみましょう。部品配置 を押して 「家具」「椅子」を押して「ソファテスト」を探してください。もし出てこなければ なければ一旦他のフォルダ(オフィスなど)をクリックしてから再度「家具」「椅 子」を押すと現れます。

既存の部品と同じ名前で「保存」すると、上書きされます。元の部品は戻らな いので、できるだけ別名で保存してください。

部品は間取りっどPRO3をインストールしているフォルダの下の data という フォルダ(デフォルトで c:¥ilacsystem¥間取りっどPRO3¥data)の¥家具¥椅子 に拡張子 mgp という形式で一つの部品が保存されています。

windowsのエクスプローラでファイルの移動やコピー、削除ができます。エクスプローラの操作方法は windows ヘルプを参照してください(削除をすると部品は復旧できませんので注意してください。フォル ダの追加は問題ありませんが、元からあるフォルダを削除したり改名しないでください。)。

部品の保存を習得すると今後の図面作成がグーンと便利になります。操作になれましたらお客様が使われる部品をどんどん作成していきましょう。

部品作成の練習

部品の登録の方法は説明いたしましたが、より実践的な部品を作成して登録するのを練習してみましょう。全てマニュアルを読んでから練習したい方はあとまわしにしてもかまいません。では、部品(グル ープ)として「パソコン」を作成しそれを登録してみましょう。

パソコンは上から見たものを描きます。大きさは後で調整できるので、縮尺等は気にせず、大きめに 描きましょう。同時に、色付けも行ってみましょう。

「ツール」「グリッドの間隔設定」で、グリッド間隔を縦横とも500に設定します。

つづいて、縮尺を1/50に設定し、グリッド吸着をONにします。

この設定は個人の好みですので、自分の使いやすい設定を見つけるようにしましょう。ズーム を使って好みの大きさに拡大できます。

つづいて「作図」「多角形」ツールを選び、「作図図形の設定」で、「中の色の選択」をクリックします。 「中を塗る」の口にチェックマークを付けます。

これで、多角形の中の色を選択できますが、今回は薄い灰色を選択しましょう。

※「線の色の選択」で線の色を中の色と同色にして、縁取りをなくすこともできます。

これで用意が出来たので、実際こパソコンの形を描いていきましょう。

「多角形」と「四角形」で液晶ディスプレイを作成し、「四角形」「直線」コマンドで、キーボードに手を加えましょう。



(重なっている部分の上下は、選択状態で右クリック「レイヤー内最下層(最上層)へ移動」)

マウスを描きましょう。「角丸四角形」と「直線」で作成しましょう。「角丸四角形」はグループで作成され るので、「グループ」「グループ化解除」しておいてください。



これで一通りパソコンの絵が描けました。次にグループ化をしてみましょう。
 せっかく作った部品も各部分がバラバラでは非常に使いにくいものです。それで、全てを一つの部品とするため、グループ化と部品の登録を行ないましょう。

「選択」でドラッグしてパソコンの絵全体を囲んで選択状態にします。

次に、「グループ」「グループ化する」とクリックしてグループ化の完了です。

今の段階では作成の都合上、画面いっぱいに作成しています。

このまま登録してしまうと、次に呼び出す時に家よりも大きなパソコンになってしまいますので、まず、 「伸縮」を使用して大きさを調整しましょう。

大きさをあわせるために、「部品配置」で「オフィス」「機器」に「パソコン3」がありますのでそれを配置 して、それにあうように伸縮します。



最後に登録をしましょう。

登録したい図形を選択した状態で、「グループ」「グループの保存」とクリックします。

ここで種類のフォルダー覧が出ます。どのフォルダに保存するか決めます。今回は「オフィス」「機器」 フォルダにしましょう。「オフィス」「機器」をクリックすると、すでに登録されている図形の一覧が表示さ れます。

下の「名称」のところに「パソコン」と入力します。(ここでパソコンでは大丈夫ですが、部品はそのま ま一つのファイルになりますので、windows ファイル名称に反する名称(%&\$など・・・)を入れるとエラ ーになる時があります。エラーメッセージがでましたら、別の名前を入れてください)

そして、「保存」ボタンをクリックます。

以上で登録完了です。

では、登録された画面を確認してみましょう。

「部品配置」 を呼び出して下さい。そして、オフィスのグループに登録されているか見てみましょう(すぐに反映されない場合もあります。ない場合は一旦「家具」などのほかのフォルダを押した

あとに「オフィス」「機器」を押すと反映されています)。

配列順序は50音順となっています(「ツール」「設定」「全般」の「部品配置表示順」で、部品フォルダ表 示順を並べ替えることができます)。

たくさんの部品を作ると、図面を描くのが簡単になっていきます。一度保存すれば削除しない限り次から使えますので、どんどん部品を作って登録していってください。



登録されている部品を削除できます。削除すると2度と復活しないので、元からある部品は削除せず、 部品保存で失敗したものなど間違えないようにしましょう。

画面上に部品を配置します(ここの部品は削除するものとは何も関係なくても構いません)。「グルー プ」「グループの保存」を選びます。

	<u>の他</u>] 図面枠 つィス] キャビネッ] 机] 椅子	ب ۲
囲い1		
] 連続配	置	
		変更 リセット
保存 削除…	フォルタジョン	٥ ا

作成失敗した部品を選んで、「削除」で削除されます。

フォルダごと削除したい場合・・・

元からあるフォルダは削除してはいけません。部品保存の際に「フォルダ追加」を間違って行った場合 など、フォルダごと消したい場合は、間取りっどPRO3画面上ではできませんので、エクスプローラか ら、間取りっどPRO3をインストールしているフォルダの下の data というフォルダ(デフォルトで c¥lilacsystem¥間取りっどPRO3¥data)の中にある消したいフォルダを削除してください。
削除すると復旧しなくなりますので注意してください。

フォーマット

図面を作成するときにいつも決まったレイアウトがあるというお客様も多いと思います。

例えば図面枠を作ってある、ロゴが入れてある等など・・間取りっどPRO3は立ち上げ時にこういった 要素を予め呼び出せる設定ができます。

決まったフォーマットのファイルを作成します。ファイル名はなんでもかまいません。それをどこのフォ ルダでもいいので(ハードディスク内のフォルダに限ります)保存してください。

「ツール」「設定」「全般」を呼び出し、左下の部分を見てください。



「使用」にチェックを入れ、「参照」を押して、先ほど保存したファイルを選びます。OKボタンを押したあ とに、間取りっどPRO3を終了してください。

次から間取りっどPRO3を立ち上げる時にこのファイルの要素が呼び出されます。

普通にファイルを保存して呼び出す場合とどう違うかということですが、毎回ファイルをよびださなくて いいという点と、新規作成状態になりますので、間違ってフォーマット用のファイルを上書き保存しない ということです。



Jpeg.bmp.png.gif.emf への画像ファイルとしての出力は(参)

PDF 出力は(参)

間取りっどPRO3は、DXFファイル(R12J以前)、JW_CADファイル(JWW,JWC,JWS,JWK)の取り込み、 DXF、JW_CADファイル(JWW(6.0),JWC)での出力ができます。

DXF、JW_CADファイルともに、文字の位置やサイズが出力ソフト(または入力ソフト)によってずれる 場合もありますので、出力(読み込み)後、修正が必要となる場合もあります。

また、間取りっどPRO3ではDXFよりJWW(JWC)の入力の互換性のほうがよいため、できるだけJ WW(JWC)での活用を推奨します。DXFはバージョンが多く存在しますが、R12J形式以前のものの み取り込めます(R12J以降のファイルも読み込めますが、データ内容が欠落する場合もあります)。



「他形式の読み込み」ではDXFファイルを読み込むことが出来ます。

ファイル→他形式の読み込み→DXF読み込みで取り込めます

ファイルは新規作成になります。編集中の図面がある場合は「保存しますか?」ときいてきます。保存しない場合は「いいえ」を選択します。

縮尺や用紙サイズは元データに基づいて自動で変更されます。



レイヤーをまとめる場合、用紙サイズや縮尺を変更しない場合など、チェックを入れます。特に用紙サ イズは図面データから算出されるので、変えたくない場合はチェックを入れてください。

※取り込んだ図面は線のみで構成されています。また、文字の位置がずれることがあります。

部品図などを取り入れられたときは、グループ化して、「グループ保存」をされると部品のパリエーショ ンが増えます。多くの住設メーカーがトイレや流し台、建具などのDXF形式のデータを公開しています。 インターネットにはいろんなファイルがダウンロードできるページがありますので、そこからダウンロ ードしてきて、グループ化して部品を増やせます。

読み込みしても表示されないときは縮尺を変えてみてください。あと、中心点は左下になるので、「ツ ール」の「中心点移動」を使用してください。

DXFが読み込みできない場合は読み取れない形式です。可能であればDXF出力するCADソフトでD XF-R12J形式以下で出力するか、できればJW_CAD(JWC)での出力をしてインポートしてくださ い(JW_CAD(windows 版フリーソフト)にDXFを取り込む機能があります。間取りっどPRO3はJW _CAD互換性の方がDXFよりいいため、JW_CADでDXFを取り込んでJWW形式で出力し、間取 りっどPRO3に読み込みしてください。JW_CADはインターネットのサイトよりダウンロードできま す)。



ファイル→他形式へ出力→DXF出力 でDXF形式で保存できます。

DXFファイルに変換する際、注意点として壁の塗りつぶしはなくなります。

あと、壁の上に部品をおいていた場合など、見た目で壁の線は消えていますが、DXF変換すると壁に 線が残ります。これは間取りっどPRO3ではこれで表示できていても、他のCADでは上から塗りつぶ して作る方法ではないからです。その場合、他のCADで編集しなおすか、二重線などを利用しての間 取り図を作成する必要があります。出力形式はR12Jとなります。

注意:文字情報で位置や大きさが少しずれたりすることがあります。これは互換する時の誤差で、読 み込むソフトによって差があります。



JWW(JWC)はDXF入力と同じようにJW_CAD形式のデータを間取りっどPRO3の画面に読み込みます。

「ファイル」「他形式の読み込み」「JW_CAD(JWW,JWC 読み込み)」をクリックし、ファイル選択画面を開きます。

「ファイルの種類」でJWW形式とJWC形式を切り替えられます。

JWWファイル(JW_WIN版(6.0まで)) ~

入出力レイヤーはそのままJW_CADのレイヤーに移行します。

文字情報で位置や大きさが少しずれたりすることがあります。DXF に比べて JWW データの方が、文字などデータの互換性はいいです。

一部曲線データの互換がされない場合もあります。点データは無視されます。

読み込みしても表示されないときは縮尺を変えてみてください。

7.0 以降の JW_CAD データも読み込めますが、7.0 以降の追加修正項目については欠落する場合があります。



間取りっどPRO3の図面を JWW(JW_CAD Windows 版、JWC (JW_CAD DOS 版)形式に出力します。 「ファイル」「他形式へ出力」「JW_CAD(JWW,JWC)出力」をクリックし、ファイル選択画面を開きます。 「ファイルの種類」でJWW形式とJWC形式を切り替えられます。

JWWファイル(JW_WIN版(6.0まで)) ~

DXFファイル出力と同じように、変換する際注意点として壁の塗りつぶしはなくなります。

あと、壁の上に部品をおいていた場合など、見た目で壁の線は消えていますが、JW 変換すると壁に 線が残ります。その場合、他のCADで編集しなおすか、二重線などを利用しての間取り図を作成する 必要があります。

注意:文字情報で位置や大きさが少しずれたりすることがあります。これは互換する時の誤差で、読

み込むソフトによって差があります。JWW データの方がよりデータ互換がいいですので、読込先が JWWを扱える場合、JWW で出力してください。

注:JWW 出力で、JW の基本設定部分はデフォルトに用意された JWW ファイルを読み取って出力する ようになっています。これは間取りっどPRO3のプログラムのあるフォルダの中の「jwdefjww」というフ ァイルです。もしお客様で JWW の基本設定のあるファイルがありましたら、そのファイルの名前を 「jwdefjww」として、元の「jwdefjww」に上書きしてください。



JW_CADの図形(部品)はJWS(Windows 版、JWK(DOS 版形式です。これを間取りっどPRO3で 取り込むと、取り込んだものがグループ化されてグループとなり、画面中央に取り込まれます。グル ープは部品として保存できるので、JW_CADの部品を間取りっどPRO3の部品として使用すること ができます。

「ファイル」「他形式の読み込み」「JWS、JWK取り込み」をクリックし、ファイルを選びます。 「ファイルの種類」でJWSとJWKを切り替えます。

JWSファイル(JW_WIN版図形ファイ, ~

JW_CADの部品はJW_CAD本体のみならず、インターネット上や雑誌などに多く公開されていま す。これらを利用すると部品作成の手間が省け、いろんな部品が使えるので非常に便利です。ネット で公開されているファイルにはサイトごとに使用の注意がある場合がありますので、各サイト(所有者) の利用規約をご参照ください。

2-6 設定

「間取りっどPRO3」の動作を設定します。お使いの用途に合わせてカスタマイズしてください。作業効 率が大幅:変わることもあります。初期設定が必ずしもお客様の目的に一番便利とは限りませんの で、操作内容をご理解いただけましたら、設定を調節してみてください。

設定はツールの設示タン、あるいはメニューの「ツール」の「設定」を選びます。



設定	×
全般 グリッド 表示設定 動作設定 引用文の編集 部屋情	報の編集
キーボードカーソル移動量 ・・・・ 100 mm 1 100 mm 寸法線 呼び出す画像の大きさ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	画像出力設定 出力」PEGE編章 000 % 画像出力サイズ指定 サイズ指定する 福 640 × 高 640 ピクセル 一 指定サイズビックリに出力 ジ 画像出力のサイズを信にする
7オーマット (使用) 参照 作業画面の色・部品配置表示順 作業画面色の設定 部品配置表示順	壁·柱の色
建具配置表示数(アプリ再起動で適用) 建具配置画面 ● 2×4 ○ 3×5 描画順 ● レイヤー順(標準) ○ レイヤー順番無視	線幅タイプ、線種・端点ビッチ 線種 要注意変更 全設定切期化 シンティル場所変更 データ移行 データ移行 データ移行 の形かの一時 での の形かの データ移行 データ移行 アイルの削除
	OK キャンセル 適用(A)

◆キーボードカーソル移動量・・・カーソルキー(矢印)で 1 回動かすごとに移動する距離を設定します。横方向と縦方向が設定できます。

テンキー(8は上方向、4は上方向、2は上方向、6は上方向)でマウス位置を決める時にもこの値ずつ マウス位置が動きます。

「大線設定・・・寸法線の表示形状を設定します(参 寸法線設定)。

- 画像のオリジナルの大きさで読み込む・・・画像の元のサイズで画面に読み込みます。大 きいサイズだと、画面に入りきらない場合があります。その場合は「下記の大きさで読 み込む」をしてください。
- **下記の大きさで読み込む・・・**実際に印刷する大きさを設定します。読み込む画像を一定サ イズにしたいときに使います。
- **下絵の縮尺どおりに取り込む(dpi 入力)・・・**下絵が縮尺に正確な図面の場合、dpi 入力によって画像を間取りっどPRO3の縮尺にあわせられます。

◆フォーマット・・・設定したファイルの要素を間取りっどPRO3起動時に呼び出します。チェックを入れて、参照ボタンで呼び出したいファイルを指定して設定します。

◆ 作業画面の色・・・・画面の色(通常は白)を変更できます。これは作業画面の色を変えて目が疲れないようにするもので、背景色を決めるものではありません。また、まっ黒にすると線や選択がみえなくなりますので濃いグレーなどの色をお使いください。

◆ 部品配置表示順・・・「部品配置」のカテゴリのフォルダの表示順番を設定します。

◆ 建具配置画面・・・「建具配置」の1ページ表示数を設定します。

◇描画順・・・

レイヤー順・・・レイヤーの小さいものから順に描画されます。デフォルトはこちらです。

レイヤー順番無視…配置した順に描画されます。線のみの図面など、描画順でレイア ウトが変わらない場合はこちらの方が動作が速くなります。

▼画像出力設定・・・

出力JPEGE施率・・・・画像出力のJPEG出力時に圧縮率を変えます。低くするとファイル容量が少なくなりますが、画質が落ちます。

画像出力サイズ指定・・・ピクセル単位で画像の大きさを設定します。片方を空欄にすると、 入力している大きさにあわせます。画像の縦横比は保たれます。入力サイズと合わな い時は大きい方の幅に合わして、もう片方のサイズが調整されます。

指定サイズピッタリに出力・・・指定したサイズに収まるように出力されます。 縦横比 は維持され、不足分は白で埋めます。

画像出力のサイズを倍にする・・・ディスプレイでみた大きさの倍の大きさで保存します。線

や文字のガタガタを軽減するのでチェックを入れておいた方がきれいな画像になります。

GIF出力時、透過GIFにする…gf 形式での画像出力時に背景の色を透過します。

ファイル保存時に画像自動保存・・・「ファイル」「名前を付けて保存(上書き保存)」の時に、 画像ファイルも同時に保存します。

自動詳細・・・「ファイル保存時に自動画像保存」の画像種類やファイル名、保存場所などを 設定します。

登・柱の色・・・・壁を黒、白、詳細、任意の色に切り替えられます。詳細は大壁、真壁の表示と端に柱を自動表示します。柱は白、黒、×印での表示が切り替えられます。壁詳細の柱もこの設定に従います。

◇ 線幅タイプ(印刷時の線の太さ)、線種、端点ピッチ・・・

線種のピッチ・・・破線や一点鎖線などの印刷時の長さmmを調節します。

端点形状のピッチ・・・線や寸法線の矢印などの形状の大きさを設定します。

線幅タイプのピッチ・・・線の画面上の太さやプリンタでの印刷の太さを設定します。

画面やプリンタの解像度によって太さがきまりますので、数字を設定し

たら実際に印刷してみて調整してみてください。

◆ 要注意変更・・・通常は変更しないようにしてください。

- 全設定初期化・・・設定、グリッドの設定、動作設定、立面設定を初期化します。最初のイ ンストール時に戻したい時に使います。
- データ移行・・・間取りっど PRO3の PC 入れ替え、間取りっどPRO2をお使いいただい ていたお客様の部品や引用文のデータをにコンバートします。本製品が初めて、 あるいは旧製品ユーザー様でも部品をオリジナルで作成していなかったお客様は 使用しないでください(参 ホームページのサポート(PC 入れ替えについて))。
- データ移行フォルダ作成・・・パソコン入れ変えの際に部品、部屋情報、引用文、通り芯設定の情報を1つのフォルダ(mpro3_conv)にまとめます。PC を入れ替えた後は「データ移行」で移行できます。部品などで移行したくないものや、部屋情報ファイル(madroomtxt)、引用文ファイル(madtextxt)を移行させたくない場合は、ファイルを削除してから移行してください(参ホームページのサポート(PC 入れ替えについて))。
- 設定ファイル場所変更・・・部屋情報や引用文のファイル、部品フォルダの場所を任意の フォルダに指定することができます。これはインストールしたフォルダ

(c:¥ilacsys¥間取りっどPRO3)に、windows ログインでアクセス権限がない場合(フ アイルコピーや引用文や部屋情報の編集ができない場合)ユーザー様が使用する 場合にのみ、管理者が全てのユーザーがアクセスできるフォルダに移し変えるよ うにしてください。通常使用で問題ない場合や、それ以外ではトラブルの元になる ので、変更しないようにしてください。変更する場合はあらかじめ変更するファイル を変更先フォルダにコピーしておく必要があります。

画像取り込み一時ファイルの削除・・・画像取り込み時に作成された一時ファイルで、プ ログラム終了時に残ったファイル(プログラム複数同時起動などで生じることがあ ります)、をクリーンにできます。一時ファイル削除はいつでもできますが、図面作 成中や複数起動している状態では正常に取り込み画像が保存できなくなりますの で、新規作成の状態で行ってください。

グリッド	

設定	×
全般 グリッド 表示設定 動作設定 引用文の編集 部屋情報の編集	
グリッドの設定	
*グリッド間隔の設定は「ツール」ー「グリッド間隔の設定」	
☑ グリッド吸着間隔をドット線で表示する	
☑グリッドの目盛りの表示	
 実寸を目盛表示 	
○目盛の数を表示	
□ グリッド線を太くする(本線のみ)	
グリッドの色1 ▼ 全て標準の色にする	
⁄ງມິງະໂຫ≜2	
グリッドの色3	
グリッドの色4	
グリッドの色s	
OK キャンセル	適用(<u>A</u>)

ゲリッド吸着間隔をドット線で表示する・・・・グリッド吸着の吸着間隔にドット線をひきます。

◆グリッドの目盛りの表示・・・画面上と左に5つごとの目盛りを表示します。

実寸を目盛表示・・・グリッド設定幅×目盛り数の大きさを表示します。縮尺に対するmm で表示されます。

目盛の数を表示・・・目盛りの数を表示します。

グリッドの色・・・グリッド1の標準の色は水色です。他の色に変更することができます。



設定										\times
全般	グリッド	表示設定	動作設定	引用文の編集	部屋情報	の編集				
☑ 壁	詳細表示	時、柱を自動	表示(on)			☑和室作	成時に畳の縁を付	ける(on)		
☑部	屋文字の/	(ックを白くす	ටි(on)			ログリッド	を印刷する(ドット	•) (off)		
□和	室の畳の総	最で4.5帖の真	ん中を四角刑	೮(こする(off)		🗌 連続線	作成時、角ごとに	単線で作成する(of	Ŧ)	
☑建	具配置の	☆引き戸の壁	部分を黒くす	බ්(on)		🗌 選択物	の色変更で、白塗	りも色変更する(of	f)	
	像表示をし	イヤー内で最	下層にする(の	off)		□白黒表	示時に部屋の模構	兼を消す(off)		
	形のパター	ンを印刷時に	大きく表示(育	jver互換)(off)		□建具配	置の開き戸の中を	白くする(off)		
☑補	助線使用(の多角形等で	、塗りつぶした	があるものは印刷	する(on)					
□文	字が実際に	印刷する部分	分を画面上点	〔線で表示する(o	off)		形の模様を自動	間隔にする(off)		
白白	黒表示時、	部屋の線の	色を白にする	(off)						
						()カッコ	内はデフォルト初期	用設定値		
							OK	キャンカル	1	商用(Δ)
							OK	11700		

お客様が使いやすいように間取りっどPRO3の表示を設定します。

壁詳細表示時柱を自動表示・・「設定」の壁の色が「壁詳細」の時に、壁の端を四角にして柱がついているようにします。チェックをはずすと、表示されません

◆和室作成時に量の縁をつける・・四角形部屋作成で和室を選ぶか模様を「畳」にすると、3、45、6、 8、10 帖の部屋は自動的に畳の縁がつきます。デフォルトはONです。

部屋文字のバックを白くする・・四角形部屋作成、多角形部屋作成で作図したときの部屋文字のバックを白にします。チェックをはずすと透明になります。デフォルトはONです。

◆ **和室の畳の縁で 4.5 帖の真ん中を四角形にする・・**四角形部屋作成で和室 4.5 帖を作成したときの 縁が、真ん中が四角形になるように作図されます。デフォルトはOFFです。

◆建具配置の片引き戸の壁部分を黒くする・・「建具配置」の「引き違い」「片引き2枚から4枚」の壁の部分にあたる四角形を黒くします。壁の色を黒以外にしている場合はチェックをOFFにして白くしてください。デフォルトはONです。

◆ **選択物の色変更で白塗りも変更する・・**チェックを入れると、白で塗りつぶされている部分も、指定 された色で塗りつぶしされます。デフォルトはOFFで、白の塗りつぶしは色変更しても変わりません。

◆ 画像表示をレイヤー内で最下層にする・・チェックを入れると画像を最下層に表示するので、上に 部品や文字などのオブジェクトが配置できます。デフォルトはOFFで、画像が最上層になっています。

◆ 白黒表示時に部屋の模様を消す・・チェックを入れると、白黒表示で、部屋の模様が非表示になります。和室の畳のみ表示されます。デフォルトはOFFです。

◆ 図形のパターンを印刷時に大きく表示するように調整する(前々version 互換用)・・「作図」「四角形」 などで「パターン」を使用した時に、印刷解像度が細かいと黒く塗りつぶしたようになることがあります。 チェックを入れるとパターンが印刷されるように調整されます。前々バージョン保存ファイル互換用で す。

◆建具配置の閉き戸の中を白くする・・チェックを入れると、「建具配置」で「閉き戸」「玄関ドア」を配置 すると、開く動線部分が白く塗りつぶされます。チェックをはずすと普通の円弧になります。デフォルト はOFFです。

補助線使用の多角形等で、塗りつぶしがあるものは印刷する・・補助線を使用した多角形などは塗りつぶしていても印刷されませんが、チェックを入れると塗りつぶし部分のみ印刷されます。図形の外の線を印刷せず中身の色のみ印刷したい場合に有効です。主にグラデーションの部分だけ印刷したい場合にONにしてください。デフォルトはONです。

文字が実際に印刷する部分を画面上点線で表示する・・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・

デフォルトはOFFです。

◆ 図形の模様を自動間隔にする・・模様をつけるにした場合、模様は図形の上にグループとして配置されますが、図形と一緒に自動で表示されます(IDバージョンの仕様)。デバイスのよって間隔が変わるので、通常は OFF です。この模様を直線グループに変換するには、「ツール」「自動図形作成」「図形 模様を直線グループに一括変換」してください。

◆ **白黒表示時、部屋の線を白くする・・**白黒表示の時に、部屋と部屋の間に「壁の部分削除」で壁を消 すと線がでますが、それを見えなくします。 模様のある部屋の境界は ON でも線が表示されます。

動作設定

設定	×			
全般 グリッド 表示設定 動作設定 引用文の編集 部屋情報の編集				
□ 壁ツール選択時に自動で縦横モードにする(off) □ 線ツール通	≣択時に自動で縦横モ−ドにする(off)			
□ 寸法ツール選択時に自動で縦横モードにする(off) □ ズーム「拡	大」を1クリック動作にする(off)			
☑ 自動で線、壁芯吸着が押される(on) □ ズーム「拡	大」モードを連続する(off)			
☑ 一点目からの距離をマウス横に表示する(on) ☑ 自動でグ	リッド吸着をON、OFFする(on)			
☑ 面積、長さ測定値の小数点 3 位を四捨五入する(on) ☑ グリッド吸	着ON時、必ずグリッドに吸着(on)			
□角度測定、指定線作成時に時計回りに表示する(off) 2/1 ⁻¹ ックアップ	ファイルを作成する(on)			
ツールパーボタンの大きさ 自動 ∨ □交点吸着	を連続する(off)			
□ 囲った内容を回転時、文字を回転しない(水平垂直のみ)(off)				
☑ 図形(直線他)ツ−ル時マウスポインタ表示(on) □ 面積、長	き測定値の小数点を切り捨てする(off)			
✓ 囲った内容を反転時、建具の扉方向を変えない(on) □マウス先の)十字を用紙サイズで表示する(off)			
☑ 図形作成時、「作図図形の設定」を表示(on) □ 旧パージョ	ン形式の画像保存(off)			
() אַבעל	りはデフォルト初期設定値			
元に戻すの回数 20 v 回 「選択」での移動時に始点より 2 v ビクセル以内では移動しない				
	OK キャンセル 適用(A)			

お客様が使いやすいように間取りっどPRO3の動作を設定します。

◆ **壁ツール選択時に自動で縦横モードにする・・**「壁」を選んだ時に自動的にマウス縦横固定が押さ れた状態になります。デフォルトはOFFです。 ◆線ソール選択時に自動で縦横モードにする・・「直線」を選んだ時に自動的にマウス縦横固定が押された状態になります。デフォルトはOFFです。

◆ **寸法ツール選択時に自動で縦横モードにする・・**「寸法線」を選んだ時に自動的にマウス縦横固定 が押された状態になります。デフォルトはOFFです。

◆ズーム「拡大」を1クリック動作にする・・「表示」「ズーム」で拡大を左クリックで1段階拡大します。

◆ 自動で線、 壁芯吸着が押される・・部品配置時は壁芯吸着OFFになり、部屋作成時、壁作成時は線 吸着OFF、壁芯吸着ONに切り替わります。 デフォルトはONです。

◆ ズーム「拡大」モードを連続する・・「表示」「ズーム」で拡大をした後に、選択モードに戻らずにズー ムモードを継続します。 デフォルトはOFFです。

◆一点目からの距離をマウス横に表示する・・・一点目からの距離をマウスの横に表示します。部屋 や四角形は横、縦の距離が表示されます。部屋の場合は 910mmベースで帖数も表示されます。デフ オルトはONです。

◆ 自動でグリッド吸着をON, OFFする・・部屋作成、建具配置、壁、柱、階段作成時にグリッド吸着を ONIこします。部品配置時はOFFになります。デフォルトはONです。

◆ 面積・長さ測定値の小数点以下3位を四捨五入する・・チェックをいれないと測定値は3位以下切捨 てになります。デフォルトはONです。

◆グリッド吸着ON時、必ずグリッドに吸着・・グリッド吸着時、必ずグリッドの交点に吸着。このチェッ クをOFFにしてグリッド吸着をONにすると、グリッドの交点に近づけないと吸着しないようになります。 デフォルトはONです。

◆角度測定、指定線作成時に時計回りに表示する・・・角度の測定時や角度指定線作成の時の角度を X軸(水平線)を0度とし、時計回りに計測する。デフォルトは半時計回りでOFFです。

◆ツールボタンの大きさ・・高解像度ディスプレイでは自動で大きくなりますが、解像度や Windows テキストの大きさの設定などで見づらいときに、常に大きくあるいは標準で表示します。ツールボタンの大きさで作業しづらい場合に設定してください。

◆ 交点吸着を連続する・・・交点吸着ボタンがクリックしても解除されないように連続します。 押したま まですと、選択時に選択できなかったり、移動スピードが落ちるなどしますので注意してください。 デフ ォルトはOFFです。 ◆ **囲った内容を回転時文字を回転しない**・・・囲った内容を回転したときに文字は回転しないで角度は そのままになる。その時、縦書きは横書きに、横書きは縦書きになる。デフォルトはOFFです。

◆ 図形(直線他)ツール時マウスポインタ表示・・チェックを入れると、紙図形ツールの時に小さいペン状のマウスが表示されます。チェックをはずすとマウスは点のみになります。スクロールバーを操作する時に見づらくなります。デフォルトはONです。

◆ 面積・長さ測定値の小数点を切り捨てする・・チェックをいれると、少数点以下切り捨てで整数になります。デフォルトはOFFです。

◆グリッドを印刷する(ドット)・・印刷時にグ

田った内容を反転時、建具の扉方向を変えない・・「ツール」「囲った内容を反転」したときに、建具の扉の方向を変えずに反転します。デフォルトはONです。

マウス先の十字を用紙サイズで表示する・・チェックを入れると、マウスの先の位置を示すオレンジ色の十字が、用紙サイズで表示されます。デフォルトはOFFです。

図形作成時、「作図図形の設定」を表示」・・チェックをはずすと、直線や多角形の設定画面を作図 中表示しなくなります。プロパティボタンを押すと設定画面を表示します。

◆ 旧バージョン形式の画像保存・・読み込んだ画像をファイル保存する際に、旧バージョン形式(P NG(GIF)の透過情報を保存せず、BMP 情報で保存)します。間取りっど PRO2 で画像のある図面ファイ ルを開く必要がある場合にチェックします。

◆元に戻すの回数・・「編集」「元に戻す」の回数を5~30回に設定します。デフォルトは20回です。回数を増やすとメモリの量を負担しますので、もしメモリ不足のメッセージがでるようでしたら回数を少なくしてください。

◆ **選択での移動時に始点よりロピクセル以内では移動しない**・・「選択」したときに少しオブジェクトが 移動してしまわないように、クリックしたときの移動距離が□ピクセル以内では移動を行なわないよう になります。

引用文の編集

設定	×
全般 グリッド 表示設定 動作設定 引用文の撮	集 部屋情報の編集
通加 注意 通加 決定所所 除交室 増入 ゲレ 子供都量 規問 前除 支援 規定 現役 現役 現役 現代 市入、均力 切力 「ゼット 重下」	
	OK キャンセル 適用(A)

「文字ツール」で使う引用文を編集します。よく使う語句は登録しておくと便利です。

◆ 追加・・リストの最後に左上の内容を追加します。
 ◆ 挿入・・リストの選択されている行に左上の内容を追加します。
 ◆ 削除・・リストの選択されている行を削除します。

部屋情報の編集

全般 グリッド 表示設定 動作設定 引用: 共通設定 部屋文字の変更	20 編集 部屋信報の編集 ● 航数で表示 ○ m (盤芯) で表示 Mの文字 ● M ○ 巻	
一部屋の情報	100人子 ③11100年 1275デーション変化をマイルドにする	
事業 A 厚簡 A 和室 A 治室 M ビレレ 人の形 防火支車 部屋内容変更 フローリング 部屋油加 DK 部屋油加 DK 部屋油加 DK 部屋油加 DK 部屋油加 DK 部屋油和 PK 部屋油和	部屋名 江中芝達3 他の色を選択 合称をつける(作室は畳の縁の色的定) 石刻の上編 使の色を選択 使物色を選択 使物色を選択 使物色を選択	
	OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

「四角形部屋作成」「多角形部屋作成」で一覧にでてくる部屋の情報を編集します。

◆共通設定…

部屋文字の変更・・部屋作成時の文字のフォント種やサイズを設定します。

帖教表示・・帖数で表示します。

m(壁芯)で表示・・壁芯での平米数で表示します。

帖の文字・・帖数の帖の文字を畳に切り替えられます。

グラデーション変化をマイルドにする・・色の変化を緩やかにします。チェックをはずすと、白 とのグラデーションになります。 ◆**部屋内容変更・・**一覧の選択している部屋の情報を変更します。(部屋情報を変更後、このボタンを 押さないと変更されたことになりません)

部屋追加・・・・部屋の情報の枠内の内容を新たに一覧の最後に加えます。

◆ 部屋挿入・・・・屋の情報の枠内の内容を新たに一覧の選択している部分に加えます。

◆ 部屋削除・・・・一覧の選択されている部屋情報を削除します。(和室は削除しないでください)

これで基本操作編は終了です。ここまでの内容を充分理解できていれば、一般的な平面図を作成するのにほとんど問題ありません。次の章では立面図作成と、より詳細な図面作成に欠かせないコマンド、そして最後に図面作成練習を行ないます。

第3章 付録 困ったらここをお読み下さい

3-1 トラブルシューティング

1.「間取りっどPRO3」がインストールできません

CD-ROMを入れても起動しない場合は、エクスプローラから「PC」の「デバイスとドライブ」のDVDの ドライブを指定します。ファイルの一覧が表示されましたら、その中の「setup.exe」をクリックしてインス トールを行ってください。

ファイルの一覧が表示しない場合は、まずパソコンを再起動し、もう一度上記操作を行ってください。 これでも表示しない場合は、お使いのパソコンがCD-ROMのドライブ自体を認識していないか、CD に不良があるなどの原因が考えられます。その場合はホームページからのダウンロードでインストー ルを行って下さい。

ダウンロードページは下記の「間取りっど PRO3 ユーザーの部屋」からです。

http://www.lilacsys.com/cad/user-enter.htm

2. CD(DVD)のスロットが PC についていません。

ホームページからのダウンロードでインストールを行って下さい。 ダウンロードページは下記の「間取りっど PRO3 ユーザーの部屋」からです。 http://www.likesvs.com/cad/user-enter.htm

4. 認証キー取得の際に、「許諾ライセンスを上回って認証できません」と出ます。

すでに認証キーを取得しているパソコンがあります。1ライセンスにつき1台のパソコンでのみ使用で きます。複数台仕様の場合はライセンスを取得するか、使用しないパソコンで「ヘルプ」「ライセンス認 証の解除」を行ってから新しいパソコンで認証してください。(参 基本操作編①) 古いパソコンからの移し替えの際に、古いパソコンで認証を解除していない可能性があります。その 際は古いパソコンに再度間取りっど PRO3をインストールして「ヘルプ」から「ライセンス認証解除」を 行ってください。PC 破損等で解除できない場合はサポートにご連絡ください。

ライセンスの追加については、ホームページ

http://www.lilacsys.com/cad/license.htm

からお申し込みください。

5.「壁」の中が白く表示されます

「ツール」の「設定」の「全般」の「壁を黒く」を選択してください。

6. 画面の「最大化」「元に戻す」をクリックしても画面の大きさが変化しません。

初めて「間取りっどPRO3」を起動された時、最大画面で設定されています。 ウインドウのバーの右上の2番目のボタンで「元に戻す」にして、ウィンドウの角をドラッグして、お好 みのサイズに変更しておいて下さい。

7. 部屋作成で作成した部屋文字が小さい(大きい)です。

「ツール」の「設定」の「部屋情報の編集」で「部屋文字の編集」で文字高さを、調整してみてください。

8.「ファイル」「他形式の読み込み」でDXFファイルを読み込んだのですが表示されません。

DXFには用紙の概念がなく、「間取りっどPRO3」の用紙サイズがユーザー設定になっているかもし れません。

「ファイル」「用紙サイズ設定」でA3などに変えてみてください。また、縮尺が本来の設定どおり認識さ れないことがあります。そのため読み込んだ図形が表示範囲の外にはみ出すことがあります。縮尺 を現在の設定より小さくしてみて下さい。また、画面左下に配置されることがありますので、「ツール」 の「図面中心点変更」で左下をクリックしてみてください。DXFを出力するソフト、またはDXFバージョ ンが R14 以降によっては互換できない場合があります。その場合、JW-CAD データで出力できれば、 JWW もしくは JWC でインポートしてください。あるいは DXF-R12 バージョン以下での出力で読み込み してください。(JW-CAD (windows 版フリーソフト)にDXFを取り込む機能があります。間取りっどPR O2は JW_CAD 互換性の方がDXFよりいいため、JW-CADでDXFを取り込んでJWW、もしくはJWC 形式で出力し、間取りっどPRO3に読み込みしてください。JW-CADはインターネットのサイトよりダ ウンロードできます)

詳しくは要点のページをご参照ください。

http://www.lilacsys.com/madpro2/kotu/jwin/jwin.htm

9. 指定した複数の図形がグループ化できません。

選択した図形の中ですでにグループ化されたものがある場合は再びグループ化できません。いった ん「グループ」の「グループ化解除」してから再度範囲選択で選択をしなおし、グループ化してみて下さい。

10. 図形の回転(上下・左右の反転)ができません。

グループ化されたものか文字以外は回転できません。それでグループ化された後、再度、回転させ てみて下さい。また複数の図形を選択されている場合、グループ化されていないものを含んでいない かどうか確認下さい。「囲った内容を回転」もご参照ください(参)。

12. 部品が出てきません。

「部品配置」を押してオフィスなどのフォルダも表示されていない場合は、起動しているプログラムのあるフォルダに data というフォルダが見つからないと考えられます。

「ツール」の「設定」の「全般」で「全設定初期化」をしてから再起動してみてください。これでも部品が出ない場合は、一旦アンインストールを行ってから再度CDからインストールを行ってください。

12. ドキュメントなどから間取りっどPRO3のファイルをダブルクリックしてもアプリケーションがたち あがりません。 「間取りっどPRO3」を起動して「ファイル」「開く」から開けるかご確認ください。

確認ができましたら、拡張子「lac」が間取りっどPRO3のファイルであるとパソコンが認識していない場合があります。

保存したファイルの上で右クリックし、「プロパティ」をクリックします。「プログラム」が「間取りっどPRO 3」でない場合は「変更」を押します。推奨されたプログラムの欄に「間取りっどPRO3」がありましたら、 それを選択して「この種類のファイルを開くときは、選択したプログラムをいつも使う」にチェックを入れ てOKを押します。

推奨されたプログラムに「間取りっどPRO3」がなければ、一番下の「その他のアプリ」さらに一番下の「このPCで別のアプリを探す」

を押し、インストールしたフォルダを指定します。デフォルトで「C:¥ilacsystem¥間取りっどPRO3」です。 そのフォルダの中の「laccadexe」というファイルを選択し、「開く」を押します。あとは「この種類のファイ ルを開くときは、選択したプログラムをいつも使う」にチェックを入れてOKを押します。

13. 印刷状態(向き)が違う

「ファイル」の「用紙設定」で設定している用紙と向きと違う場合は、印刷時のプリンタの横の「プロパティ」で用紙サイズと向きを合わせてください。

14. 画面が白黒になっている

画面右下の切り替え上から2番目の「白黒 」か5番目の「シック 」 」になっています。一番 上にしてください。

15. エラーがでて印刷できない・・・

他のアプリケーション(メモ帳等)やプリンタテストを行ってください。 間取りっどだけ印刷できない場合は、エラー内容によってプリンタドライバなど、プリンタ側でおきてい る問題かどうかわかりませんので、お使いのプリンタメーカーのサポートをご利用ください。

16. 印刷プレビューでは表示されるが、実際の印刷が真っ白、またはずれる・・・

「ファイル」の「印刷位置調整」に数値が入っている場合は、0にして印刷してみてください。

17. 畳の縁がでてきません

「四角形部屋作成」で「和室」の「広さ固定」「帖固定」で6で作図してください。

縁が出る場合・・

多くの場合は、グリッドの吸着間隔が細かすぎて正確な6帖でない場合です。

「ツール」「設定」の「グリッド間隔の設定」 説 で尺モジュールの場合、グリッドパターンの1が 455 も しくは 910 になっているかお確かめください。また、グリッド吸着の間隔が1分割にしてみてください。 3 帖、4.5 帖、6 帖、8 帖、10 帖のみ縁がでてきます。.

縁が出ない場合・・

「四角形部屋作成」で「和室」を選んでいますでしょうか?「和室」以外の場合、「ツール」「設定」「部屋情報の編集」でその部屋の模様が「畳」になっているかをお確かめ下さい。「畳」にしていないと縁は出ません。

グリッド吸着、間隔設定、モジュールのいずれかの設定が違います。

これら条件を満たしている場合、グリッド吸着がON になっているかお確かめください。グリッド 吸着がOFFの場合、部屋作成時のマウスの横の帖数が小数点以下2ケタ表示になります。 なお、45 帖、8 帖は正方形のみです。形が違う場合は縁は表示されませんので、部品配置の畳部品 で縁を作成するか直線ツールで作成してください。

さらに「ツール」「設定」「表示設定」「和室作成時に畳の縁をつける」のチェックも確認して下さい。

18. 縦書きにすると英数字が横向きになります

縦書きでは半角は横向きになりますので、縦書き時は英数字も全角で書くようにしてください。

19. 壁などが、同じ太さで作成しているのに細いのと太いのがある

ディスプレイの解像度では、ドットが荒いので同じ大きさの壁でも太く見えたり細くみえたりすることが あります。ズームで拡大して比べてみると同じ太さであることが確認されます。プリンタの解像度は細 かいので、実際に印刷すると同じ太さであることがわかります。図面作成には全く影響がないので気 にせずに作成してください。ただし画像としての出力時に、「設定」の「全般」「画像出力設定」で「画像出 力サイズを倍にする」のチェックをはずしていたり、クリップボード経由の出力をすると画面で見たまま の出力になります。その場合は「画像出力サイズを倍にする」のチェックを付けるか、縮尺を小さくする などして見た目の間取りの大きさを大きくして画像出力してみてください。

20. 印刷すると線が細い、あるいは直線の太さを2や3にして画面では太いのに印刷プレビューや印刷すると線はあまり太くならずに印刷される

直線や四角形の線幅タイプは線の太さのタイプをきめるものです。線の太さは「ツール」の「設定」「全 般」で「線幅タイプのピッチ」でタイプの番号の「プリンタ出力時の大きさ」の数字で印刷の太さが変わり ます。ディスプレイとプリンタでは解像度(画素の粗さ)が異なりますので、画面上とプリンタ出力時で 数字を同じにしても同じ太さにはなりません。実際に印刷してみて「プリンタ出力時の大きさ」太さを調 整してみてください。全体的に線が細いという場合は、まず「線幅タイプのピッチ」の線幅タイプ1の「プ リンタ出力時の太さ」を3~5くらいにして印刷してみてください。

21. メールで間取りっどPRO3のファイルを添付して送ったら開けないといわれました。

間取りっどPROのファイル(lac ファイル)は間取りっどPRO3がインストールされているパソコンでないと開けません。一般のパソコンで作成した図面を見るには、PDF での出力(参)や、画像出力で jpegやgifなどの形式にして送る必要があります。画像出力については(参)をご覧ください。

22. レイヤーで分けて1Fと2Fを重ねて作図したものを並べて印刷したい

「ツール」の「囲った内容を移動」はレイヤー内のものを移動しますので、まず1Fの図面を左側に移動 し、次に2F部分の図面を右側に移動すると並べられます。(参)

23. 四角形などの塗りつぶし部分が画面では表示されているのに印刷や画像出力するとみえなくな

四角形や多角形の線の線種が補助線の場合、中の色も印刷されなくなります。「ツール」「設定」「動作 設定」の「補助線使用の多角形等で塗りつぶしのあるものは印刷する」にチェックを入れてください。

24. 建具配置で配置した建具の厚みが壁と合わない

建具配置の厚みは「壁」ツールの壁厚の大きさになります。

「壁」を押して現在の壁厚設定を確認してください。配置してある壁の厚みにあわせた壁厚を設定し、 建具を配置してください。デフォルトは片側50mmです。

配置してある建具自体の厚みを変更することもできます。配置してある建具のある壁の厚みを「選択」 のプロパティで調べて、配置してある建具を右クリックし、「幅、厚み、高さ変更」で壁厚(片側厚×2 倍) の厚みにしてください。

また、画面の全体表示で見難くなっているだけの場合もありますので、ズームで拡大して壁と厚みが あっているかお確かめください。

25. 建具配置の「引き違い」を配置したら黒い太い線にしか見えない

これは「壁などが、同じ太さで作成しているのに細いのと太いのがある」と同じ理由ですが、ディスプ レイの解像度では、ドットが荒いので、引き違いのように細かい線がたくさんある場合、荒いドットで表 現しようとすると、全体画面ではどうしても黒い太い線にしか見えません。ズームで拡大して比べてみ ると、ちゃんと配置できているのが確認できます。もちろんプリンタの解像度は細かいので、実際に印 刷すると同じ太さであることがわかります。図面作成時にできるだけズームで見やすくして作業してく ださい。また、建具配置の厚みは「壁」ツールの壁厚の太さになります。ズームをしても建具が細い場 合は、上記の「建具配置で配置した建具の厚みが壁と合わない」が原因かもしれませんので、ご覧く ださい。

26. 間取りっどPRO3の保存ファイルをホームページやワードに挿入しても図が出ない

間取りっどPRO3の「ファイル」「名前を付けて保存」は、間取りっどPROでしか開けない間取りっどP RO独自の形式です。ワードには emf、やホームページに掲載するには jpeg などの画像に変換して保 存する必要があります。画像保存とその利用方法については「ワードやエクセル、ホームページへの 出力」(参)をご覧ください。

27. マンションの柱(梁)の作り方がわからない。

「作図」の「四角形」でプロパティで中を塗るにして、黒くします。グリッド吸着間隔を 2~6 分割にして、 四角形を書くと柱のようになります(参 四角形 基本操作編①)。

28.「無効な引数が発生しました」のメッセージが出てフリーズする。

パソコンが不安定になっている。あるいは処理が追いつかない等で出る場合があります。タスクバ ー(画面最下部スタートボタンの右側のなにもないところ)を右クリックし、「タスクマネー ジャーの起動(タスクマネージャー)」を左クリックします。

タスクマネージャーが起動しますので、アプリケーションの「間取りっどPRO3」をクリック し、「タスクの終了」を押します。「間取りっどPRO3」が終了するので、タスクマネージャ ーも終了します。

再び「間取りっどPRO3」を起動し、すぐに「ファイル」「バックアップファイルを開く」をする と、直前まで作業していた内容が復旧します。保存していない場合は、「名前を付けて保 存」をして終了します。

もし、再現性のある(何度やっても同じところでフリーズする)上記現象がでましたら、サポートまでご連絡ください。

29. 部屋や建具が移動(伸縮しない

部屋移動ロックが作動しています。「常時ロック」の場合は常に、「グリッド吸着OFF時ロック」では、グ リッド吸着がOFFか線吸着ONで作動します。「グリッド吸着OFF時ロック」でグリッド吸着ON、線吸着 OFFで移動してください。(参)

選択もしない場合は現在のレイヤーと部屋のあるレイヤーが違います。「レイヤー」「属性取得」か、レ イヤー一覧で部屋のあるレイヤーを編集にしてください。

30. 一部分がグレーの色になっている

「表示」「レイヤー編集中以外淡色表示」になっているため、現在編集中以外のレイヤーにあるオブジ

ェクトはグレーになります。印刷や画像出力では色がつきます。

3-2 ユーザーサポート

ユーザー登録を行っていただいたお客様にはバージョンアップや質問などのサポートをいたします。 弊社では常に最新バージョンをお客様に使っていただくよう、無償バージョンアップサービスを行なっ ています。ユーザー登録いただいたお客様はいつでもホームページから最新バージョンをダウンロ ードすることができます。バージョンアップは E-mail にて通知します。

ユーザー登録はホームページからご登録ください。

http://www.lilacsys.com/form/form.htm

製品の操作についてご質問される場合は下記の順序で調べてください。ユーザーガイドに記載されて いる内容や Windows、ワードやエクセルなどの他ソフトに関する内容はお答えできない場合がござい ますので、お客様の方で充分にお調べしてからお問い合わせください。

- もう一度ユーザーガイドをご覧になり、ご質問の説明がないかお調べください(このユーザーガイド はページ順に操作を習得していくようになっています。はじめからページ順にお読みいただいて いない場合は、今一度ユーザーガイドをお読み返しください)。
- 2. トラブルシューティング(参)にご質問内容があるかお調べください。
- 弊社ホームページに「間取り作成の要点」があります。カラーでユーザーガイドより詳しく説明している項目もありますので、ご覧ください。

http://www.lilacsys.com/madpro/kotu/kotu1.htm

- 4. E-Mail でご質問ください(必ず商品名、シリアル番号、お名前、アドレスをお知らせください)。
- 5. 電話でご質問ください(必ず商品名、シリアル番号、お名前をお知らせください)。

URL : http://www.lilacsys.com

E-mail : info@lilacsys.com

TEL : 075-925-9370 (月火木金の午前9時から午後5時、土の午前9時から午後12時) (弊社ではFAXでのサポートを行っておりません。回答の中でFAXを使うこともありますが、お問い合わせの際はメールかお電話をご利用ください)